

I 市民の声アンケート

I 市民の声アンケート

1 調査の概要

(1) 調査の目的

市民のこれからの盛岡市のまちづくりや将来像などに関する意見を把握し、その結果を新しい盛岡市総合計画に反映させることを目的としています。

(2) 調査の設計

- ① 調査対象 盛岡市に住民登録のある満 20 歳以上の市民
(平成 25 年 7 月 1 日現在の住民基本台帳から無作為抽出)
- ② 標本数 3,000 人
- ③ 調査方法 無記名式の質問紙調査。郵送による配布・回収
- ④ 調査期間 平成 25 年 8 月 30 日から 9 月 20 日まで (集計対象 9 月 30 日)

(3) 調査の内容

設問	調査項目
問 1	盛岡市の将来像
問 2	理想の盛岡、まちづくり (記述式)
問 3	まちづくり
問 4	産業・観光の振興
問 5	教育・文化活動の充実
問 6	保健・福祉・医療の充実
問 7	少子化への対応
問 8	高齢化への対応
問 9	環境への対応
問 10	都市の魅力創造

(4) 回収結果

対象者数	有効回収数	回収不能数	有効回収率
3,000 人	1,223 人	1,777 人	40.8%

(5) 報告書の見方

- ① 比率（％）は、各設問の回答者数を基数として算出しています。
- ② 集計結果はすべて、小数点第2位を四捨五入しています。
- ③ 設問は全て複数回答を依頼していますので、比率の合計は100.0%を超えます。
- ④ 依頼回答数を超える回答など、設問の依頼形式に沿わない回答は無効としています。
- ⑤ 無回答・無効は合わせて不明として表示しています。
- ⑥ 前回調査比較の図表は、平成15年7月に実施したアンケート調査との比較です。
前回調査と今回の調査では、調査対象者数、回収率は異なりますが、設問内容は同様に行っています。

(参考 平成15年7月に実施したアンケート調査結果)

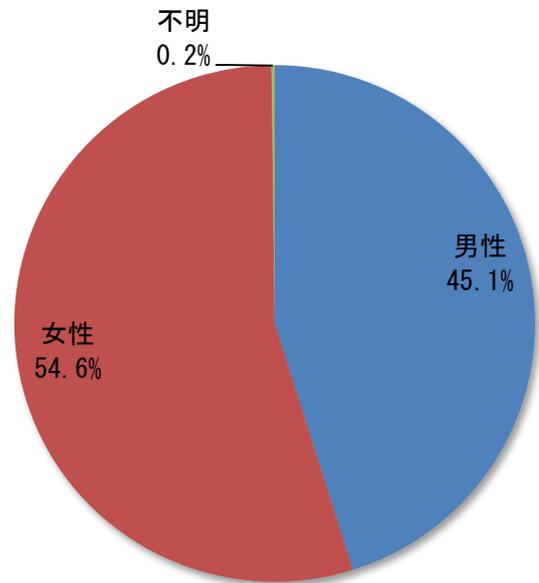
対象者数	有効回収率
1,400人	40.2%

2 調査回答者の属性

(1) 性別（回答者数 1,223 人）

「女性」が多くなっています。

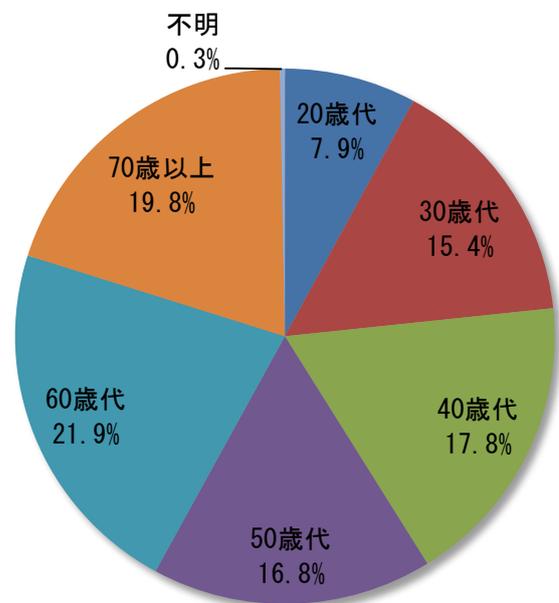
性別	回答者数(人)	構成比(%)
男性	552	45.1
女性	668	54.6
不明	3	0.2



(2) 年齢（回答者数 1,223 人）

「60 歳代」が最も多く、「20 歳代」が最も少なくなっています。

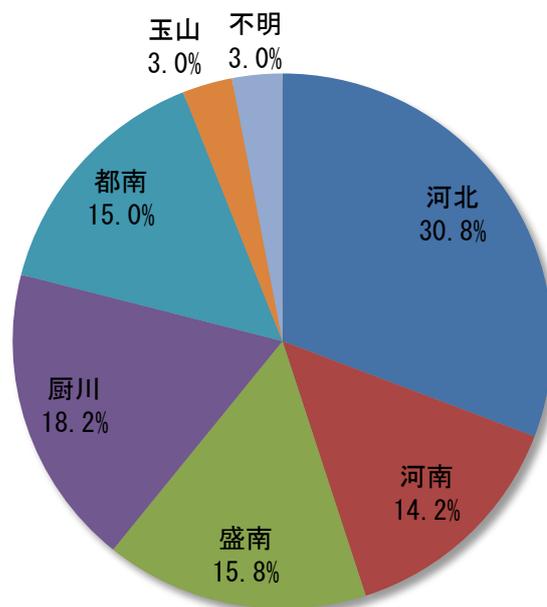
年齢	回答者数(人)	構成比(%)
20 歳代	97	7.9
30 歳代	188	15.4
40 歳代	218	17.8
50 歳代	206	16.8
60 歳代	268	21.9
70 歳以上	242	19.8
不明	4	0.3



(3) 居住地区（回答者数 1,223 人）

「河北地区」が最も多く、「玉山地区」が最も少なくなっています。

居住地区	回答者数 (人)	構成比 (%)
河北	377	30.8
河南	174	14.2
盛南	193	15.8
厨川	222	18.2
都南	183	15.0
玉山	37	3.0
不明	37	3.0



■ 居住地区の区分

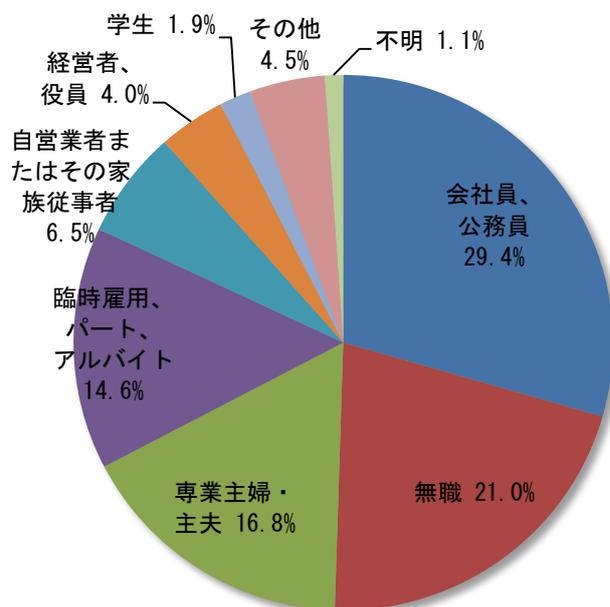
居住地区については、現行コミュニティ区分を基本単位とし、市域を次の6地区に区分して集計しています。

河北	桜城	仁王	上田	緑が丘	松園	山岸	上米内
河南	城南	加賀野	中野	杜陵	大慈寺	築川	
盛南	仙北	本宮	太田	繫			
厨川	西厨川	土淵	東厨川	青山	みたけ	北厨川	
都南	見前	飯岡	乙部				
玉山	好摩	巻堀姫神	渋民	玉山藪川			

(4) 職業（回答者数 1,223 人）

「会社員、公務員」が最も多くなっています。

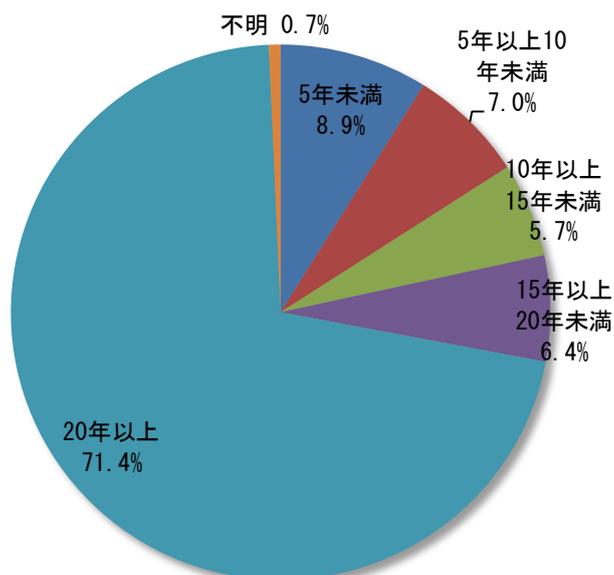
性別	回答者数 (人)	構成比 (%)
会社員、公務員	360	29.4
無職	257	21.0
専業主婦・主夫	206	16.8
臨時雇用、パート、アルバイト	179	14.6
自営業者またはその家族従事者	80	6.5
経営者、役員	49	4.0
学生	23	1.9
その他	55	4.5
不明	14	1.1



(5) 盛岡市における通算居住年数（回答者数 1,223 人）

「20年以上」が最も多くなっています。

性別	回答者数 (人)	構成比 (%)
5年未満	109	8.9
5年以上 10年未満	85	7.0
10年以上 15年未満	70	5.7
15年以上 20年未満	78	6.4
20年以上	873	71.4
不明	8	0.7



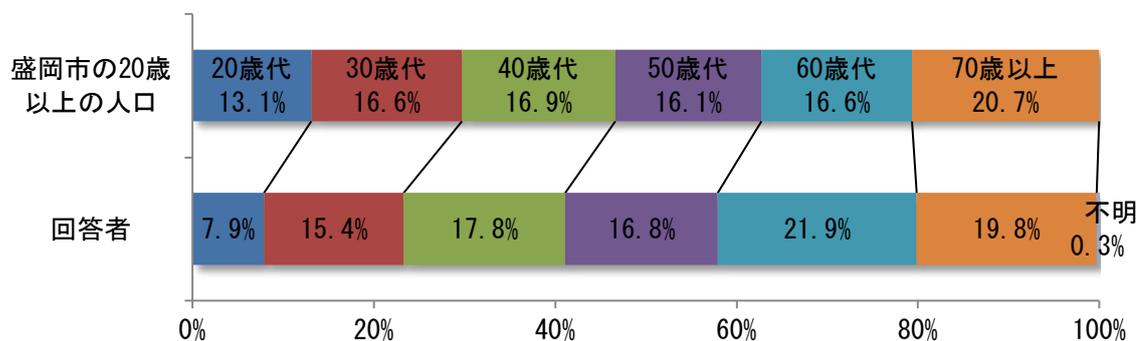
(6) 盛岡市の20歳以上の人口との比較

		盛岡市の20歳以上の人口(人)	構成比(%)	回答者数(人)	構成比(%)
① 年齢	20歳代	31,678	13.1	97	7.9
	30歳代	40,142	16.6	188	15.4
	40歳代	40,899	16.9	218	17.8
	50歳代	39,014	16.1	206	16.8
	60歳代	40,187	16.6	268	21.9
	70歳以上	49,930	20.7	242	19.8
	不明			4	0.3
計		241,850	100.0	1,223	100.0
② 性別	男性	112,319	46.4	552	45.1
	女性	129,531	53.6	668	54.6
	不明			3	0.2
計		241,850	100.0	1,223	100.0

※盛岡市の20歳以上の人口は、平成25年6月30日現在の住民基本台帳人口です。

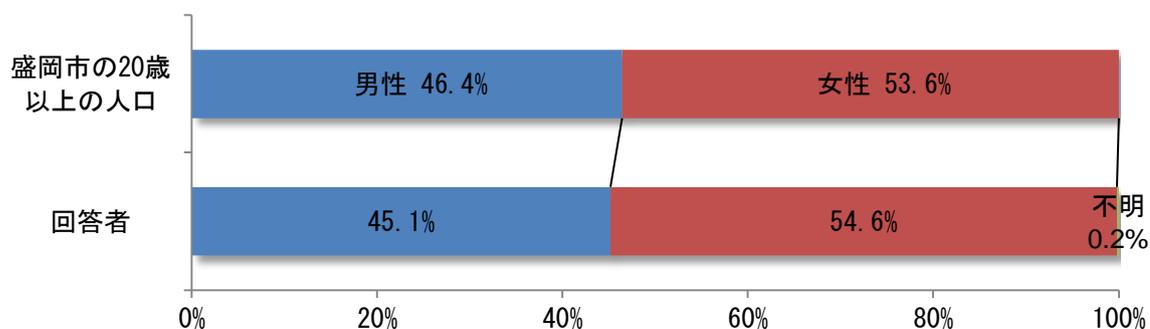
① 年齢

「20歳代」が少なく、「60歳代」が多くなっていますが、ほぼ一致しています。



② 性別

ほぼ一致しています。



3 調査結果

(1) 調査結果から見る傾向

● 盛岡市の将来像（問1）

「盛岡市が10年後、どのようなまちであってほしいか」の問に対して、50%を超える市民が「保健、福祉、医療が充実した地域で支え合うまち」を選んでおり、どの属性においても高い割合となっています。また、20歳、30歳代では、「子育て支援が充実したまち」が高い割合で選ばれています。

人口減少時代に入り、少子高齢化に伴う様々な課題を抱える中で、保健、福祉、医療分野へ将来的な不安を抱いている市民が多いと考えられ、人口減少、少子高齢化の社会潮流の中でも、多くの市民が健康で安心して幸せに暮らせるまちであることを強く望んでいるものと推測されます。

「災害に強い安全に安心して暮らせるまち」については、今回新たに選択肢に追加した項目ですが、27.9%の市民が選んでおり、これは、平成23年3月に発生した東日本大震災や今年8月の大雨災害の経験が大きく影響していると考えられ、災害の教訓を活かした安全に安心して暮らせるまちであることを望んでいるものと推測されます。

「自然環境とまち並みが調和したまち」については、各年代とも多くの人を選んでおり、全体で26.5%の市民が選んでいます。「自然環境とまち並みの調和」は、本市の特徴であり、各世代が、水と緑に象徴される自然の豊かさ、歴史と伝統に支えられた特徴のあるまち並みの高度な調和を高く評価していると考えられ、本市の特徴を将来に活かすまちづくりの継続を望んでいるものと推測されます。

● まちづくり（問3）

「これからのまちづくりに当たり、どのようなことに力をいれていくべきか」の問に対しては、43.8%の市民が「保健・福祉・医療の充実」を選んでおり、特に女性において高い割合となっています。10年後の盛岡市の将来像の実現に向けた更なる施策展開が望まれているものと推測されます。

「住環境の整備」、「産業・観光の振興」、「中心市街地の活性化」については、20%を超える市民が選んでおり、当該分野の更なる充実が望まれている一方で、玉山地区では、「中山間地域の活性化」が「保健・福祉・医療の充実」よりも高い割合で選ばれており、地域特性を活かしたまちづくりが望まれているものと推測されます。

● 産業・観光の振興（問4）

これからのまちづくりに当たり、20%を超える市民が「産業・環境の振興」に力を入れるべきと答えています。具体的に「活力ある産業活動を促進するために、何に積極的に取り組むべきか」の問に対しては、約40%の市民が「人材の育成や担い手の確保」を選んでい

ます。
農林業、商工業の新たな担い手や、新産業を支える基盤技術を担う人材、観光を担う地域の人材などの「盛岡の産業の基礎となる部分を支える人材の育成、担い手の確保」が重要視されており、その実現に向けた施策展開が望まれているものと推測されます。

● 教育・文化活動の充実（問5）

「教育・文化に対する意識が多様化している中で、どのようなことに力をいれていくべきか」の問に対しては、45%を超える市民が「学校、家庭、地域社会の連携による学校教育の充実」と「児童・青少年の健全育成」を選んでおり、「学校教育の充実」、「青少年の健全育成」など、子どもたちの学力向上や心身の育成に向けた更なる施策展開が望まれているものと推測されます。

一方で、高齢化が進展する中で、生涯にわたって学習できる環境の整備も望まれています。

● 保健・福祉・医療の充実（問6）

これからのまちづくりに当たり、43.8%の市民が「保健・福祉・医療の充実」に力を入れるべきと答えています。具体的に「どのようなことに力をいれていくべきか」の問に対しては、56.9%の市民が「子育て環境施策の充実」を選んでおり、特にも20歳代で70.1%、30歳代では80.9%と選んだ割合が非常に高くなっています。

子育て世代においては、ライフスタイル、ワークスタイルの多様化を背景とした保育ニーズの多様化への対応や、長引く経済の低迷から、更なる子育て支援の充実が望まれているものと推測されます。

「高齢者福祉の推進」については、各年代とも30～45%の市民が選んでおり、人口減少社会において、人口に占める高齢者の割合が高まることが予想されている中で、各世代から高齢者が生き生きとして暮らせる社会を目指す取組みが望まれているものと推測されます。

「医療体制の充実」については、20歳代を除く各年代で30%以上の市民が選んでおり、岩手医科大学付属病院の移転に伴う高度医療機関不足への懸念などから、医療体制の充実を望む声が高まっているものと推測されます。

● 少子化への対応（問7）

保健・福祉・医療の分野では、56.9%の市民が「子育て環境施策の充実」に力を入れるべきと答えています。具体的に「少子化対策として何が必要か」の問に対しては、37.4%の市民が「妊娠、出産の費用や乳幼児の医療費などへの経済的支援」を選んでおり、以下、「保育環境の充実（待機児童の解消、保育園・児童センターなどの整備）」が36.8%、「延長保育、休日保育、一時保育など多様な保育サービスの充実」が27.2%となっています。

出産、子育ての各ステージにおける経済的な支援の充実を望む声が多いほか、保育施設などの施設整備への対応やライフスタイル、ワークスタイルの多様化を背景とした保育ニーズの多様化への対応が望まれているものと推測されます。

● 高齢化への対応（問8）

保健・福祉・医療の分野では、39.6%の市民が「高齢者福祉の推進」に力を入れるべきと答えています。具体的に「高齢化が進む中、どのようなことに積極的に取り組むべきか」の問に対しては、35.4%の市民が「高齢者の働く場所の確保」を選んでおり、人口減少社会において、年金制度の先行きに対する不安や高齢者の生きがいとして「労働」へのニーズが高まっていることが背景にあるものと推測されます。

「一人暮らし老人などへの支援」については、35.1%の市民が選んでおり、都市化に伴う地域コミュニティの希薄化などが背景にあるものと推測されます。

「介護サービスの充実」については、27.0%の市民が選んでおり、特に女性において選択する割合が高くなっています。高齢化社会を迎え、様々な課題が顕在しているなか、介護サービスの充実が老後を安心していきいきと暮らすために重要であると考えているものと推測されます。

● 環境への対応（問9）

「環境への関心が高まっている中で、どのようなことに積極的に取り組むべきか」の問に対しては、約40%の市民が「豊かな自然環境の保全」を選んでいきます。各年代とも高い割合で選んでおり、水と緑に象徴される、当市の豊かな自然環境を後世まで引き継ぐべきと考えている市民が多いものと推測されます。

「木質バイオマスや太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及」については、30.9%の市民が選んでいます。20歳、30歳代では40%を超える市民が選択しており、東日本大震災を契機として、再生可能エネルギーの認識が高まっていることが伺われ、特に子育て世代において高い関心があるものと推測されます。

「環境教育の推進」については19.5%の市民が選んでおり、各年代とも高い割合で選択しています。地球温暖化の防止や自然エネルギーの普及、ごみの削減など、当市の環境を保全するため、全ての世代に対して環境教育が必要だと考えているものと推測されます。

● 都市の魅力創造（問10）

「市内外の人から「住み続けたい」、「訪れたい」、「住んでみたい」、「事業活動したい」などと思われるようなまちとなるために、どのような魅力を市内外にPRしていくべきか」の問に対しては、約40%の市民が「自然環境と都市機能の調和したまち」を選んでおり、以下、「子育てしやすいまち」が27.6%、「住環境が整ったまち」が23.5%となっています。

水と緑に象徴される自然の豊かさと快適な都市機能の高度な調和が本市の魅力であり、市内外にPRすべきと評価していると推測されます。

「子育てしやすいまち」については、医療機関の充実や良好な保育環境、子育て支援制度の充実など、子育てに関する多面的な機能の充実を感じている市民が多いものと推測されます。20歳、30歳代では「子育てしやすいまち」を選んだ割合が「自然環境と都市機能の調和したまち」よりも高くなっており、子育て世代では、「保育環境、子育て支援の充実した住みよいまち」あることを評価しているものと推測されます。

「住環境が整ったまち」については、区画整理事業による基盤整備やコンパクトなまちづくりにより、住環境や公共空間などの都市機能の充実が図られていることに加え、公共交通機関の利便性や豊かな自然環境などを評価しているものと推測されます。

(2) 盛岡市の将来像について (問1)

問1 盛岡市が10年後、どのようなまちであってほしいと思いますか。次の中から2つ以内をお選びください。

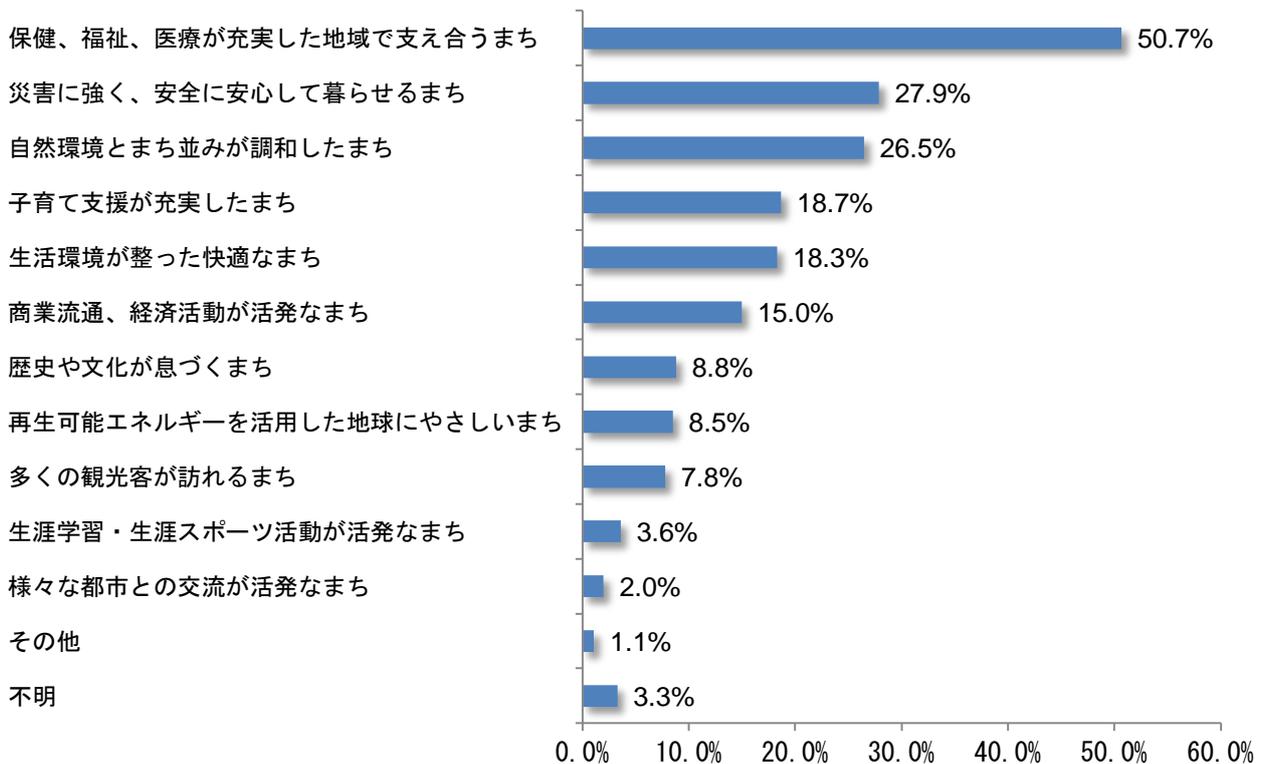
●「保健、福祉、医療が充実した地域で支え合うまち」が最も多い (50.7%)

・「保健、福祉、医療が充実した地域で支え合うまち」を選んだ人が最も多く、次いで「災害に強く、安全に安心して暮らせるまち」、「自然環境とまち並みが調和したまち」となっています (図表 I-1)。

・前回調査と比較すると、「保健、福祉、医療が充実した (地域で支え合う) まち」、「自然環境とまち並みが調和したまち」は、今回の調査でも多くの人を選んでいきます (図表 I-2)。

・「災害に強く、安全に安心して暮らせるまち」は、今回の調査で新たに設定した選択肢ですが、27.9%と高い割合で選ばれています。

(図表 I-1 盛岡市の将来像 回答者数 1,223 人)



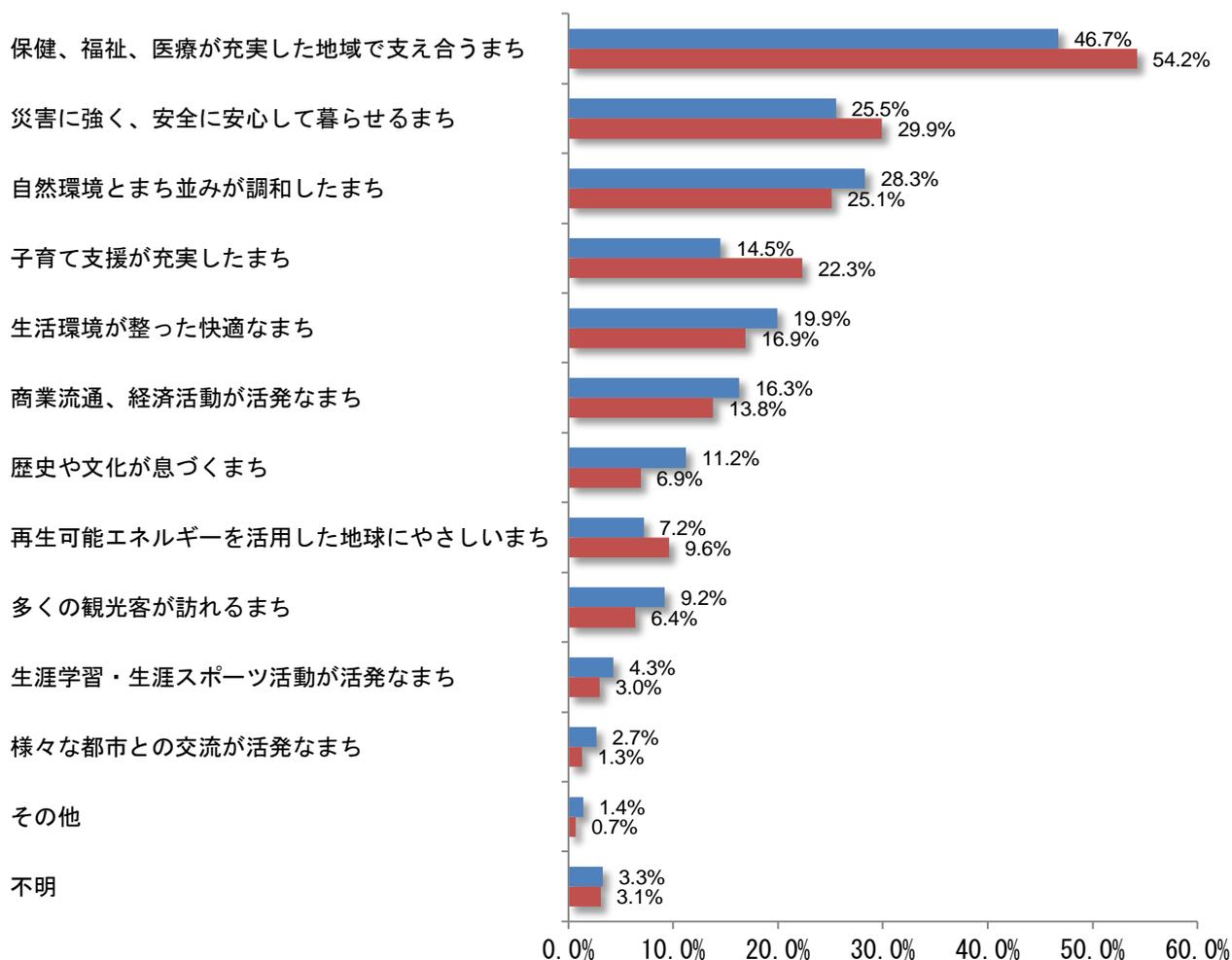
(図表 I-2 盛岡市の将来像 前回調査比較)

	前回 (平成 15 年 7 月調査)		今回	
	選択肢名	割合 (%)	選択肢名	割合 (%)
1 位	保健、福祉、医療施設や制度が充実したまち	56.5	保健、福祉、医療が充実した地域で支え合うまち	50.7
2 位	自然環境とまち並みが調和したまち	43.7	災害に強く、安全に安心して暮らせるまち	27.9
3 位	生活環境が整った快適なまち	33.7	自然環境とまち並みが調和したまち	26.5

■ 性別（図表 I-3）

- ・上位3項目は、男女ともに多くの人を選んでいきます。
- ・男性は、女性と比べて「自然環境とまち並みが調和したまち」や「歴史や文化が息づくまち」を選んだ割合が高くなっています。
- ・女性は、男性と比べて「保健、福祉、医療が充実した地域で支え合うまち」や「子育て支援が充実したまち」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I-3 盛岡市の将来像 性別 回答者数 男性 552 人 女性 668 人）



■ 年代別（図表 I-4）

・上位3項目は、各年代で多くの人を選んでいますが、20歳代、30歳代では、他の年代と比べて「災害に強く、安全に安心して暮らせるまち」よりも「子育て支援が充実したまち」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I-4 盛岡市の将来像 年代別）

	回答者数(人)	単位 (%)												
		保健、福祉、医療が充実した地域で支え合うまち	災害に強く、安全に安心して暮らせるまち	自然環境とまち並みが調和したまち	子育て支援が充実したまち	生活環境が整った快適なまち	商業流通、経済活動が活発なまち	歴史や文化が息づくまち	再生可能エネルギーを活用した地球にやさしいまち	多くの観光客が訪れるまち	生涯学習・生涯スポーツ活動が活発なまち	様々な都市との交流が活発なまち	その他	不明
全体	1,223	50.7	27.9	26.5	18.7	18.3	15.0	8.8	8.5	7.8	3.6	2.0	1.1	3.3
20歳代	97	34.0	20.6	24.7	41.2	13.4	17.5	6.2	4.1	12.4	5.2	2.1	2.1	4.1
30歳代	188	38.8	22.9	25.5	35.6	16.5	22.3	5.3	6.4	9.6	2.7	4.3	1.1	2.7
40歳代	218	50.9	22.5	33.0	16.5	19.7	14.2	10.6	7.8	8.3	4.6	1.4	0.0	3.2
50歳代	206	54.4	25.7	27.2	11.2	21.8	13.1	8.7	12.1	10.2	1.9	1.5	1.5	3.4
60歳代	268	56.0	33.6	23.5	16.8	16.0	14.2	9.0	8.6	5.6	4.5	0.4	1.1	3.0
70歳以上	242	57.9	35.1	25.2	7.4	19.8	11.2	11.2	9.5	4.1	3.3	2.9	1.2	3.3

※1 全体数は年齢不明分も含んでいます。

※2 各年代の上位3項目のセルに色づけをしています。

■ 居住地区別（図表 I-5）

・上位3項目は、各地区で多くの人を選んでいますが、盛南地区、厨川地区では、他の地区と比べて「子育て支援が充実したまち」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I-5 盛岡市の将来像 居住地区別）

	回答者数(人)	単位 (%)												
		保健、福祉、医療が充実した地域で支え合うまち	災害に強く、安全に安心して暮らせるまち	自然環境とまち並みが調和したまち	子育て支援が充実したまち	生活環境が整った快適なまち	商業流通、経済活動が活発なまち	歴史や文化が息づくまち	再生可能エネルギーを活用した地球にやさしいまち	多くの観光客が訪れるまち	生涯学習・生涯スポーツ活動が活発なまち	様々な都市との交流が活発なまち	その他	不明
全体	1,223	50.7	27.9	26.5	18.7	18.3	15.0	8.8	8.5	7.8	3.6	2.0	1.1	3.3
河北	377	52.8	25.7	28.6	18.3	16.4	15.6	8.2	8.5	7.7	3.7	1.9	0.8	3.2
河南	174	51.7	25.3	31.6	13.8	14.9	17.8	10.3	6.9	8.0	3.4	0.0	2.3	4.6
盛南	193	42.0	33.2	25.4	26.9	18.1	15.5	12.4	7.3	7.8	3.1	2.1	0.5	1.6
厨川	222	58.1	27.9	21.2	21.2	20.7	12.6	7.7	9.5	7.7	4.5	2.3	0.0	1.4
都南	183	47.0	29.0	25.1	15.8	25.1	16.4	7.7	12.6	8.2	3.3	3.8	1.1	1.1
玉山	37	51.4	29.7	27.0	18.9	16.2	8.1	5.4	2.7	5.4	2.7	2.7	2.7	8.1

※1 全体数は居住地区不明分も含んでいます。

※2 各居住地区の上位3項目のセルに色づけをしています。

■ 職業別（図表 I-6）

・上位3項目は、各職業で多くの人を選んでいますが、学生は「災害に強く、安全に安心して暮らせるまち」を選んだ割合が8.7%と低くなっており、代わりに「子育て支援が充実したまち」を選んだ割合が高くなっています。

・経営者、役員、自営業者またはその家族従事者では、「商業流通、経済活動が活発なまち」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I-6 盛岡市の将来像 職業別）

	回答者数(人)	単位 (%)												
		保健、福祉、医療が充実した地域で支え合うまち	災害に強く、安全に安心して暮らせるまち	自然環境とまち並みが調和したまち	子育て支援が充実したまち	生活環境が整った快適なまち	商業流通、経済活動が活発なまち	歴史や文化が息づくまち	再生可能エネルギーを活用した地球にやさしいまち	多くの観光客が訪れるまち	生涯学習・生涯スポーツ活動が活発なまち	様々な都市との交流が活発なまち	その他	不明
全体	1,223	50.7	27.9	26.5	18.7	18.3	15.0	8.8	8.5	7.8	3.6	2.0	1.1	3.3
経営者、役員	49	32.7	18.4	28.6	12.2	18.4	24.5	16.3	6.1	14.3	2.0	8.2	2.0	2.0
自営業者またはその家族従事者	80	46.3	30.0	35.0	8.8	20.0	27.5	7.5	5.0	6.3	3.8	0.0	0.0	3.8
会社員、公務員	360	46.9	24.2	29.2	20.6	22.8	14.7	10.0	8.1	8.3	2.8	3.1	1.1	2.5
臨時雇用、パート、アルバイト	179	57.0	25.7	22.3	25.1	15.6	13.4	5.0	8.4	8.9	7.3	0.6	0.6	2.8
専業主婦・主夫	206	53.9	34.0	23.3	24.8	15.5	14.6	7.8	12.1	5.3	2.9	0.5	0.5	2.4
学生	23	30.4	8.7	26.1	39.1	21.7	17.4	8.7	8.7	13.0	0.0	4.3	4.3	4.3
無職	257	56.4	34.2	24.9	11.3	16.3	10.9	10.1	7.8	4.7	3.5	1.9	1.6	4.3
その他	55	50.9	21.8	29.1	12.7	14.5	16.4	7.3	9.1	18.2	1.8	1.8	1.8	1.8

※1 全体数は職業不明分も含んでいます。

※2 各職業の上位3項目のセルに色づけをしています。

■ 居住年数別（図表 I-7）

・上位3項目は、各区分で多くの人を選んでいますが、居住年数が15年未満では、「災害に強く、安全に安心して暮らせるまち」よりも「子育て支援が充実したまち」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I-7 盛岡市の将来像 居住年数別）

	回答者数(人)	単位 (%)												
		保健、福祉、医療が充実した地域で支え合うまち	災害に強く、安全に安心して暮らせるまち	自然環境とまち並みが調和したまち	子育て支援が充実したまち	生活環境が整った快適なまち	商業流通、経済活動が活発なまち	歴史や文化が息づくまち	地球にやさしいまち	再生可能エネルギーを活用したまち	多くの観光客が訪れるまち	生涯学習・生涯スポーツ活動が活発なまち	様々な都市との交流が活発なまち	その他
全体	1,223	50.7	27.9	26.5	18.7	18.3	15.0	8.8	8.5	7.8	3.6	2.0	1.1	3.3
5年未満	109	42.2	22.0	33.0	33.0	15.6	14.7	4.6	7.3	8.3	1.8	2.8	1.8	1.8
5年以上 10年未満	85	37.6	15.3	21.2	38.8	18.8	17.6	3.5	11.8	14.1	4.7	7.1	1.2	2.4
10年以上 15年未満	70	50.0	25.7	27.1	30.0	11.4	11.4	11.4	5.7	8.6	4.3	5.7	0.0	2.9
15年以上 20年未満	78	52.6	30.8	28.2	14.1	17.9	15.4	11.5	7.7	9.0	3.8	0.0	1.3	1.3
20年以上	873	53.3	29.9	26.2	14.5	19.2	15.0	9.5	8.7	6.9	3.6	1.3	1.0	3.3

※1 全体数は居住年数不明分も含んでいます。

※2 各居住年数の上位3項目のセルに色づけをしています。

(3) 盛岡市のまちづくりについて (問3~10)

① まちづくり

問3 これからのまちづくりに当たって、盛岡市ではどのようなことに力を入れていくべきだとお考えですか。次の中から2つ以内をお選びください。

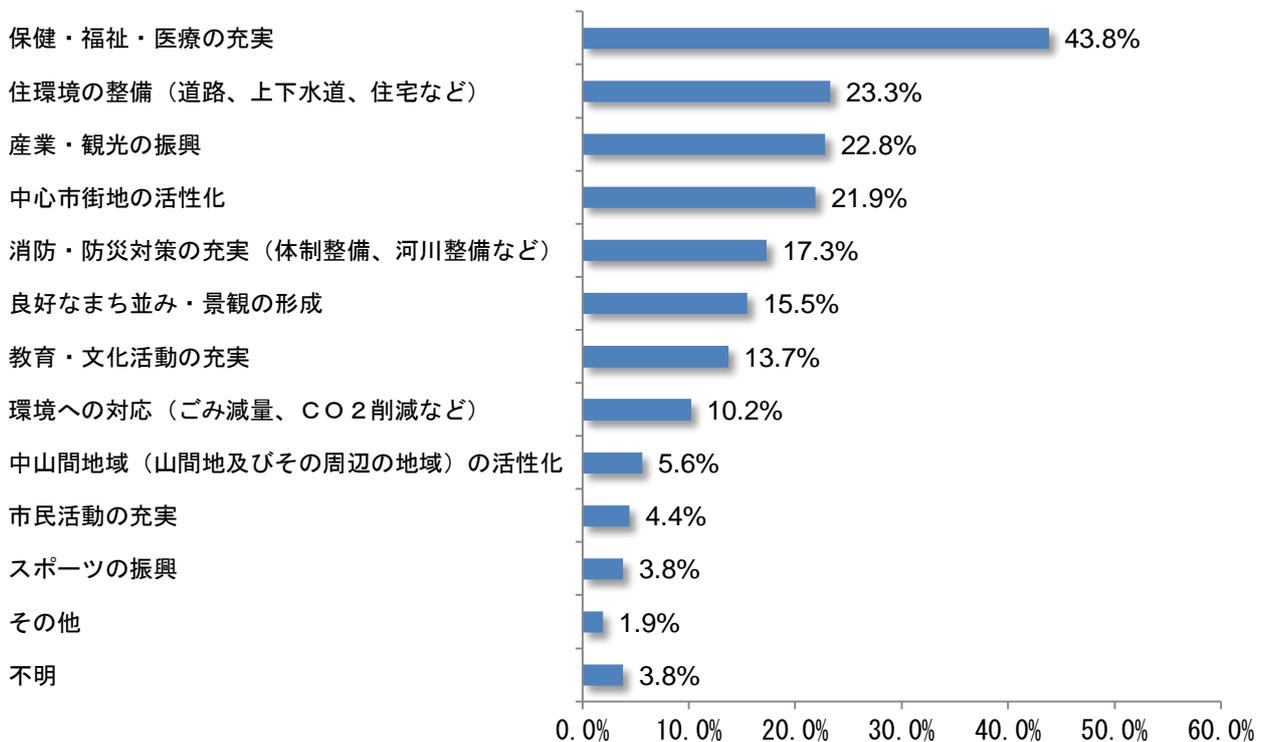
●「保健・福祉・医療の充実」が最も多い (43.8%)

・「保健・福祉・医療の充実」を選んだ人が最も多く、次いで「住環境の整備（道路、上下水道、住宅など）」、「産業・観光の振興」となっています（図表 I-8）。

・前回調査と比較すると、「保健・福祉・医療の充実」、「住環境の整備（道路、上下水道、住宅など）」は、今回の調査でも多くの人を選んでいきます（図表 I-9）。

・「中心市街地の活性化」は、今回の調査で新たに設定した選択肢ですが、21.9%と高い割合で選ばれています。

(図表 I-8 まちづくり 回答者数 1,223 人)



(図表 I-9 まちづくり 前回調査比較)

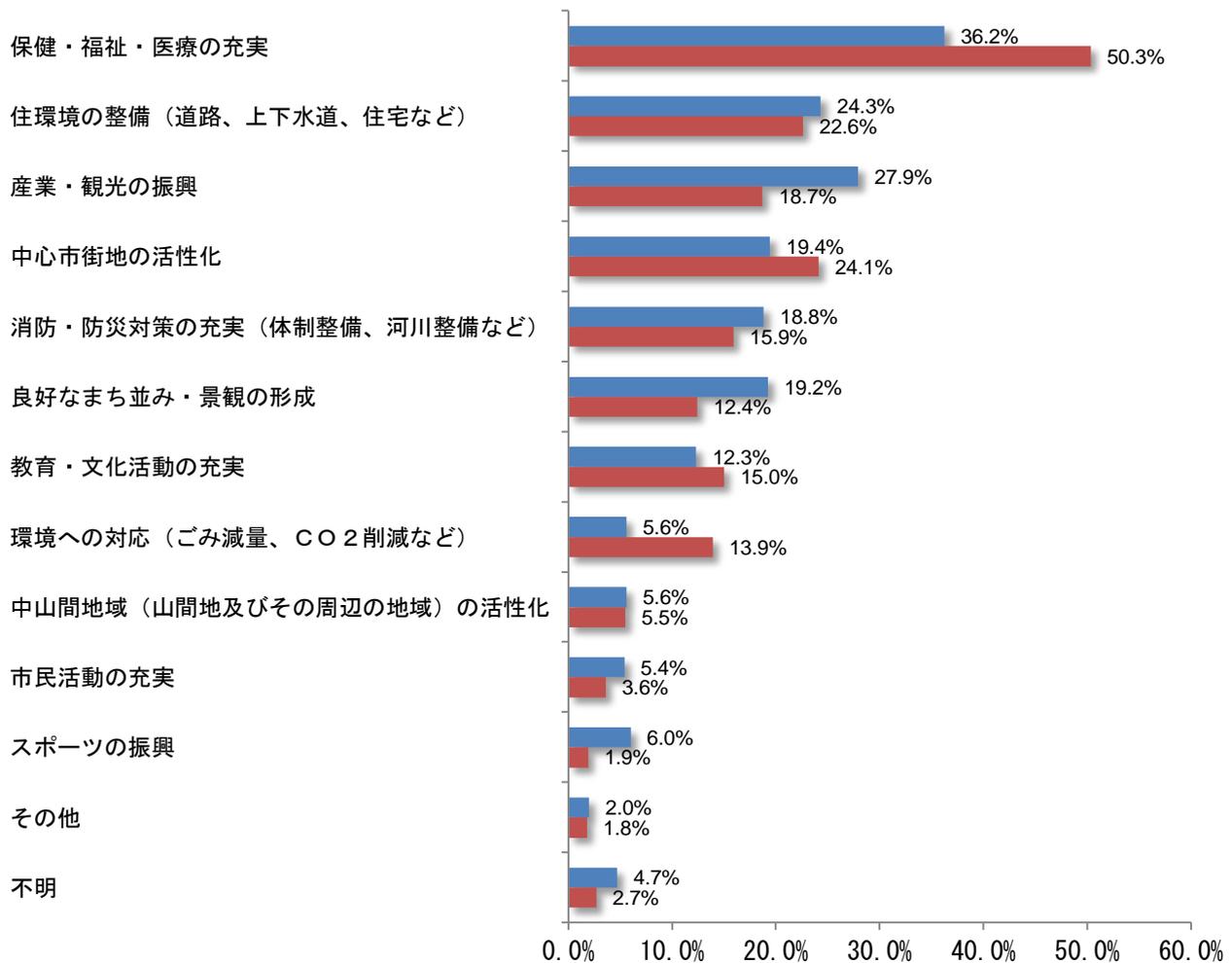
	前回（平成 15 年 7 月調査）		今回	
	選択肢名	割合 (%)	選択肢名	割合 (%)
1 位	保健・福祉・医療の充実	51.0	保健・福祉・医療の充実	43.8
2 位	住環境の整備（道路、上下水道、住宅など）	32.0	住環境の整備（道路、上下水道、住宅など）	23.3
3 位	環境保全と循環型社会づくり	22.6	産業・観光の振興	22.8

■ 性別（図表 I-10）

・男性は、女性と比べて「産業・観光の振興」や「良好なまち並み・景観の形成」を選んだ割合が高くなっています。

・女性は、男性と比べて「保健・福祉・医療の充実」や「環境への対応（ごみ減量、CO₂削減など）」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I-10 まちづくり 性別 回答者数 男性 552 人 女性 668 人）



■ 年代別（図表 I -11）

・各年代でほぼ同様の傾向となっています。

（図表 I -11 まちづくり 年代別）

	回答者数(人)	単位 (%)												
		保健・福祉・医療の充実	住環境の整備（道路、上下水道、住宅など）	産業・観光の振興	中心市街地の活性化	消防・防災対策の充実（体制整備、河川整備など）	良好なまち並み・景観の形成	教育・文化活動の充実	環境への対応（ごみ減量、CO2削減など）	中山間地域（山間地及びその周辺の地域）の活性化	市民活動の充実	スポーツの振興	その他	不明
全体	1,223	43.8	23.3	22.8	21.9	17.3	15.5	13.7	10.2	5.6	4.4	3.8	1.9	3.8
20歳代	97	41.2	19.6	22.7	22.7	19.6	15.5	9.3	8.2	5.2	2.1	7.2	2.1	5.2
30歳代	188	40.4	23.4	21.8	25.0	18.6	17.0	19.7	6.9	0.0	3.7	6.4	3.2	2.1
40歳代	218	39.0	25.2	24.3	22.0	20.2	15.1	17.4	10.1	3.7	0.9	4.1	3.2	1.8
50歳代	206	43.7	26.7	24.3	15.0	15.0	17.5	13.6	7.8	9.2	2.4	4.4	2.4	4.9
60歳代	268	48.9	21.3	23.9	25.7	13.8	11.9	9.0	13.4	7.8	5.6	2.2	1.1	4.5
70歳以上	242	47.1	22.3	20.2	21.1	17.8	16.9	13.2	12.0	6.2	9.5	1.2	0.0	3.7

※1 全体数は年齢不明分も含んでいます。

※2 各年代の上位3項目のセルに色づけをしています。

■ 居住地区別（図表 I-12）

- ・上位3項目は、各地区で多くの人を選んでいますが、玉山地区では、他の地区と比べて「住環境の整備（道路、上下水道、住宅など）」を選んだ割合が高くなっています。
- ・河南地区では、他の地区と比べて「中心市街地の活性化」を選んだ割合が高くなっています。
- ・玉山地区では、「中心市街地の活性化」を選んだ割合が2.7%と低くなっており、代わりに「中山間地域（山間地及びその周辺の地域）の活性化」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I-12 まちづくり 居住地区別）

	回答者数(人)	単位 (%)												
		保健・福祉・医療の充実	住環境の整備（道路、上下水道、住宅など）	産業・観光の振興	中心市街地の活性化	消防・防災対策の充実（体制整備、河川整備など）	良好なまち並み・景観の形成	教育・文化活動の充実	環境への対応（ごみ減量、CO2削減など）	中山間地域（山間地及びその周辺の地域）の活性化	市民活動の充実	スポーツの振興	その他	不明
全体	1,223	43.8	23.3	22.8	21.9	17.3	15.5	13.7	10.2	5.6	4.4	3.8	1.9	3.8
河北	377	46.2	19.9	22.3	23.3	14.6	17.2	13.8	9.8	5.6	5.0	2.9	2.1	3.7
河南	174	35.6	19.0	25.3	32.2	17.8	19.5	14.4	10.9	3.4	4.6	5.2	1.1	2.3
盛南	193	44.0	21.2	19.2	21.8	21.2	13.5	15.0	9.8	4.7	4.7	5.7	1.6	4.1
厨川	222	52.7	26.1	24.8	20.3	14.0	14.0	13.1	11.3	5.0	2.7	3.6	1.8	1.8
都南	183	41.5	30.6	24.0	18.0	21.9	13.1	14.2	11.5	5.5	5.5	3.3	1.6	2.2
玉山	37	21.6	40.5	27.0	2.7	13.5	18.9	8.1	2.7	24.3	2.7	2.7	8.1	8.1

※1 全体数は居住地区不明分も含んでいます。

※2 各居住地区の上位3項目のセルに色づけをしています。

② 産業・観光の振興

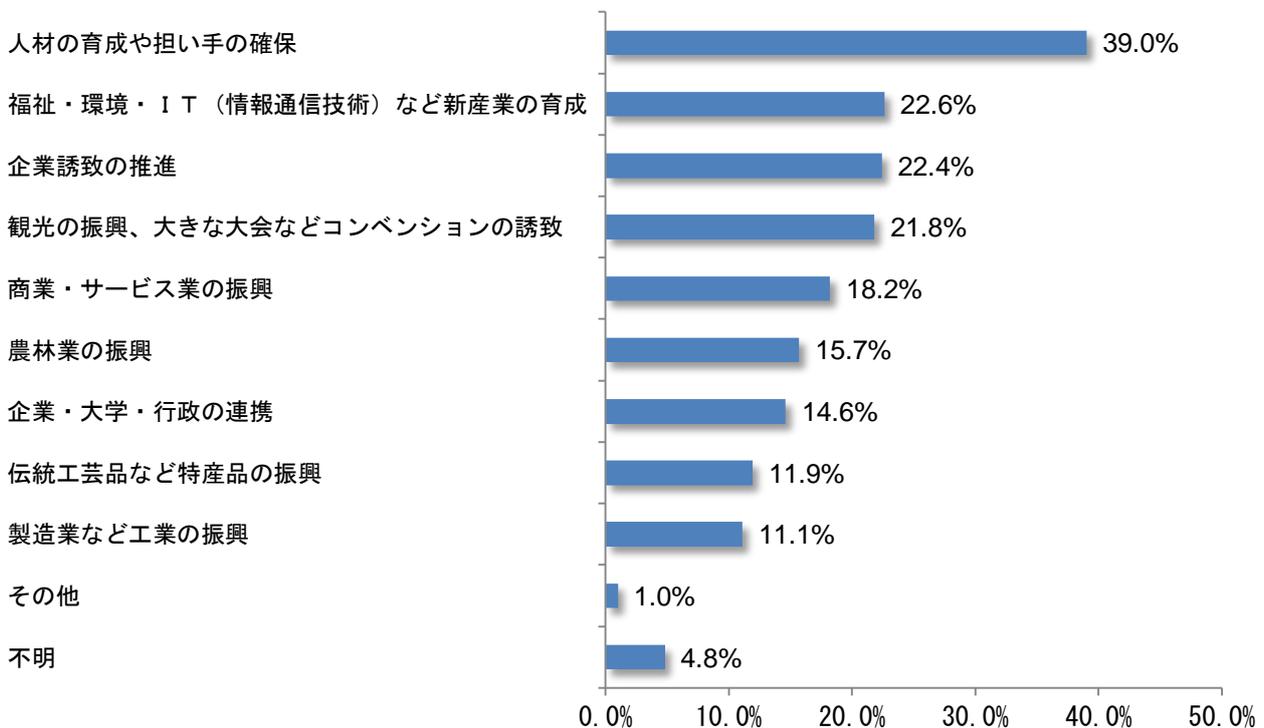
問4 活力ある産業活動を促進するために、積極的に取り組むべきことは何だとお考えですか。次の中から2つ以内をお選びください。

●「人材の育成や担い手の確保」が最も多い（39.0%）

・「人材の育成や担い手の確保」を選んだ人が最も多く、次いで「福祉・環境・IT（情報通信技術）など新産業の育成」、「企業誘致の推進」となっています（図表 I-13）。

・「人材の育成や担い手の確保」は、今回の調査で新たに設定した選択肢ですが、39.0%と高い割合で選ばれています（図表 I-14）。

（図表 I-13 産業・観光の振興 回答者数 1,223 人）



（図表 I-14 産業・観光の振興 前回調査比較）

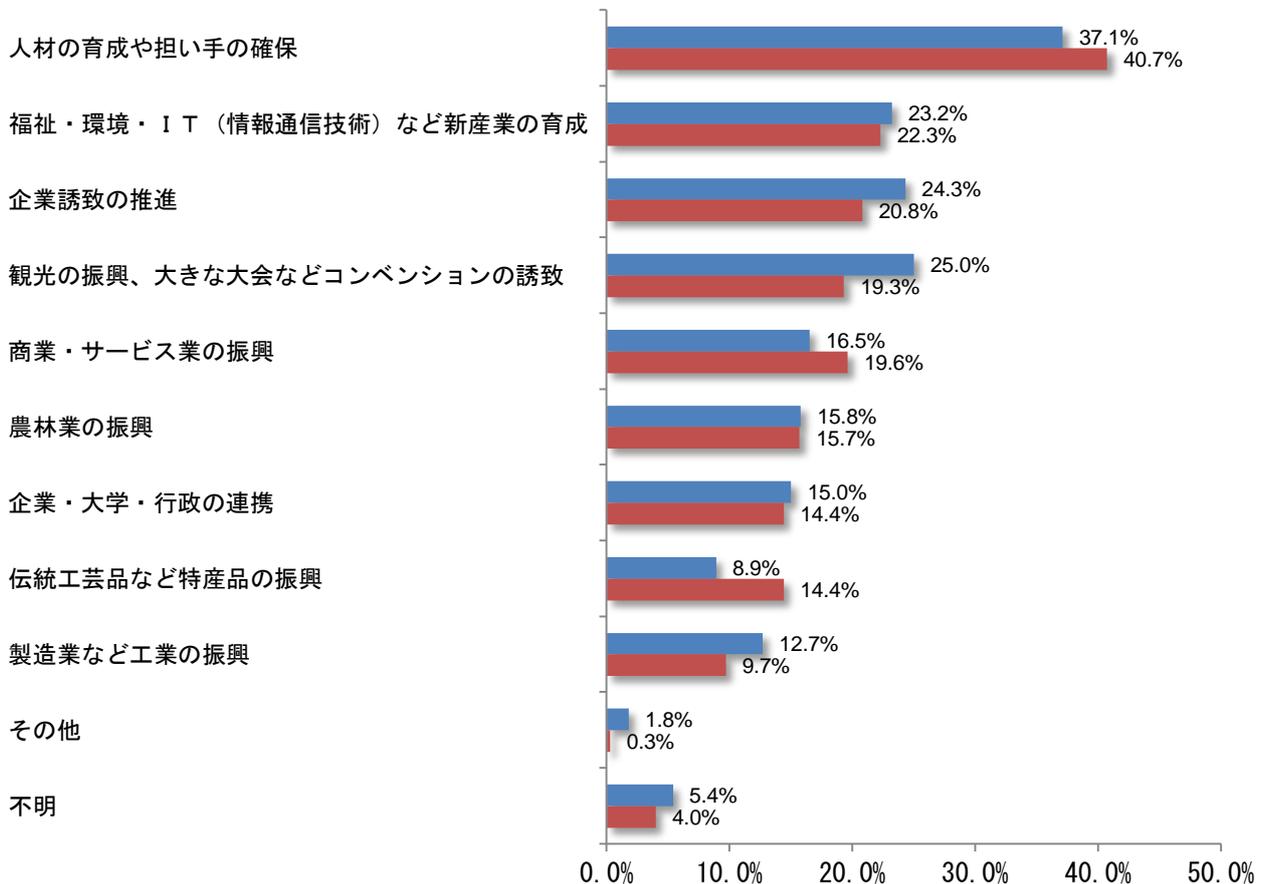
	前回（平成 15 年 7 月調査）		今回	
	選択肢名	割合 (%)	選択肢名	割合 (%)
1 位	福祉・環境・IT（情報通信技術）など新産業の育成	38.0	人材の育成や担い手の確保	39.0
2 位	商業・サービス業の活性化	35.5	福祉・環境・IT（情報通信技術）など新産業の育成	22.6
3 位	農業の活性化	31.3	企業誘致の推進	22.4

■ 性別（図表 I-15）

・男性は、女性と比べて「企業誘致の推進」や「観光の振興、大きな大会などコンベンションの誘致」を選んだ割合が高くなっています。

・女性は、男性と比べて「人材の育成や担い手の確保」や「商業・サービス業の振興」、「伝統工芸品などの特産品の振興」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I-15 産業・観光の振興 性別 回答者数 男性 552 人 女性 668 人）



■ 年代別（図表 I-16）

- ・「人材の育成や担い手の確保」は、各年代で多くの人が選んでいます。
- ・20歳代～40歳代では、他の年代と比べて「観光の振興、大きな大会などコンベンションの誘致」、「商業・サービス業の振興」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I-16 産業・観光の振興 年代別）

	回答者数(人)	単位 (%)										
		人材の育成や担い手の確保	福祉・環境・IT(情報通信技術)など新産業の育成	企業誘致の推進	観光の振興、大きな大会などコンベンションの誘致	商業・サービス業の振興	農林業の振興	企業・大学・行政の連携	伝統工芸品など特産品の振興	製造業など工業の振興	その他	不明
全体	1,223	39.0	22.6	22.4	21.8	18.2	15.7	14.6	11.9	11.1	1.0	4.8
20歳代	97	28.9	18.6	23.7	29.9	24.7	11.3	22.7	8.2	6.2	1.0	6.2
30歳代	188	35.1	19.7	21.3	26.1	20.7	9.6	21.8	12.2	8.5	1.6	5.3
40歳代	218	39.4	19.7	17.4	22.5	24.3	14.2	17.9	11.5	9.6	0.9	2.8
50歳代	206	38.3	24.3	21.4	20.4	13.6	23.3	14.6	11.7	10.7	0.5	5.8
60歳代	268	39.6	23.1	25.4	19.4	12.3	19.0	8.2	12.7	16.0	1.5	5.6
70歳以上	242	46.3	27.7	24.8	18.6	18.2	13.6	10.3	12.8	11.2	0.4	3.3

※1 全体数は年齢不明分も含んでいます。

※2 各年代の上位3項目のセルに色づけをしています。

■ 居住地区別（図表 I-17）

- ・「人材の育成や担い手の確保」は、各地区で多くの人が選んでいます。
- ・河北地区、河南地区では、他の地区と比べて「商業・サービス業の振興」を選んだ割合が高くなっています。
- ・都南地区、玉山地区では、他の地区と比べて「農林業の振興」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I-17 産業・観光の振興 居住地区別）

	回答者数(人)	単位 (%)										
		人材の育成や担い手の確保	福祉・環境・IT（情報通信技術）など新産業の育成	企業誘致の推進	観光の振興、大きな大会などコンベンションの誘致	商業・サービス業の振興	農林業の振興	企業・大学・行政の連携	伝統工芸品など特産品の振興	製造業など工業の振興	その他	不明
全体	1,223	39.0	22.6	22.4	21.8	18.2	15.7	14.6	11.9	11.1	1.0	4.8
河北	377	34.2	24.1	18.8	20.7	20.7	14.9	15.9	14.6	12.5	0.8	4.5
河南	174	42.0	17.8	20.1	25.9	23.6	13.8	13.2	12.1	8.6	1.7	5.2
盛南	193	42.0	28.5	19.2	23.3	14.5	14.5	18.1	8.8	10.9	0.5	3.6
厨川	222	36.9	21.2	32.0	25.2	18.5	12.6	17.1	9.5	10.8	0.5	2.3
都南	183	45.9	21.9	26.8	19.1	14.2	21.3	10.4	13.7	10.9	1.1	3.3
玉山	37	45.9	18.9	24.3	16.2	8.1	32.4	2.7	8.1	8.1	5.4	10.8

※1 全体数は居住地区不明分も含んでいます。

※2 各居住地区の上位3項目のセルに色づけをしています。

③ 教育・文化活動の充実

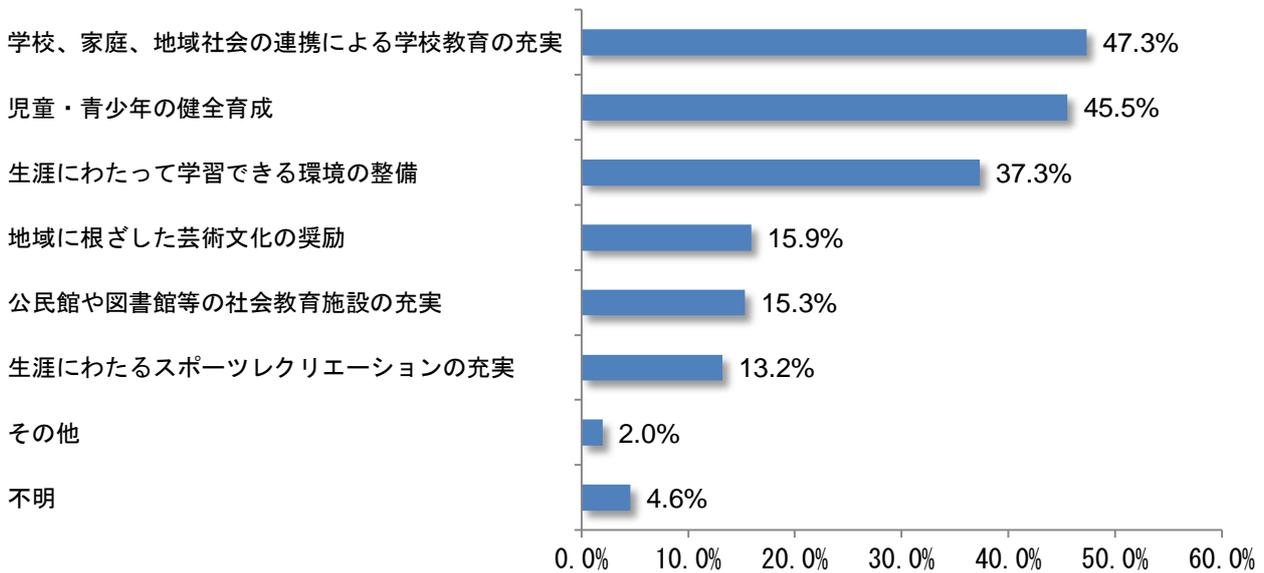
問5 教育・文化に対する意識が多様化している中で、どのようなことに力を入れていくべきだ
とお考えですか。次の中から2つ以内をお選びください。

●「学校、家庭、地域社会の連携による学校教育の充実」が最も多い（47.3%）

・「学校、家庭、地域社会の連携による学校教育の充実」を選んだ人が最も多く、次いで「児童・青少年の健全育成」、「生涯にわたって学習できる環境の整備」となっています（図表 I-18）。

・前回調査と比較すると、「学校、家庭、地域社会の連携による学校教育の充実」は、4.5%上昇し、47.3%と高い割合で選ばれていますが、上位3項目は、ほぼ同様の傾向となっています（図表 I-19）。

（図表 I-18 教育・文化活動の充実 回答者数 1,223 人）



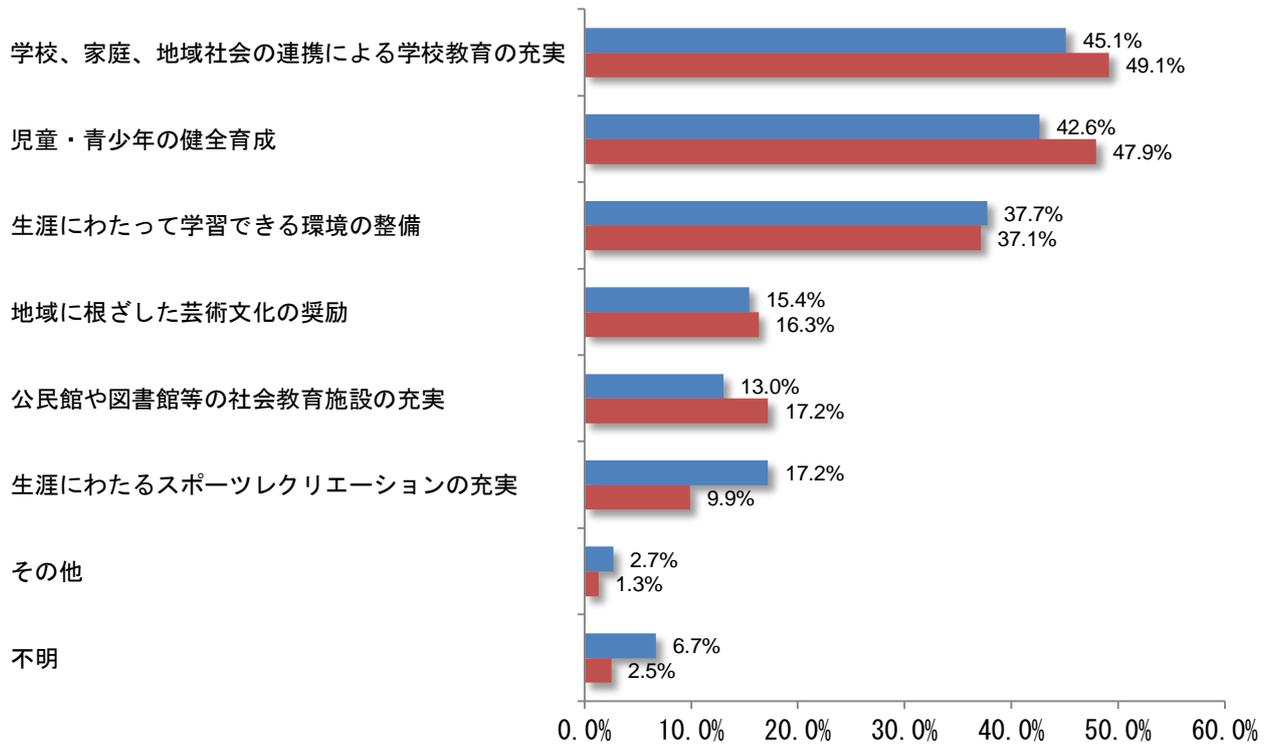
（図表 I-19 教育・文化活動の充実 前回調査比較）

	前回（平成 15 年 7 月調査）		今回	
	選択肢名	割合 (%)	選択肢名	割合 (%)
1 位	児童・青少年の健全育成	46.5	学校、家庭、地域社会の連携による学校教育の充実	47.3
2 位	学校、家庭、地域社会の連携による学校教育の充実	42.8	児童・青少年の健全育成	45.5
3 位	生涯にわたって学習できる環境の整備	40.9	生涯にわたって学習できる環境の整備	37.3

■ 性別（図表 I-20）

- ・男性は、女性と比べて「生涯にわたるスポーツレクリエーションの充実」を選んだ割合が高くなっています。
- ・女性は、男性と比べて「学校、家庭、地域社会の連携による学校教育の充実」や「児童・青少年の健全育成」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I-20 教育・文化活動の充実 性別 回答者数 男性 552 人 女性 668 人）



■ 年代別（図表 I -21）

・各年代で大きな違いはなく、ほぼ同様の傾向となっていますが、20 歳代では、他の年代と比べて「公民館や図書館等の社会教育施設の充実」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I -21 教育・文化活動の充実 年代別）

	回答者数(人)	単位 (%)							
		学校、家庭、地域社会の連携による学校教育の充実	児童・青少年の健全育成	生涯にわたって学習できる環境の整備	地域に根ざした芸術文化の奨励	公民館や図書館等の社会教育施設の充実	生涯にわたるスポーツレクリエーションの充実	その他	不明
全体	1,223	47.3	45.5	37.3	15.9	15.3	13.2	2.0	4.6
20 歳代	97	46.4	33.0	27.8	11.3	24.7	17.5	2.1	5.2
30 歳代	188	51.1	39.4	35.6	13.8	18.1	14.9	0.5	4.8
40 歳代	218	45.0	37.2	42.7	15.6	16.5	12.8	2.8	2.3
50 歳代	206	47.6	43.2	38.3	13.6	13.6	13.6	4.9	5.8
60 歳代	268	48.9	56.7	35.4	17.9	10.4	12.7	1.1	4.9
70 歳以上	242	45.0	52.1	39.3	19.4	15.3	10.3	0.8	4.1

※1 全体数は年齢不明分も含んでいます。

※2 各年代の上位3項目のセルに色づけをしています。

■ 居住地区別（図表 I-22）

・各地区で大きな違いはなく、ほぼ同様の傾向となっています。

（図表 I-22 教育・文化活動の充実 居住地区別）

	回答者数(人)	単位 (%)							
		学校、家庭、地域社会の連携による学校教育の充実	児童・青少年の健全育成	生涯にわたって学習できる環境の整備	地域に根ざした芸術文化の奨励	公民館や図書館等の社会教育施設の充実	生涯にわたるスポーツレクリエーションの充実	その他	不明
全体	1,223	47.3	45.5	37.3	15.9	15.3	13.2	2.0	4.6
河北	377	47.2	46.7	36.1	14.6	14.6	12.5	2.7	5.3
河南	174	47.7	45.4	36.2	17.8	14.9	13.8	1.7	3.4
盛南	193	46.6	47.2	35.2	14.0	18.7	15.0	1.0	3.6
厨川	222	49.5	45.5	39.2	17.1	16.2	12.2	2.7	1.4
都南	183	51.4	44.3	43.2	17.5	13.1	14.2	1.6	1.6
玉山	37	40.5	35.1	32.4	18.9	16.2	16.2	0.0	16.2

※1 全体数は居住地区不明分も含んでいます。

※2 各居住地区の上位3項目のセルに色づけをしています。

④ 保健・福祉・医療の充実

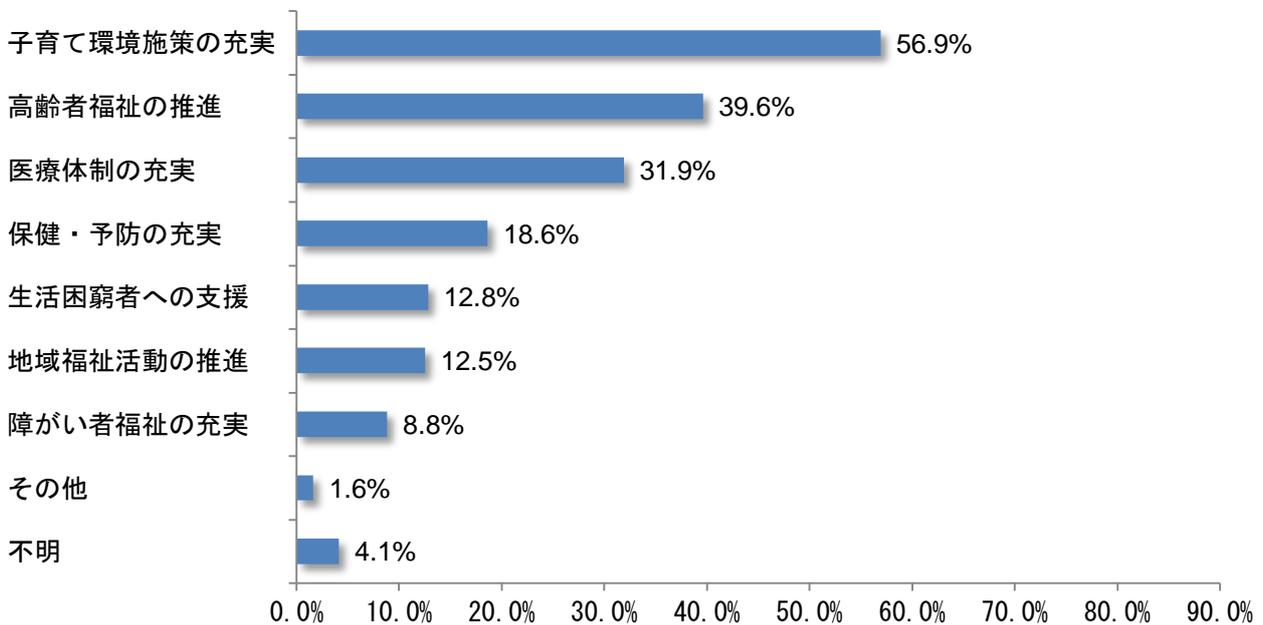
問6 近年、少子高齢化が進んでいますが、保健・福祉・医療の分野で、どのようなことに力を入れていくべきだとお考えですか。次の中から2つ以内をお選びください。

●「子育て環境施策の充実」が最も多い（56.9%）

・「子育て環境施策の充実」を選んだ人が最も多く、次いで「高齢者福祉の推進」、「医療体制の充実」となっています（図表 I-23）。

・前回調査と比較すると、「子育て環境施策の充実」は、6.5%上昇し、56.9%と高い割合で選ばれていますが、上位3項目は同様の傾向となっています（図表 I-24）。

（図表 I-23 保健・福祉・医療の充実 回答者数 1,223 人）



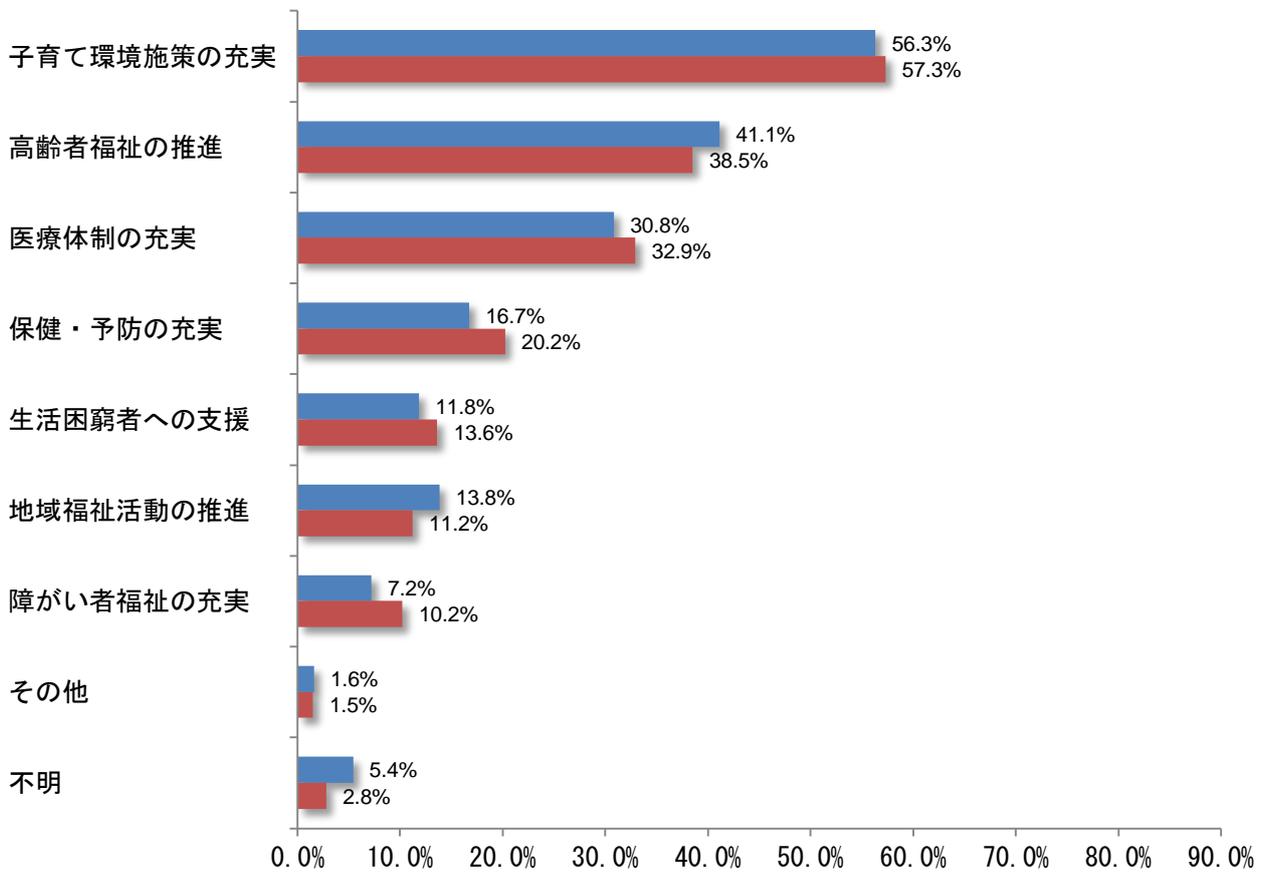
（図表 I-24 保健・福祉・医療の充実 前回調査比較）

	前回（平成 15 年 7 月調査）		今回	
	選択肢名	割合 (%)	選択肢名	割合 (%)
1 位	子育て環境施策の充実	50.4	子育て環境施策の充実	56.9
2 位	医療体制の充実	41.4	高齢者福祉の推進	39.6
3 位	高齢者福祉の推進	40.1	医療体制の充実	31.9

■ 性別（図表 I-25）

・性別により大きな違いはなく、ほぼ同様の傾向となっています。

（図表 I-25 保健・福祉・医療の充実 性別 回答者数 男性 552 人 女性 668 人）



■ 年代別（図表 I -26）

・各年代でほぼ同様の傾向になっていますが、「子育て環境施策の充実」は20歳代で70.1%、30歳代で80.9%と非常に高い割合で選ばれています。

（図表 I -26 保健・福祉・医療の充実 年代別）

	回答者数(人)	単位 (%)								
		子育て環境施策の充実	高齢者福祉の推進	医療体制の充実	保健・予防の充実	生活困窮者への支援	地域福祉活動の推進	障がい者福祉の充実	その他	不明
全体	1,223	56.9	39.6	31.9	18.6	12.8	12.5	8.8	1.6	4.1
20歳代	97	70.1	33.0	24.7	23.7	14.4	10.3	3.1	1.0	3.1
30歳代	188	80.9	29.8	32.4	19.7	8.0	6.9	5.9	2.7	2.1
40歳代	218	55.0	46.8	31.2	19.3	12.8	7.3	9.2	2.3	1.4
50歳代	206	53.4	42.7	33.0	16.0	12.1	10.7	10.2	1.5	6.3
60歳代	268	53.7	35.8	32.1	19.8	11.6	18.3	9.3	1.1	5.2
70歳以上	242	40.9	45.0	34.3	16.1	17.8	16.9	11.6	0.8	5.0

※1 全体数は年齢不明分も含んでいます。

※2 各年代の上位3項目のセルに色づけをしています。

■ 居住地区別（図表 I-27）

・各地区で大きな違いはなく、ほぼ同様の傾向となっています。

（図表 I-27 保健・福祉・医療の充実 居住地区別）

	回答者数(人)	単位 (%)								
		子育て環境施策の充実	高齢者福祉の推進	医療体制の充実	保健・予防の充実	生活困窮者への支援	地域福祉活動の推進	障がい者福祉の充実	その他	不明
全体	1,223	56.9	39.6	31.9	18.6	12.8	12.5	8.8	1.6	4.1
河北	377	61.0	39.3	30.8	18.8	11.9	11.1	7.4	2.1	4.2
河南	174	55.2	43.7	32.2	16.7	13.2	10.9	11.5	1.1	3.4
盛南	193	57.0	35.2	36.3	17.6	11.4	13.0	10.9	1.6	3.1
厨川	222	59.0	36.9	36.9	21.2	12.6	12.6	9.0	1.4	0.9
都南	183	54.1	44.8	26.8	18.6	16.4	16.9	7.7	1.6	2.2
玉山	37	45.9	40.5	35.1	21.6	10.8	10.8	8.1	0.0	8.1

※1 全体数は居住地区不明分も含んでいます。

※2 各居住地区の上位3項目のセルに色づけをしています。

⑤ 少子化への対応

問7 少子化対策として何が必要だと思いますか。次の中から2つ以内をお選びください。

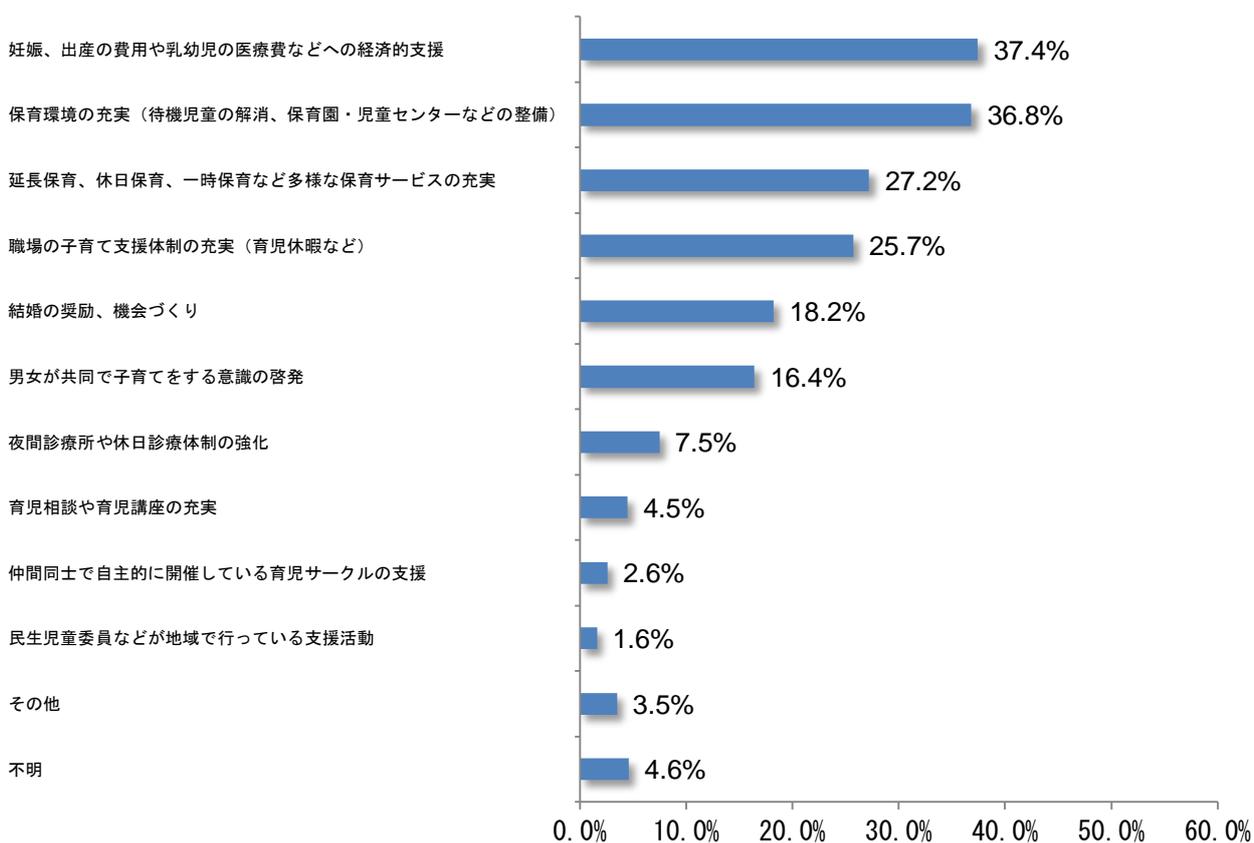
●「妊娠、出産の費用や乳幼児の医療費などへの経済的支援」が最も多い（37.4%）

・「妊娠、出産の費用や乳幼児の医療費などへの経済的支援」を選んだ人が最も多く、次いで「保育環境の充実（待機児童の解消、保育園・児童センターなどの整備）」、「延長保育、休日保育、一時保育など多様な保育サービスの充実」となっています（図表 I-28）。

・前回調査と比較すると、「妊娠、出産の費用や乳幼児の医療費などへの経済的支援」、「延長保育、休日保育、一時保育など多様な保育サービスの充実」は、今回の調査でも多くの人が選んでいます（図表 I-29）。

・「保育環境の充実（待機児童の解消、保育園・児童センターなどの整備）」が、8.7%上昇し、36.8%と高い割合で選ばれています。

（図表 I-28 少子化への対応 回答者数 1,223 人）



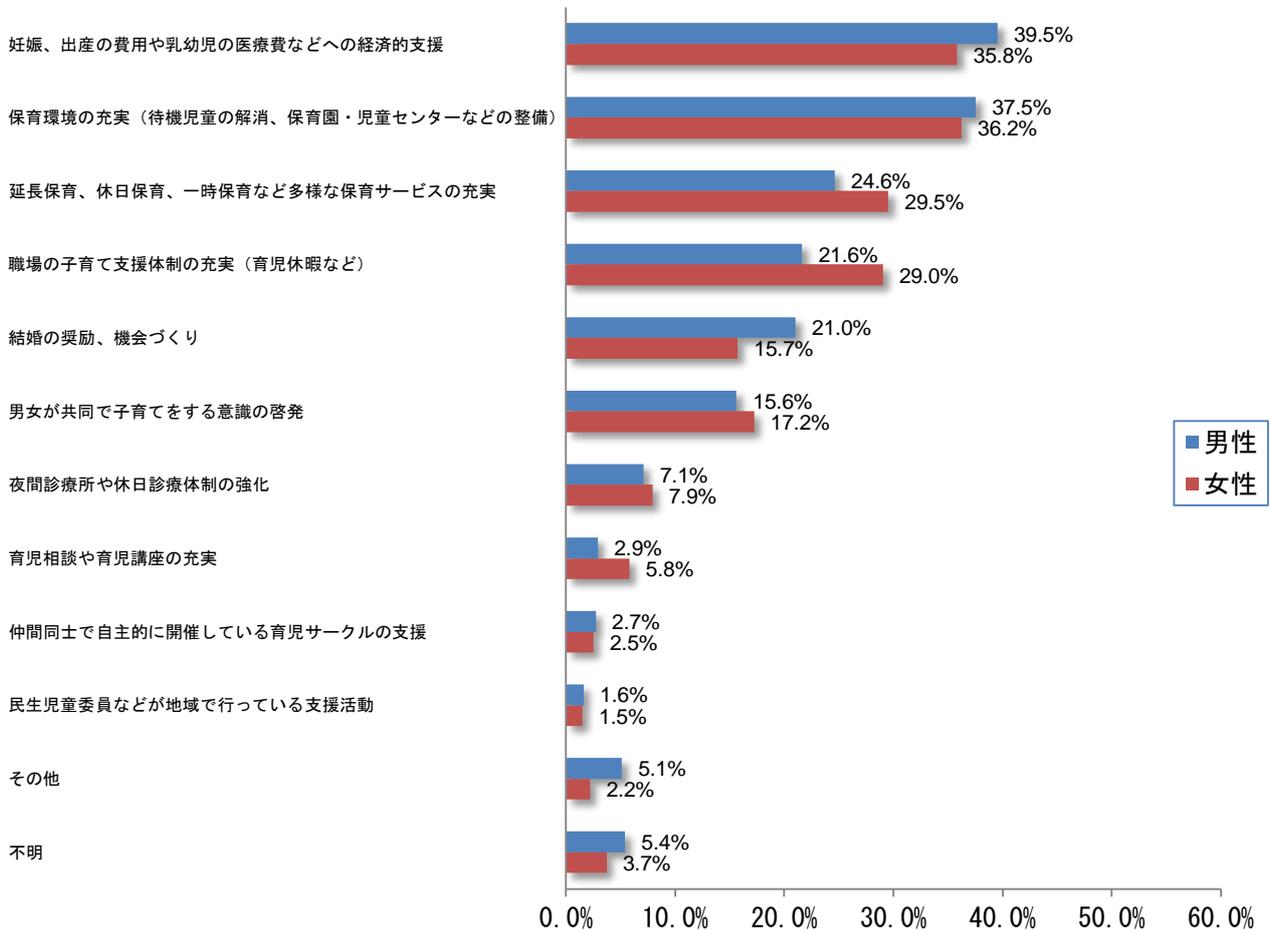
（図表 I-29 少子化への対応 前回調査比較）

	前回（平成 15 年 7 月調査）		今回	
	選択肢名	割合 (%)	選択肢名	割合 (%)
1 位	妊娠、出産の費用や乳幼児の医療費などへの経済的支援	42.3	妊娠、出産の費用や乳幼児の医療費などへの経済的支援	37.4
2 位	職場の子育て支援体制の充実（育児休暇など）	34.6	保育環境の充実（待機児童の解消、保育園・児童センターなどの整備）	36.8
3 位	延長保育、休日保育、一時保育など多様な保育サービスの充実	34.1	延長保育、休日保育、一時保育など多様な保育サービスの充実	27.2

■ 性別（図表 I-30）

- ・男性は、女性と比べて「結婚の奨励、機会づくり」を選んだ割合が高くなっています。
- ・女性は、男性と比べて「延長保育、休日保育、一時保育など多様な保育サービスの充実」や「職場の子育て支援体制の充実（育児休暇など）」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I-30 少子化への対応 性別 回答者数 男性 552 人 女性 668 人）



■ 年代別（図表 I -31）

・各年代でほぼ同様の傾向となっていますが、20 歳代では、他の年代と比べて「延長保育、休日保育、一時保育など多様な保育サービスの充実」よりも「職場の子育て支援体制の充実（育児休暇など）」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I -31 少子化への対応 年代別）

	回答者数（人）	単位（%）											
		妊娠、出産の費用や乳幼児の医療費などへの経済的支援	保育園・児童センターなどの整備（保育環境の充実（待機児童の解消、）	延長保育、休日保育、一時保育など多様な保育サービスの充実	職場の子育て支援体制の充実（育児休暇など）	結婚の奨励、機会づくり	男女が共同で子育てをする意識の啓発	夜間診療所や休日診療体制の強化	育児相談や育児講座の充実	仲間同士で自主的に開催している育児サークルの支援	民生児童委員などが地域で行っている支援活動	その他	不明
全体	1,223	37.4	36.8	27.2	25.7	18.2	16.4	7.5	4.5	2.6	1.6	3.5	4.6
20 歳代	97	51.5	28.9	17.5	35.1	16.5	16.5	3.1	7.2	2.1	1.0	3.1	4.1
30 歳代	188	45.7	37.8	32.4	27.7	9.6	19.1	4.3	3.2	0.5	0.5	5.3	3.2
40 歳代	218	33.5	39.4	31.2	25.7	18.3	15.6	8.3	4.1	2.3	0.5	5.5	1.4
50 歳代	206	35.4	39.8	25.7	24.8	17.0	12.6	6.3	5.3	3.9	1.0	3.4	7.8
60 歳代	268	34.0	38.8	28.0	24.6	20.1	17.2	8.6	5.6	2.6	1.1	3.4	4.1
70 歳以上	242	34.3	31.8	24.4	22.3	24.0	17.8	11.2	2.9	3.7	4.5	0.8	6.2

※1 全体数は年齢不明分も含んでいます。

※2 各年代の上位3項目のセルに色づけをしています。

■ 居住地区別（図表 I-32）

・上位4項目は、各地区で多くの人を選んでいます。玉山地区では、「職場の子育て支援体制の充実（育児休暇など）」を選んだ割合が8.1%と低くなっており、代わりに「結婚の奨励、機会づくり」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I-32 少子化への対応 居住地区別）

	回答者数(人)	単位 (%)												
		妊娠、出産の費用や乳幼児の医療費などへの経済的支援	保育園・児童センターなどの整備	保育環境の充実(待機児童の解消)	延長保育、休日保育、一時保育など多様な保育サービスの充実	職場の子育て支援体制の充実(育児休暇など)	結婚の奨励、機会づくり	啓発	男女が共同で子育てをする意識の	夜間診療所や休日診療体制の強化	育児相談や育児講座の充実	育児サークルの支援	仲間同士で自主的に開催している	民生児童委員などが地域で行っている支援活動
全体	1,223	37.4	36.8	27.2	25.7	18.2	16.4	7.5	4.5	2.6	1.6	3.5	4.6	
河北	377	36.6	38.5	30.0	25.7	18.3	15.1	5.8	4.8	2.1	2.1	3.2	4.2	
河南	174	35.6	33.9	29.3	27.0	16.7	16.7	8.0	2.9	2.3	1.7	4.0	5.2	
盛南	193	35.2	41.5	25.4	27.5	13.0	20.2	10.4	5.7	2.1	2.1	2.6	3.1	
厨川	222	45.0	39.6	23.0	28.4	19.4	17.1	6.8	3.2	3.2	0.5	3.6	1.4	
都南	183	32.8	35.5	29.0	26.8	21.3	14.2	9.3	7.1	4.9	1.1	4.4	2.7	
玉山	37	45.9	24.3	27.0	8.1	35.1	18.9	2.7	2.7	0.0	0.0	2.7	10.8	

※1 全体数は居住地区不明分も含んでいます。

※2 各居住地区の上位3項目のセルに色づけをしています。

⑥ 高齢化への対応

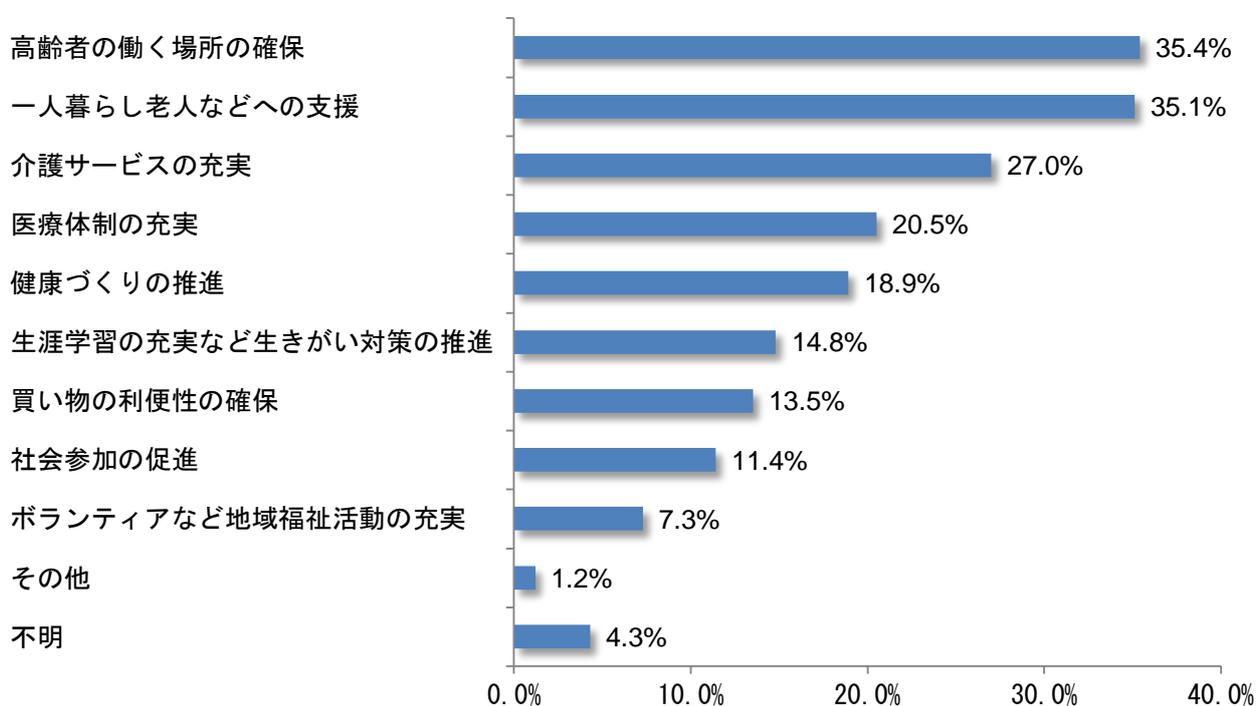
問8 高齢化が進んでいますが、どのようなことに積極的に取り組むべきだとお考えですか。次の中から2つ以内をお選びください。

●「高齢者の働く場所の確保」が最も多い（35.4%）

・「高齢者の働く場所の確保」を選んだ人が最も多く、次いで「一人暮らし老人などへの支援」、「介護サービスの充実」となっています（図表 I-33）。

・「一人暮らし老人などへの支援」は、今回の調査で新たに設定した選択肢ですが、35.1%と高い割合で選ばれています（図表 I-34）。

（図表 I-33 高齢化への対応 回答者数 1,223 人）



（図表 I-34 高齢化への対応 前回調査比較）

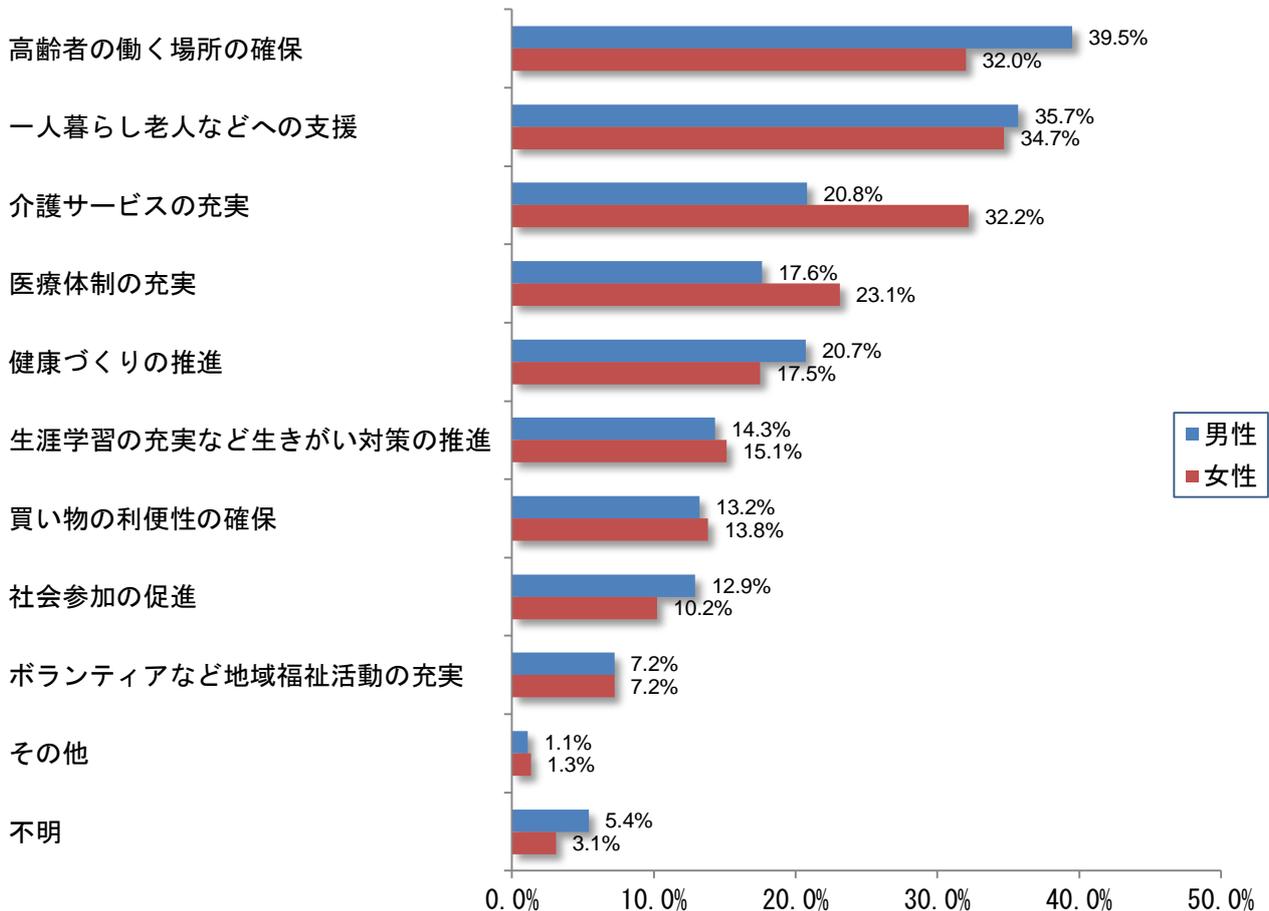
	前回（平成 15 年 7 月調査）		今回	
	選択肢名	割合 (%)	選択肢名	割合 (%)
1 位	年金や生活保護制度の充実	39.3	高齢者の働く場所の確保	35.4
2 位	介護保健施設など老人福祉施設の整備促進	38.2	一人暮らし老人などへの支援	35.1
3 位	高齢者の働く場所の確保	30.7	介護サービスの充実	27.0

■ 性別（図表 I -35）

・男性は、女性と比べて「高齢者の働く場所の確保」や「健康づくりの推進」を選んだ割合が高くなっています。

・女性は、男性と比べて「介護サービスの充実」や「医療体制の充実」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I -35 高齢化への対応 性別 回答者数 男性 552 人 女性 668 人）



■ 年代別（図表 I -36）

・各年代でほぼ同様の傾向となっていますが、20 歳代では、他の年代と比べて「買物の利便性の確保」を選んだ割合が高くなっています。

・70 歳以上では、他の年代と比べて「高齢者の働く場所の確保」よりも「医療体制の充実」や「健康づくりの推進」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I -36 高齢化への対応 年代別）

	回答者数（人）	単位（％）										
		高齢者の働く場所の確保	一人暮らし老人などへの支援	介護サービスの充実	医療体制の充実	健康づくりの推進	生涯学習の充実など生きがい対策の推進	買物の利便性の確保	社会参加の促進	ボランティアなど地域福祉活動の充実	その他	不明
全体	1,223	35.4	35.1	27.0	20.5	18.9	14.8	13.5	11.4	7.3	1.2	4.3
20 歳代	97	37.1	35.1	26.8	11.3	12.4	12.4	25.8	10.3	9.3	2.1	6.2
30 歳代	188	43.6	37.2	25.0	14.9	18.6	15.4	15.4	11.2	2.1	1.6	2.7
40 歳代	218	46.3	40.8	25.7	19.7	17.4	8.3	14.2	9.6	5.0	1.4	1.4
50 歳代	206	38.8	32.0	28.6	22.8	16.0	14.6	13.1	7.8	6.8	1.5	6.3
60 歳代	268	30.6	32.1	24.6	23.1	20.1	18.3	9.3	15.3	10.4	1.1	4.5
70 歳以上	242	21.1	34.3	31.0	24.8	24.4	17.4	11.6	12.4	9.1	0.4	5.0

※1 全体数は年齢不明分も含んでいます。

※2 各年代の上位3項目のセルに色づけをしています。

■ 居住地区別（図表 I-37）

・上位3項目は、各地区で多くの人が選んでいます。玉山地区では、他の地区と比べて「高齢者の働く場所の確保」を選んだ割合が低くなっており、代わりに「買い物の利便性の確保」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I-37 高齢化への対応 居住地区別）

	回答者数(人)	単位 (%)										
		高齢者の働く場所の確保	一人暮らし老人などへの支援	介護サービスの充実	医療体制の充実	健康づくりの推進	生涯学習の充実など生きがい対策の推進	買い物の利便性の確保	社会参加の促進	ボランティアなど地域福祉活動の充実	その他	不明
全体	1,223	35.4	35.1	27.0	20.5	18.9	14.8	13.5	11.4	7.3	1.2	4.3
河北	377	36.3	35.0	25.7	21.8	19.4	12.7	14.1	9.8	7.2	2.1	4.8
河南	174	33.9	37.4	28.7	21.3	19.0	15.5	11.5	13.2	6.3	1.1	3.4
盛南	193	34.7	43.0	28.0	18.1	17.6	14.0	14.0	14.5	4.1	0.5	2.6
厨川	222	36.0	35.6	29.7	23.4	20.3	15.3	13.5	10.4	7.7	0.9	0.9
都南	183	39.3	27.3	28.4	20.2	18.6	19.1	12.0	12.0	9.8	1.1	2.2
玉山	37	18.9	35.1	16.2	18.9	16.2	18.9	24.3	5.4	13.5	0.0	10.8

※1 全体数は居住地区不明分も含んでいます。

※2 各居住地区の上位3項目のセルに色づけをしています。

⑦ 環境への対応

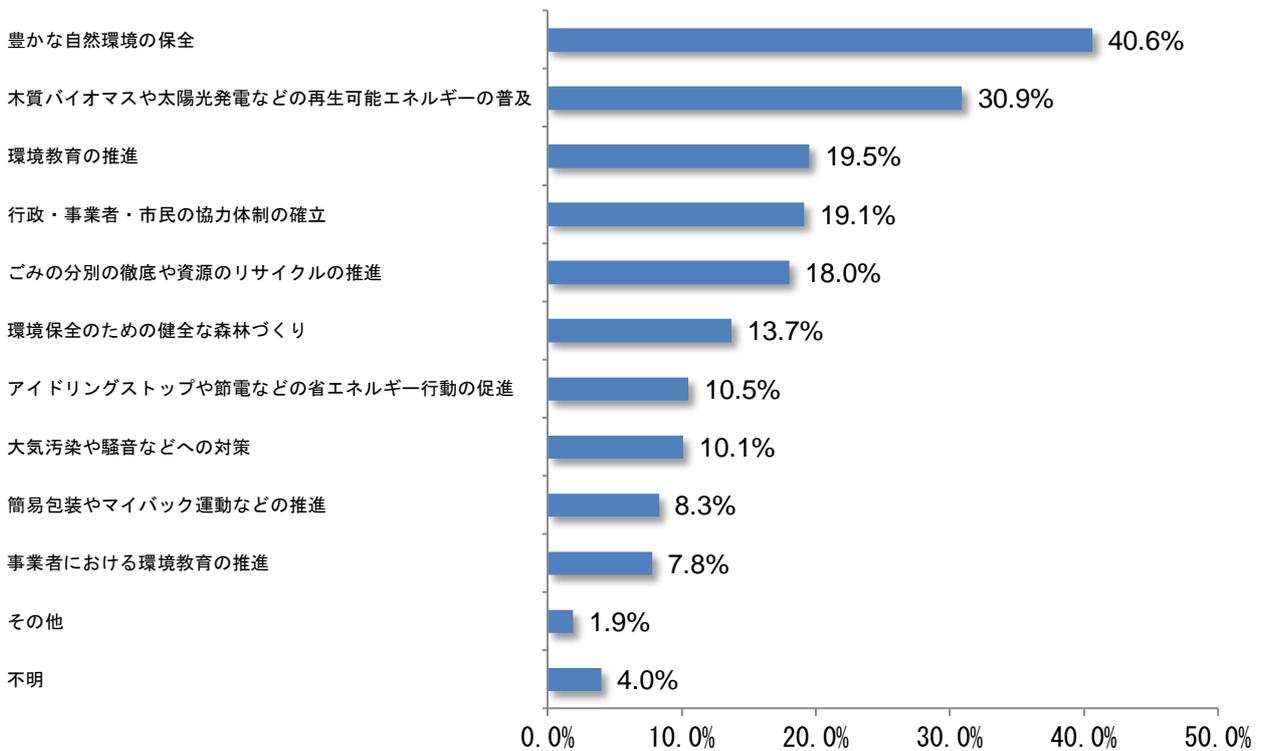
問9 近年、環境への関心が高まっていますが、どのようなことに積極的に取り組むべきだとお考えですか。次の中から2つ以内をお選びください。

●「豊かな自然環境の保全」が最も多い（40.6%）

・「豊かな自然環境の保全」を選んだ人が最も多く、次いで「木質バイオマスや太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及」、「環境教育の推進」となっています（図表 I-38）。

・前回調査と比較すると「行政・事業者・市民の協力体制の確立」、「環境保全のための健全な森林づくりと地域木材の利用促進」を選んだ割合が減少し、代わりに「豊かな自然環境の保全」、「木質バイオマスや太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及」を選んだ割合が上昇しています（図表 I-39）。

（図表 I-38 環境への対応 回答者数 1,223 人）



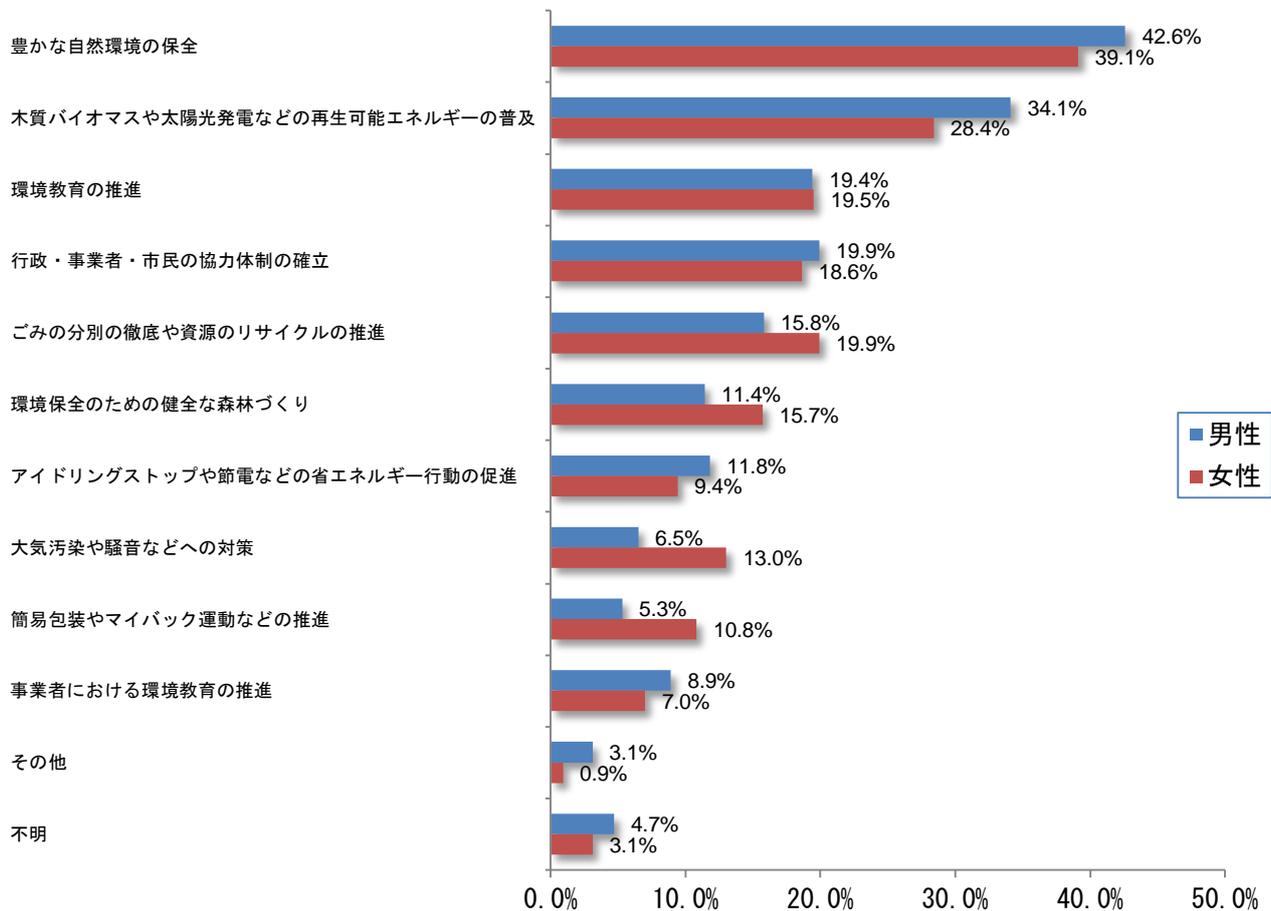
（図表 I-39 環境への対応 前回調査比較）

	前回（平成 15 年 7 月調査）		今回	
	選択肢名	割合 (%)	選択肢名	割合 (%)
1 位	行政・事業者・市民の協力体制の確立	32.5	豊かな自然環境の保全	40.6
2 位	豊かな自然環境の保全	25.4	木質バイオマスや太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及	30.9
3 位	環境保全のための健全な森林づくりと地域木材の利用促進	24.3	環境教育の推進	19.5

■ 性別（図表 I -40）

- ・男性は、女性と比べて「木質バイオマスや太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及」を選んだ割合が高くなっています。
- ・女性は、男性と比べて「大気汚染や騒音などへの対策」や「簡易包装やマイバック運動などの推進」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I -40 環境への対応 性別 回答者数 男性 552 人 女性 668 人）



■ 年代別（図表 I-41）

・20歳代と30歳代では、他の年代と比べて「木質バイオマスや太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及」を選んだ割合が高くなっています。

・60歳以上では、「環境教育の推進」よりも「行政・事業者・市民の協力体制の確立」や「ごみの分別の徹底や資源にリサイクルの推進」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I-41 環境への対応 年代別）

	回答者数（人）	単位（％）											
		豊かな自然環境の保全	木質バイオマスや太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及	環境教育の推進	行政・事業者・市民の協力体制の確立	ごみの分別の徹底や資源のリサイクルの推進	環境保全のための健全な森林づくり	アイドリングストップや節電などの省エネルギー行動の促進	大気汚染や騒音などへの対策	簡易包装やマイバック運動などの推進	事業者における環境教育の推進	その他	不明
全体	1,223	40.6	30.9	19.5	19.1	18.0	13.7	10.5	10.1	8.3	7.8	1.9	4.0
20歳代	97	35.1	39.2	16.5	9.3	14.4	8.2	15.5	16.5	15.5	7.2	2.1	5.2
30歳代	188	35.6	44.1	23.9	12.8	15.4	9.6	11.2	8.5	8.0	8.5	2.1	1.6
40歳代	218	41.3	33.0	21.1	13.3	17.0	11.5	11.9	11.9	8.3	7.8	1.8	2.3
50歳代	206	40.8	34.0	19.9	16.5	16.0	18.0	10.7	6.8	9.7	7.8	2.4	4.9
60歳代	268	41.0	25.7	19.0	26.1	19.8	15.7	9.7	9.3	6.0	8.2	1.1	4.5
70歳以上	242	45.5	19.0	15.3	28.1	22.3	15.7	7.4	10.7	7.0	7.4	2.1	5.0

※1 全体数は年齢不明分も含んでいます。

※2 各年代の上位3項目のセルに色づけをしています。

■ 居住地区別（図表 I-42）

・ 厨川地区、都南地区では、他の地区と比べて「行政・事業者・市民の協力体制の確立」を選んだ割合が高くなっています。

・ 玉山地区では、他の地区と比べて「木質バイオマスや太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及」を選んだ割合が 16.2%と低くなっており、代わりに「環境保全のための健全な森林づくり」が 35.1%と選んだ割合が高くなっています。

（図表 I- 42 環境への対応 居住地区別）

	回答者数(人)	単位 (%)											
		豊かな自然環境の保全	木質バイオマスや太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及	環境教育の推進	行政・事業者・市民の協力体制の確立	ごみの分別の徹底や資源のリサイクルの推進	環境保全のための健全な森林づくり	アイドリングストップや節電などの省エネルギー行動の促進	大気汚染や騒音などへの対策	簡易包装やマイバック運動などの推進	事業者における環境教育の推進	その他	不明
全体	1,223	40.6	30.9	19.5	19.1	18.0	13.7	10.5	10.1	8.3	7.8	1.9	4.0
河北	377	41.4	33.2	17.2	17.0	19.6	10.3	11.7	10.6	8.8	6.1	2.1	4.5
河南	174	42.5	20.1	23.0	19.5	15.5	17.2	12.1	10.9	8.0	8.0	2.9	4.0
盛南	193	38.3	39.4	16.6	17.6	18.1	15.5	8.3	9.3	8.8	8.3	1.6	2.1
厨川	222	37.4	32.4	23.4	24.8	20.7	11.3	9.5	9.0	9.0	12.2	1.4	0.0
都南	183	42.1	33.3	19.7	21.3	16.4	14.2	11.5	12.0	7.1	8.7	1.1	1.6
玉山	37	43.2	16.2	16.2	10.8	16.2	35.1	10.8	5.4	8.1	0.0	2.7	10.8

※1 全体数は居住地区不明分も含んでいます。

※2 各居住地区の上位3項目のセルに色づけをしています。

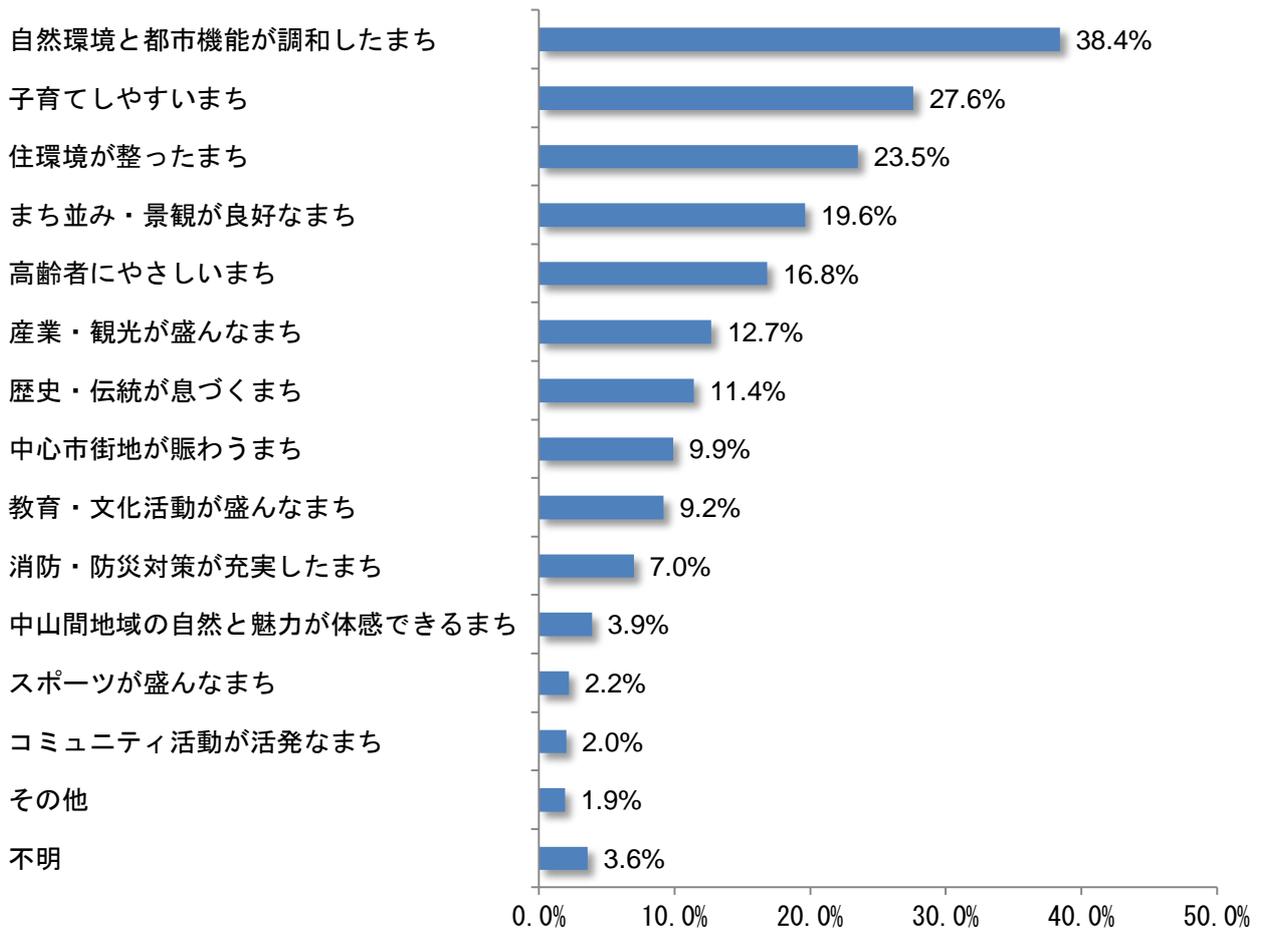
⑧ 都市の魅力創造 ※今回の調査で新たに設定した設問です。

問10 市内外の人から「住み続けたい」、「訪れたい」、「住んでみたい」、「事業活動したい」などと思われるようなまちとなるには、どのような魅力を市内外にPRしていくべきだとお考えですか。次の中から2つ以内をお選びください。

●「自然環境と都市機能が調和したまち」が最も多い（38.4%）

・「自然環境と都市機能が調和したまち」を選んだ人が最も多く、次いで「子育てしやすいまち」、「住環境が整ったまち」となっています（図表 I-43）。

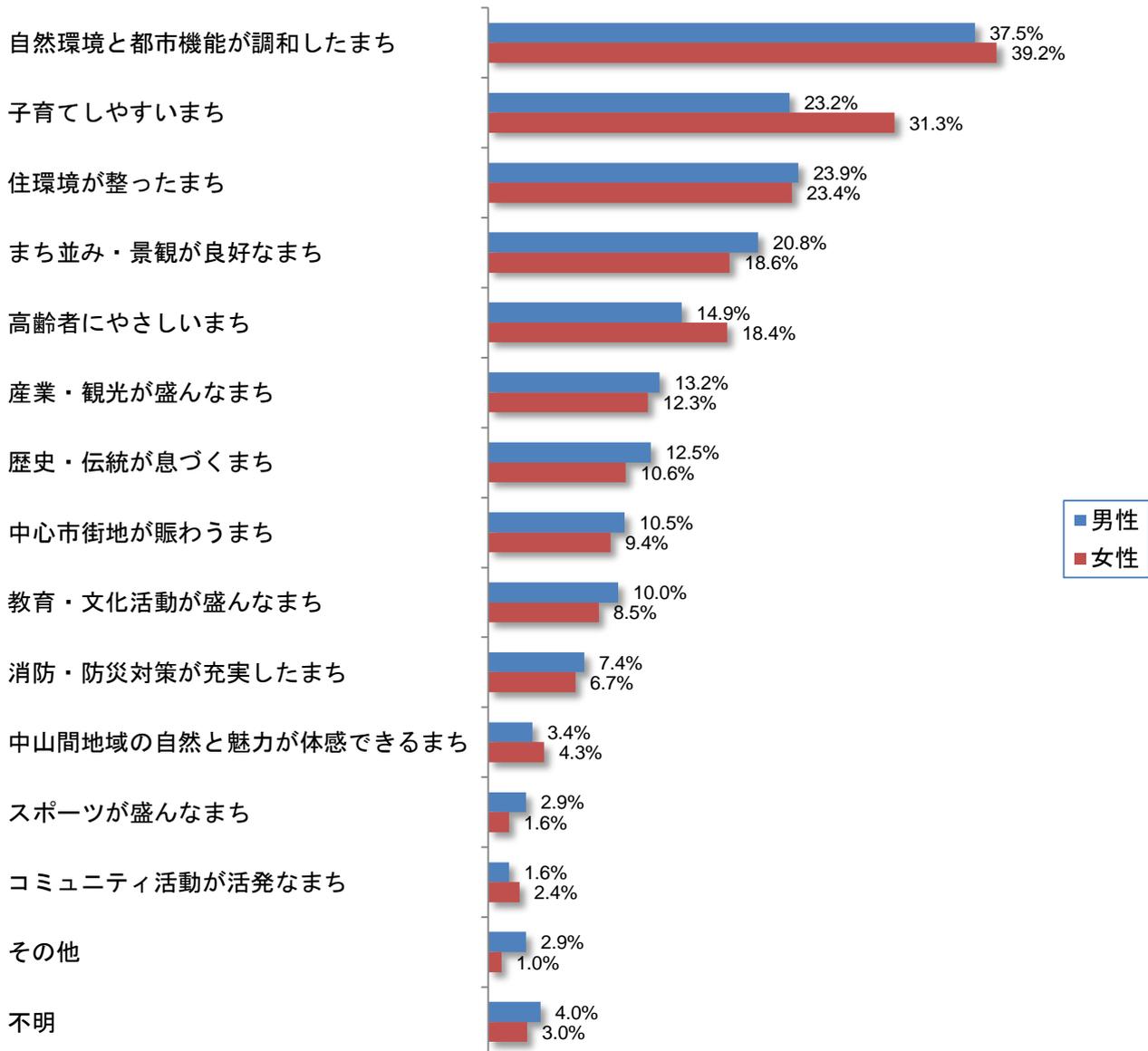
（図表 I-43 都市の魅力創造 回答者数 1,223 人）



■ 性別（図表 I-44）

・女性は、男性と比べて「子育てしやすいまち」、「高齢者にやさしいまち」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I-44 都市の魅力創造 性別 回答者数 男性 552 人 女性 668 人）



■ 年代別（図表 I -45）

- ・各年代でほぼ同様の傾向になっていますが、20 歳代と 30 歳代では「子育てしやすいまち」を選んだ割合が「自然環境と都市機能が調和したまち」よりも高くなっています。
- ・70 歳以上では、「子育てしやすいまち」よりも「高齢者にやさしいまち」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I -45 都市の魅力創造 年代別）

	回答者数（人）	単位（％）														
		自然環境と都市機能が調和したまち	子育てしやすいまち	住環境が整ったまち	まち並み・景観が良好なまち	高齢者にやさしいまち	産業・観光が盛んなまち	歴史・伝統が息づくまち	中心市街地が賑わうまち	教育・文化活動が盛んなまち	消防・防災対策が充実したまち	中山間地域の自然と魅力が体感できるまち	スポーツが盛んなまち	コミュニティ活動が活発なまち	その他	不明
全体	1,223	38.4	27.6	23.5	19.6	16.8	12.7	11.4	9.9	9.2	7.0	3.9	2.2	2.0	1.9	3.6
20 歳代	97	30.9	44.3	20.6	27.8	8.2	14.4	7.2	11.3	5.2	4.1	3.1	2.1	3.1	1.0	4.1
30 歳代	188	33.0	45.7	25.5	17.6	9.6	13.8	9.6	9.6	7.4	5.9	0.0	2.7	2.1	2.7	3.2
40 歳代	218	38.1	25.7	27.5	22.9	16.1	11.9	11.0	10.1	9.6	5.0	2.3	3.7	1.4	2.3	2.3
50 歳代	206	44.7	23.3	24.8	17.0	19.4	10.2	10.7	4.9	10.7	9.7	4.9	1.0	1.5	3.4	3.9
60 歳代	268	41.0	27.6	22.8	18.3	17.5	11.9	13.4	10.4	7.8	7.5	6.3	1.1	1.9	1.1	3.0
70 歳以上	242	37.6	12.4	19.8	18.6	23.6	14.5	13.6	13.2	12.0	8.3	5.4	2.9	2.9	0.8	4.5

※1 全体数は年齢不明分も含んでいます。

※2 各年代の上位3項目のセルに色づけをしています。

■ 居住地区別（図表 I-46）

・上位4項目は、各地区で多くの人を選んでいますが、玉山地区では、「住環境が整ったまち」を選んだ割合が10.8%と低くなっており、代わりに「まち並み・景観が良好なまち」、「中山間地域の自然と魅力が体感できるまち」を選んだ割合が高くなっています。

（図表 I-46 都市の魅力創造 居住地区別）

	回答者数(人)	単位 (%)														
		自然環境と都市機能が調和したまち	子育てしやすいまち	住環境が整ったまち	まち並み・景観が良好なまち	高齢者にやさしいまち	産業・観光が盛んなまち	歴史・伝統が息づくまち	中心市街地が賑わうまち	教育・文化活動が盛んなまち	消防・防災対策が充実したまち	中山間地域の自然と魅力が体感できるまち	スポーツが盛んなまち	コミュニティ活動が活発なまち	その他	不明
全体	1,223	38.4	27.6	23.5	19.6	16.8	12.7	11.4	9.9	9.2	7.0	3.9	2.2	2.0	1.9	3.6
河北	377	37.9	29.4	23.6	18.8	17.8	13.0	9.3	11.7	9.3	5.6	4.0	1.3	2.4	2.9	3.4
河南	174	42.5	21.8	21.3	20.1	13.2	12.6	17.8	14.4	9.2	5.7	2.9	4.6	0.6	1.7	2.3
盛南	193	36.8	34.7	23.3	19.7	14.0	15.0	11.9	7.8	8.8	8.3	1.6	1.6	1.6	1.6	3.6
厨川	222	38.7	28.4	24.8	21.2	18.0	12.2	11.7	6.8	9.0	9.9	3.6	2.7	2.3	1.8	0.9
都南	183	37.2	26.8	26.2	18.6	19.1	12.6	11.5	10.4	10.4	7.1	4.9	2.2	2.7	0.5	2.2
玉山	37	45.9	18.9	10.8	24.3	16.2	8.1	8.1	0.0	8.1	8.1	18.9	2.7	5.4	0.0	8.1

※1 全体数は居住地区不明分も含んでいます。

※2 各居住地区の上位3項目のセルに色づけをしています。

(4) 理想の盛岡、まちづくりについて（問2 記述式）

問2 問1で掲げた項目のほかに、あなたが思う「理想の盛岡」や「盛岡のまちづくり」について、自由にご提案してください。

① 提案件数

819件（回答者数493人）

提案の件数は複数回答の取扱いとしています。

② 提案の概要

提案の内容を整理するため、現在の盛岡市総合計画の施策の柱（8）と施策（41）ごとに分類したところ、以下のようになりました。

■ 施策の柱

「7快適な都市機能」に関する提案が最も多く、次いで「5活力ある産業の振興」、「1いきいきとして安心できる暮らし」に関する提案が多くなっています。

施策の柱	件数（件）	割合（%）
1 いきいきとして安心できる暮らし	127	15.5
2 安全な暮らし	34	4.2
3 心がつながる相互理解	29	3.5
4 共に生き未来を創る教育・文化	69	8.4
5 活力ある産業の振興	164	20.0
6 環境との共生	60	7.3
7 快適な都市機能	223	27.2
8 信頼される質の高い行政	42	5.1
9 その他（市政関連、アンケートに関する意見など）	71	8.7
合 計	819	100.0

■ 施策

施策の柱	施策	件数（件）
きる 暮らし いき いき として 安心で	1 健やかに暮らせる健康づくりの推進	5
	2 地域をリードする医療体制の確立	17
	3 共に歩む障がい者福祉の実現	6
	4 高齢社会に適応した高齢者福祉の充実	49
	5 暮らしを支える制度の充実と自立支援	4
	6 みんなで支える子育て支援の展開	39
	7 ふれあいが広がる地域福祉の実現	7
	小 計	127
ら し 安全 な暮	1 自然災害対策の推進	11
	2 火災に強い消防体制の構築	0
	3 市民生活を守る安全対策の充実	23
	小 計	34

施策の柱	施策	件数（件）
3 心がつなが る相互理解	1 元気な地域コミュニティ活動の推進	20
	2 人権を尊重する地域社会の形成	0
	3 多様な国際交流・地域間交流の推進	9
	4 快適な情報ネットワークの実現	0
	小 計	29
4 共に生き未来を 創る教育・文化	1 将来を担う次世代の育成	31
	2 いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築	8
	3 生涯にわたり楽しめるスポーツ・レクリエーションライフの実現	17
	4 豊かな心を育む芸術文化活動の支援	6
	5 歴史を受け継ぐ文化遺産の保護・活用	7
	小 計	69
5 活力ある産業の 振興	1 活力ある農林業の振興	6
	2 まちに活力を与える工業の振興	4
	3 多様で活発な商業・サービス業の振興	49
	4 地域資源をいかした観光・物産の振興	53
	5 安定した雇用の創出と良好な労働環境の促進	52
	小 計	164
6 共生環境との	1 生活環境の保全	17
	2 かけがえのない自然との共生	29
	3 地球環境への貢献	14
	小 計	60
7 快適な都市機能	1 適正な土地利用計画の推進	15
	2 魅力ある都市景観の形成	62
	3 快適な居住環境の実現	39
	4 うるおいのある公園・街路樹の確保	43
	5 いつでも信頼される上水道事業の推進	0
	6 健全な水環境・良好な水循環の創出	0
	7 にぎわいのある市街地の形成	12
	8 都市活動を支える交通環境の構築	52
	小 計	223
8 行政信頼される質の高い	1 健全な財政運営の実現	9
	2 計画的で効率的な行政運営の推進	6
	3 市民とともに作る行政の実現	23
	4 市民の負託に応える組織の構築・人材の育成	0
	5 より便利な行政サービスの構築	1
	6 自治の確立を目指す取組みの強化	3
	小 計	42
9 その他（市政関連、アンケートに関する意見など）		71
合 計		819

■ 施策の柱ごとの主な内容

個々の提案については、「施策ごとの内容（P54～）」に掲載しています。

1 いきいきとして安心できる暮らし

高齢者福祉や子育て支援に関する提案が多くありました。高齢者福祉については、高齢者が住みやすく、健康で元気な高齢者が活躍できるまちづくりをしてほしいなどの提案が、子育て支援については、子育てしやすい保育環境を整えてほしいなどの提案がありました。

2 安全な暮らし

自然災害及び交通安全への対策に関する提案が多くありました。自然災害の対策については、災害に強いまちづくり、体制づくりが必要であるなどの提案が、交通安全への対策については、通学路等の歩道を拡張し、子どもたちが安全に通学できるまちづくりを行ってほしいなどの提案がありました。

3 心がつながる相互理解

コミュニティ活動や地域間交流の活性化に関する提案が多くありました。コミュニティ活動については、コミュニティの活動がしやすく人とのつながりが持てるまちづくりをしてほしいなどの提案が、地域間交流の活性化については、人口増は望めない中で交流人口が増えるような取組に期待するなどの提案がありました。

4 共に生き未来を創る教育・文化

教育環境の充実や生涯スポーツの推進に関する提案が多くありました。教育環境の充実については、子どもたちが安心して才能や個性を發揮できる環境整備や教育関連予算の拡充を求める提案がありました。生涯スポーツの推進については、スポーツ施設の整備や指導者育成に力を入れてほしいなどの提案がありました。

5 活力ある産業の振興

商店街の活性化や企業誘致・雇用に関する提案が多くありました。商店街の活性化については、中心市街地の商店街が活力を維持できる環境を作り出していくべきなどの提案が、企業誘致・雇用については、製造業を中心とした産業の誘致に力を入れてほしい、若者が働ける場所を確保してほしいなどの提案がありました。

6 環境との共生

自然との共生や再生可能エネルギーに関する提案が多くありました。自然との共生については、自然とまちが共存しあう今の環境を維持してほしいなどの提案が、再生可能エネルギーについては、太陽光発電などの再生可能エネルギーを活用した地球にやさしいまちづくりしてほしいなどの提案がありました。

7 快適な都市機能

景観形成や交通環境の整備に関する提案が多くありました。景観形成については、盛岡らしいまち並みを残してほしいなどの提案が、交通環境の整備については、自転車専用道の整備を更に拡大してほしい、バスなどの公共交通の利便性の向上を図ってほしいなどの提案がありました。

8 信頼される質の高い行政

行政運営やまちづくりに関する提案が多くありました。行政運営については、将来の予測をしっかりとしてほしいなどの提案が、まちづくりについては、「盛岡ならではのまちづくり」を市民が協力し合い、様々な分野で発展したまちになってほしいなどの提案がありました。

9 その他

I L C誘致に目を向けるべき、盛岡弁や旧町名を残してほしいなど、様々な提案・意見がありました。

■ 施策ごとの内容

- ・現在の盛岡市総合計画の施策ごとにまとめて掲載しています。
- ・施策番号に対応する施策名については、P50, 51を参照してください。
- ・趣旨を変えない程度に要約したものもあります。
- ・同趣旨と思われ、割愛したものもあります。

●施策の柱 Ⅰ いきいきとして安心できる暮らし

施策	内容
1	健康で明るく元気に生活できるまちに。
	元気に一人で暮らしていける健康を保てるようなまちづくり，施策の展開（ウォーキングなど）。
	誰もが健康で安心して暮らせるまちづくり。例えば，医療生協といわて生協の共同による「ふれあいお茶っこ会」。
2	健康あつての快適な生活。それを支える医療体制の充実を図る。
	岩手医大が矢巾町に移転した後，岩手医大の分院として高度医療施設を残してほしい。
	病院の移転が相次ぎ，待ち時間が長く患者が困っています。力をいれてはどうでしょうか。
	医療体制の充実したまちに。盛岡市立病院の医師不足解消・市立病院に産婦人科がない市は考えられない。
	玉山エリアに小児科，公園がほしい。病院が「わざわざいくところ」ではなくもう少し身近にあると助かる。
	岩手医大，県立中央病院の混み方は患者には相当な負担。矢巾への移転は救急医療も含め，年老いていく私たちにとって相当不安です。
	医療設備が乏しすぎる。専門的病院がない。先進医療を盛岡の地に。
「人にやさしいまち」をコンセプトとしたまちづくり。市民をはじめ来訪者全ての人にやさしいまちであってほしい。ハードの充実としては，病院老健施設等の医療・福祉施設の充実，公共施設の内容の充実，道路の整備等。ソフトの充実としては，ハードを運営するための人材の確保・育成，市民意識の醸成（市民一人ひとりが「人にやさしいまちにするんだ」という意識の共有）。	
3	うつ病患者や精神疾患のある方たちが働ける場所がたくさんあると良い。
	老いも若いも障がいがあっても無くても自由に生活できるまちづくりを目指してほしい。
	障がい者にやさしいまち。障がい者が一人でも歩けるまち。
	ノーマライゼーションの成熟したまち。
	障がい者等の就労困難者も活躍できる機会や場所がもっとあると良い。
	体が不自由な方と同様に精神的な障がいを持つ人にもう少し理解がほしい。
4	老人施設のスタッフの質に不安を感じる。待遇面の考慮，健全な若者育成に力を注いでほしい。
	定期的に一人暮らし老人の見守りができる状況になること。
	高齢者が効率良く暮らせるまち（生活面）。
	老人が孤独死することの無い市政・福祉をお願いします。
	高齢者が多く，貧富の差が大きい。社会保障の充実を。平和な日本で老後も安心して暮らせるまちづくりが大切。税金を人の命と暮らしを守るために使ってほしい。

●施策の柱 Ⅰ いきいきとして安心できる暮らし

施策	内容
4	現在、介護保険で様々なサービスが受けられるが、実際の利用方法など分かりにくい部分が沢山ある。まして一人暮らしのお年寄りには分からない事だらけではないか。理解して皆が利用できる説明会が必要。
	高齢者の福祉や医療への依存度を軽減。生産性ある生活できるまちに。まちで行っている事業をできるだけ高齢者に委託，お小遣いなどまかなえるように。
	高齢化は避けられないので高齢者が安心して生活できるまちづくりや，それを売りに高齢者を集め，高齢者が税金を生むシステムを考える。様々な面で高齢者が貢献できたら素晴らしいと思う。
	老後に生き生き健やかに過ごせるまちになってほしい。幸福に第二の人生を送れる環境がハード，ソフトの両面で充実してほしい。
	定年退職等で職場を離れた人の多くはまだ体力，気力とも充実している。それらの人達に経験を活かした社会参加できる制度を作ってほしい。参加したくとも窓口が分からない人が大勢いるのではないだろうか。私も含めて。
	高齢者が安心して過ごせるまちづくりを希望します（金銭補助も含む）。
	高齢者にも働く場所があり，子育て中の若者たちと交流，触れ合う場が常にあること。
	子どもと年寄りが交流しながら自然に親しめるまちになってほしい。
	今の盛岡は安心して働けるシステムが不足している。少子高齢化が進む今こそ，子育てや介護を担っている世代が安心して働けるように環境を整えなければ理想のまちになる前に破綻すると思います。
	高齢者にやさしいまち（一人暮らしの老人への支援）。
	高齢者の方々には色々な事を楽しめる生活を送ってほしい。誰か特別な人が潤うのではなく，市民全体が気持ちに余裕が持てる毎日を楽しく送っていけるまちを目指してほしい。
	低所得者でも入れる老人ホームを作ってほしい。
	老人の一人暮らしが増えている。老人が集ってお茶飲みでもできるような場所があったらよいと思う。会話ができれば痴呆も減少すると思う。
	外観に力を入れているように思われるが，元来災害の少ないまちである。それを利用しながら老若男女が快適に過ごせるほっとするまちになるとよいと思う。
	高年齢層が幅広く働けること。税金の減。
	老若男女問わずにどの世代にも平等なまちづくりを行うことが「理想の盛岡」へ繋がると思う。さまざまな面での支援が私たちにとって生きがいとなり，長く住み続けたいと願う糧にもなると思う。その分，若い世代が社会や盛岡の人々に貢献できるよう努力したい。
	「優先席がないまち」。バスにお年寄りが乗ってきたら気軽にどうぞと声をかけ，席をゆずる人がいっぱいいるまち。皆で練習体験をできる機会があればいいと思う。このことを市民の多くが体験すれば，困っている人がいれば声をかける（保健福祉に通じる），道に迷っている人がいれば声をかける（観光ビジネスに通じる）など，とても素敵なまちになると思う。
	安心して老後を過ごせるまち。
	高齢者が楽しく遊べる場所づくり。
	幼老一環の施設がまちにできれば良い（老人にとっても子どもにとっても）。
少子高齢化が加速するので，高齢者が技能や体力に合わせ働き続けられるボランティアや仕事の拡大（賃金は安くても）を図る。	

●施策の柱 Ⅰ いきいきとして安心できる暮らし

施策	内容
4	一人暮らしの高齢者が安心して暮らせるようなまちであってほしいと思う。買い物等の代行や医療機関への車での送迎等を充実させてほしい。
	中心商店街の活性化。そこを取り囲むまちにも商業の流通があり，その中に老人ホームをつくる。
	まだまだ多くの有効地（農地等）があります。市及び民間企業が協力し，福祉施設をもっと多く建設していただきたい。
	子育て世代は仕事家事育児で時間とお金のやりくりが大変。時間と比較的お金に余裕がある60代が増加しているので地域や学校行事にシルバー世代を参加させる。シルバー世代にとっても活躍する場，貢献できる場が増えれば健康で長生きになり，福祉サービス費や医療費の削減に繋がると思う。そういった意識が一般的になれば良いと思います。
	心配事は病気等で自活が困難になった場合，老人ホームにスムーズに入れるかということ。安心できる施設の充実を希望します。
	高齢になっても元気なうちは働きたい人に仕事が提供できるまち。
	高齢者が低料金で気軽に参加できる歌や楽器，軽運動，朗読等を，市が企画して各地区公民館でやれば健康と楽しみの増強につながる。
	年寄りにも出来る農業（作物）などを推進して年寄りでも働ける場所があればいいと思います。
5	生活の格差のないまち。
	生活保護受給者等の就労困難者も活躍できる機会や場所がもっとあると良いと思う。
	弱い立場や困っている人の救いになる何かが充実するとよい。特に公務員の方にはそういう人を大切にしてほしい。
	生命を大事にする市政が忘れられていませんか。社会的弱者，高齢者が安心して暮らせるまちづくりを進めてください。市民が必要とするもの重要なものにお金をかけるよう，市民の生の声を吸い上げてほしい。
6	子どもと遊ぶ公園の整備。共働きの親が時間を有効に使える環境をたくさんつくる。
	老人や子どもたちが大事にされる都市になってほしい。市立の保育園をもっと増やしてほしい。結婚して子どもが生まれてからも安心して保育してもらえる施設を増やしてほしい。
	子育ての優遇制度等，表面に現れない努力が必要。
	公立の保育園がたくさんあり，待機なしで預けられる。妻が妊娠・出産・育児で働けない間は助成金で生活に困らない収入が確保できる。
	子どもたちが明るく楽しく遊べるまち。
	子どもを安心して育てられる環境づくり。
	東北の中でも行政サービス，地域活動が遅れている。市民間でのサークル活動での市からの支援の少なさに驚きました。子育てしやすいまちを是非押していただきたい。 次の世代を担う子どもたちがたくさんいるまち。

●施策の柱 Ⅰ いきいきとして安心できる暮らし

施策	内容
	<p>子どもや弱者にやさしいまち。</p> <p>若者が結婚して子どもを育てていけるようなまちづくりを国を巻き込んで進めていってほしい。盛岡市から発信を。</p> <p>希望の保育園にすぐ入れるように。</p> <p>子どもの病院の会計の度、医療費助成給付申請書を提出するのを忘れてしまい、市役所に提出するのがとても面倒。仙台市はとても楽で便利。盛岡に来てから子どもを連れての通院も電車移動も億劫で仕方ない。</p> <p>子どもと高齢者が住みやすい安心安全なまちづくりを最優先に。</p> <p>保育料の値下げ。延長保育の充実。</p> <p>子育て支援が手薄。お母さんが本当に望んでいる支援をお願いしたい。以前住んでいた市町村ではおもちゃ図書館、一時託児所（ボランティアの中高年が数時間預かってくれる）、支援センターが全て集まった建物があり、若いお母さん達の集まりやすい所を一箇所に作っていた。広報に様子が載っていて初めての人でも行ってみたいくなる場所だった。税金を還元しているのを目の当たりにすると若い納税者はうれしく思い、住みやすいと感じることに繋がると思った。</p> <p>待機児童が無くなり、女性も仕事や子育てに努力できる保育園等の施設の充実。受入枠を広げ住みやすいまちづくりができると良いなと思う。</p> <p>子どもの医療費助成金の期間延長（中3くらいまで）。</p> <p>母子家庭の支援を充実してほしい。</p>
6	<p>子どもたちの明るい声が続くように。生活環境がどの家庭にも平等にである盛岡市であってほしい。</p> <p>子育てを安心して行うためには、生活環境が整い、経済や商業流通が活発である必要がある。活発であれば若い世代が集まり、出会いや結婚の奨励にもつながり、少子化対策になる。そして人口も増加し、盛岡市近郊の活性にも繋がり、岩手県の中心都市になるのではないだろうか。</p> <p>10年後と言わずに今すぐにも子育てと仕事が両立できるように保育施設を増やしてほしい。女性が元気に働いて出産・子育てしても会社に戻れるようにしてほしい。どこかの県のように「待機児童0のまち」が今の理想。</p> <p>子育てしやすいまち。幼稚園と保育園が一体になった子どもを預かってくれて教育もしてくれるところが増えてほしい。</p> <p>雇用の場を増やし、共働きの親が安心して働けるように子育て支援の環境を整える。保育園増設や高齢者の社会参加等、地域に密接したあたたかいまち・支え合うまちであってほしいと願う。</p> <p>若い人が生き生きと働き、子どもの声があふれるまち。</p> <p>他県から移住してきて、親兄弟親戚のいない中で働きながらの子育ては大変でした。そのことが要因で仕事をやめる訳にはいかず、子どもは一人っ子です。「盛岡＝働くお母さんに優しいまち」になってほしいと切に願います。</p> <p>子どもの医療費を小学生くらいまで無料に。</p> <p>他の市町村には無い子育てや福祉に対する施策を立て、盛岡市内外どちらの人にも魅力的なまちづくりをしてほしい。</p>

●施策の柱 Ⅰ いきいきとして安心できる暮らし

施策	内容
7	少子高齢化が進んでいる。地域で福祉と医療の連携がうまくとれることが大事だと思う。
	地域住民がお互いに協力し合うまち。
	災害が起きた時、行政や地域が共に支え合っていけるまちづくりをしてほしい。
	温故知新のもと、地域の皆が安全で支え合って暮らせるまち。
	市民が協力し支え合えるまちに。

●施策の柱 II 安全な暮らし

施策	内容
1	<p>災害に強いまちづくりと早急に対策できる体制作りが必要（市役所を中心に）。</p> <p>災害時の対応（素早い報道と確実な情報，飲料水問題，他県と連携できる体制作り）。子どもや高齢者の安全な生活を守れるまち。</p> <p>9月の大雨で道路などを隅々まで点検する必要があると思う。</p> <p>東日本大震災の教訓からそれぞれの地域単位と各町内会ごとに防災計画を立て，それに沿った防災訓練を実施して，防災意識を高め，「災害に強い盛岡」を作っていくことを希望します。</p> <p>安心安全で人が優しいまちが理想の盛岡です。</p> <p>自然災害に対する対応のまずさが多すぎる。岩手の中心都市としての対応や発信をすべき。今後の盛岡を培う子どもたちに夢を与えること。</p>
2	
3	<p>4号線沿いの歩道が狭く凸凹が多い。交差点は十字路ではなく三叉路で道に入る際に車も大変な様です。住宅の周りは袋小路が多く，災害時に大型車が通れるか心配。</p> <p>事故・事件のない安全で楽しい町。若い人がいっぱい暮らせるまちになってほしい。</p> <p>今の盛岡は交通量が多い割に人や自転車が安心して通行できる道が少ない。安心して歩ける道路を，特に狭い道には歩道を整備してほしい。「狭いからできない」ではなく「狭いからこそ必要」だと思う。困難な場合は一方通行にする等，人と自動車と共存できるまちを作るべき。そのためには運転側に多少の犠牲を求めても良いと思う。</p> <p>道路や街灯の無い場所の整備。</p> <p>道路整備の充実。自動車・自転車・歩行者専用の道路の区別。子どもたちが安全に通学できるまちづくりを。</p> <p>道路は車であふれている現状。歩行者に道を譲ると意識の醸成とゆとりのあるルールの制定。他都市の模範となるようなまちになればと思う。</p> <p>歩く人にやさしい道。道幅を広くしてウォーキングやランニングができれば外を歩いてみようと思う。歩道は平らで歩きやすいのが第一。やさしい道作りをしてもらい，外をゆっくり楽しんで歩きたい。</p> <p>八幡通りがゆったり歩行できて参拝が年中可能な状態に（出店の拡大）。若者がいつでも行けるような安全な町に整えてほしい。</p> <p>車，自転車，歩行者が通りやすい道路にしてほしい。</p> <p>子どもと高齢者が住みやすい安心安全なまちづくりを最優先に。</p> <p>「安心安全・犯罪の少ないまち」日本一を目指す。</p> <p>治安の良さと道徳心の高さがあると良いと思う。</p> <p>交通面の改善，公共施設（特に小中学校）の通学路の安全確保などの「安全面」が強化されてほしい。</p> <p>高齢者が横断歩道を渡りきるのに余裕のあるまちであってほしい。若い人でも小走りしなければ渡りきれないのが現状です。</p> <p>道路を広げ，自動車・自転車・歩行者の全ての人が安全に通行できるように。かつ自動車や自転車のマナー向上ができるまちにならないでしょうか。</p>

●施策の柱 II 安全な暮らし

施策	内容
3	交通事故や犯罪が少なく，安全な暮らしのできるまち。子どもたちがのびのびと外で自由に遊ぶことのできるまち。
	車道と歩道を広げてほしい。
	防犯及び人的防犯の見直しが必要ではないか。
	居住区において交通事故が発生しやすい道路へのホームミラー設置，停止線の新設。国道・県道へ自転車専用通路の設置を希望します。
	「私の住んでいるところはきれいで治安が良いところだよ」と自慢して言えるようなまちになってほしい。

●施策の柱 III 心がつながる相互理解

施策	内容
1	<p>挨拶も活発な町内会があるまち。</p> <p>一人ひとりが自立できるコミュニティがあるまち。</p> <p>近所付き合いが活発なまち。</p> <p>文化活動やコミュニティ活動がしやすく、人とのつながりが持てるまちづくり。</p> <p>コミュニティ施設の充実。</p> <p>自然な形で地域とのコミュニケーションが取れるまち。</p> <p>区画整理後、区域を再度見直して新しい区域で地域のまとまりができるようにしてほしい。地域の体制がまとまっていけば良い。</p> <p>のんびりした中にも粘り強さがある人柄を大切にされた良好な人間関係が多く残るまちを残してほしい。</p> <p>全ての面で中途半端、平凡で埋没しそうな県庁所在地である。例えば各町内ごとに花を決め、家庭や街路に咲かせて「マリーゴールドロード」、「サルビアロード」等、華やかに彩るのはどうでしょうか。さらに中津川両側に綺麗で歩きやすい遊歩道を整備し、木陰にベンチを設置する。「喫茶店通り」、「かき氷通り」、「醤油だんごお茶餅通り」等。盛岡らしい食材も活かしてほしい。</p> <p>集合住宅が増えて地域活動が希薄化。町内会は年齢で区分されて行政にはフィットしているだろうが老若男女多種多様なニーズには非対応である。地域活動の方向性と行政の組織機能がうまくかみ合う仕組み作りに期待しています。</p> <p>訪れたいまちナンバーワンになることが目標。その上で定着人口を支える福祉や市民の自発的な活動の活性化が図られたら良い。</p> <p>地域住民が心にゆとりを持ちながら、地域活動へ参加できるようなまちづくり。</p> <p>「ゴーストタウン化」が進行しているが、新たな開発だけでなく、世代の異なる住民が触れ合いながら恒久的に住める工夫が必要。</p> <p>転勤者やその家族が地域に溶け込みやすい取り組み。子どもが安心して遊べる場所がある。</p> <p>学校だけでなく様々なところで老若男女活動できる場所づくり。困った時に助け合えるまち。</p> <p>地域活動が盛んなまちづくり。</p>
2	
3	<p>人と人との交流が盛んな思いやりにあふれたまち。</p> <p>トレンドが遅く若者向けのものが足りない。外国の方が来て住みやすい環境になればグローバルな岩手になるのでは。</p> <p>10年後の人口が心配。滝沢市への流出を懸念する。人口増加に繋がる工夫、施策展開を。</p> <p>人口増は望めない。交流人口増を期待する。</p> <p>地域交流・イベントでまちの活性化を。高齢化が一段と進む。一人暮らしや家を出たがらない人々が興味を持って他の人と交わる機会がたくさんあったら良いと思う。</p> <p>他県・市町村から転入したいと思わせるようなまちづくり。</p> <p>県外から人が集まってくるまち。</p>

●施策の柱 III 心がつながる相互理解

施策	内容
4	

●施策の柱 IV 共に生き未来を創る教育・文化

施策	内容
1	教育環境が充実したまち。若い人の育成。
	挨拶できる人間、いじめの無い教育現場，老人を労わる心，社会活動に参加奉仕，人間形成。幼児から学生までの教育の充実。
	大学や専門学校の誘致。
	教育委員会の役割が不明。児童の大部分が学習塾に通わなければ受験についていけない。塾の費用，学校行事による学習時間の問題，指導方法，教員のサラリーマン意識等，岩手の学習能力の低さをお互い責任転嫁していないか。
	学校の体育館の屋根が錆びている。
	秋田県の教育を学んで子どもたちの学力の向上に努めてほしい。また心の成長にも役立つものがあってほしい。
	I L C 誘致も現実的になった今，世界レベルの文化教養を誇るまちづくり・ひとづくり・人材育成が必要である。
	宮沢賢治や石川啄木の世界観を感じる街並み，空間づくり。
	盛岡は考えが少し古い。堅すぎる。盛岡の名前に入る有名なものを考えて伝えてほしい。外国人講師を増やし，英語の普及を。
	学術都市として世界に発信する独自性のある教育の創造（秋田県の国際大学のような）。
	教育環境も整って子どもから大人まで知性のあふれる礼儀正しい人達が増えているようなまちづくりを。
	すべてにおいて人間を養成できる仕組みづくり。
	ずばらしい先人を輩出した土壌を活かしたまちづくり。
	中学校給食導入。
	治安の良さと道徳心の高さがあると良いと思う。
	子どもの教育環境の充実を図ってほしい（学校の施設や人的な環境が他市町村に比べ，遅れている）。未来の人材教育のために，言葉の教室などの特別支援の体制，子どものカウンセリング，プールや校舎整備，教育にもっと予算をかけてほしい。
	今後の盛岡を培う子どもたちに夢を与えること。
	義務教育の充実，教育予算の拡充。
	盛岡独特の小中学校の教育システムを作り，学力の向上を目指すまち。
	子どもが少ない今，子どもをターゲットとする施設や場所を作るべき。学力は秋田を見習うべき。子どもの前にまず教師の育成，昔のように岩教組を恐れてはいけない。
	子どもたちが安心して自分の才能や個性を發揮できる環境を整える。行政・学校・地域・家庭が共通の視点を持ちつつそれぞれの立場から子どもたちを見守り支えていける場となしてほしい。行政や教育現場にもっと市民を活用しても良いのではないか。
子どもたちの学力向上を目指し教育に力を入れてほしい。学力やスポーツで有名になると他県からの子どもたちが集まり活気のあるまちになると思う。	
豊かな人材の育成，担い手の確保がとても大切。子どもたちのためには学力向上，そのための教育改革。また学力だけではなく人間として大切な道徳心を養うための教育も必要。まずは「人ありき」。学力向上と道徳心を養うための教育改革をお願いしたい。	

●施策の柱 IV 共に生き未来を創る教育・文化

施策	内容
1	<p>情操教育が行き届いた人情味あふれるまち。</p> <p>幼小中高大がバランスよく配置された教育。環境が整ったまち。</p> <p>秋田県のように子どもたちの学力が高い都市であってほしい。特徴ある教育，専門性に注力した個性ある学校づくりで魅力ある都市に。</p> <p>今だから復興に向け，子どもたちには色々な活動が必要。本の読み聞かせを伝えたい。読み聞かせが子育ての全てではないが，一つとして盛岡のまちづくりに繋げていきたい。次世代へのベースになれば。将来は夢の街・ファンタジーの街に。子どもたちに「夢」を。</p>
2	<p>老人が沢山集う高松の図書館はせめて今の三倍くらいに建て増ししてほしい。</p> <p>生涯活動を行う上でもっと活動の場所を作ってもらいたい。学校の土日開放，トレーニング設備を作り，高齢者が使いやすい場所を多くしてほしい。</p> <p>定年退職した途端に「老化ショック」とならないための生きがい作り（生涯学習，生涯スポーツ，ボランティア）の推進。</p> <p>市立図書館を含む市の文化，体育施設の立地の再検討が必要。</p> <p>人口に比して多くの作家を輩出してきた盛岡の風土を守るためにも，書店の保護や公立図書館の充実等，子どもから大人まで本に親しむことのできるような施策があればいいと思う。コンビニやスーパーマーケットと連動してコミック本より小説や実用書，ベストセラーを取り扱ってもらえることも考えられると思う。</p> <p>子どもの才能を引き出せるまち。興味があることを自ら進んで取り組むきっかけ，機会の充実。子ども科学館の展示イベントの充実。子ども向け美術館や職業体験など。</p> <p>「岩手大シニアカレッジ」の小型版「盛岡の町を知ろう学びましょう」などのものがあれば良い。市内外の人が学習する機会を設けるのも一つの案になると思う。まちづくり市民議会の委員の方々を中心に，長い年月に亘り開催される事を期待したいものです。盛岡のまちを知り，学んだ上に良いアイデアが浮かんできそうな気がします。</p>
3	<p>若い世代の見本となるようなスポーツが活発なまち。そのための環境が整っているまち。</p> <p>アイスアリーナを中心に大きい大会が開ける宿泊施設と体育館の建設。</p> <p>盛岡市立病院周辺に野球場やサッカー場があれば県外からの人も来るし，賑わう。</p> <p>子どもが雨天時に遊べる場所がほしい。自由に泳げるプールの建設。子どもたちが手軽に使えるスポーツ施設の整備。</p>
3	<p>もっと岩手の「スポーツ力」を発揮するためにも指導者にお金をつぎ込んでほしい。折角都会で学んできて，バイトしながらの指導であったりと生活がままならない。岩手国体のためだけではなく，今後の発展のためにスポーツ指導者に愛の手を。</p> <p>子どもの教育やスポーツが充実し，心身共にしっかりした子どもたちになってほしい。</p> <p>誰でも気軽にスポーツや文化活動に触れ合えるまち。</p> <p>小中高生が安心してスポーツに取り組める環境作りをしてほしい。勉学も教育だがスポーツも人間を成長させる上でかせない教育です。</p> <p>サイクリングロードが充実しているのでサイクリングを通じたコミュニケーションと観光と文化が盛んなまち。</p> <p>病気にかかりにくい体を作るスポーツ活動の充実しているまち。</p> <p>市営球場を新しくしてほしい。</p>

●施策の柱 IV 共に生き未来を創る教育・文化

施策	内容
3	プロスポーツをより支援することで県内外から集客できるようになってほしい。市民が熱中できるものが足りない。
	大規模な施設は不要だが、各スポーツ施設の充実に力を入れてほしい。
	スポーツの指導に当たる人の育成。信頼できる人に指導に当たってほしい。先生たちがぐったり疲れ、スポーツ指導者は指導以外に仕事をしなければならないのはどうかと思う。予算を使ってほしい。
	スポーツ施設の充実。岩手県にはドーム球場がない。貧弱すぎる。
4	文化活動やコミュニティ活動がしやすく、人とのつながりが持てるまちづくり。
	若い世代の見本となるような芸術関係が活発なまち。そのための環境が整っているまち。
	経済で他と競争するよりも文化と自然を活用するまちづくり。
	人材の育成に力を注いでほしい。小中高校での教育ではスポーツに力を入れている印象がありますが、科学や芸術活動、文学や政治等、様々な分野に興味を持って取り組めるような教育を望みます。
	美術館と博物館が遠く離れており公共の連絡が不便。歴史文化が息づくまちになれるよう交通網を充実してほしい。
盛岡は歴史の色づく美的感覚の素敵な場所。美術館や博物館をもう少し有意義に活用し、映像等を使って参加型にしてみてもどうか。とにかく見るだけでなく自分でも参加して楽しめるようにしてほしい。	
5	盛岡城は建設せず、今のままの美しい石垣を眺めていたい。
	岩手公園を中心に街並みを美しく整える。南部利祥公の銅像を台座だけにしておかない。
	城跡公園は貴重な資産。「食」や「伝統文化」をアピールする会場として更に活用すべき。
	志波城跡を軸とする盛岡市の歴史や文化遺産を発掘、顕彰するとともに、価値を理解し、継承する活動を推進していく。また、原敬をはじめとする先人の偉業に触れ、学ぶ事業を市関係団体や地域が一体的になって展開し、歴史・文化が息づく新しい盛岡市を国内外に発信していきたい。このような取り組みによって北東北の拠点都市として多くの人々が訪れるまちになっていくと思う。
	文化財保護の基本姿勢の確立。
	都会になっていくことを一概に悪いとは言えないが、盛岡の古くからのしきたり、伝統、文化は残していかなければならない。うまい具合に調和が取れて発展していくことを望みます。古さと新しさがうまく噛み合うまちづくり（歴史や伝統芸能の保存）。
	豊かな自然環境で歴史や伝統が引き継がれ、いつまでも安心して住み続けていたいまちであればいい。

●施策の柱 V 活力ある産業の振興

施策	内容
1	<p>空き店舗撲滅，第一次産業のPR。</p> <p>恵まれた四季の自然，豊かな水，新鮮な農産物等を全国に発信し，観光に力を入れる。</p> <p>観光客の休息，トイレのために（特に盛岡市内には大型バスで来る方の休憩場所がない），東北インターチェンジに通じる国道に道の駅を造る。盛岡市近郊の農産物の販売とその他県内の農産物の販売。市内外の観光案内紹介所。イベントを行い様々な都市との交流で活発なまちづくりができる。</p> <p>荒れた田畑や森林を市民の力（高齢者の力）を結集して美しい里山に。</p> <p>安全安心な食材と有効な土地利用，周辺自治体との更なる連携。</p> <p>若い人たちのカッコ良い農業を期待しています。</p>
2	<p>スタンフォード大学，シリコンバレーのような創造的社会，起業家が育つまちを目指してほしい。</p> <p>記念館や手作り村の交通の便が悪い。もっと人が多く行けるように配慮してほしい。</p> <p>伝統工芸品が飲食店で使用され，自然と生活の中にあるものになってほしい。</p> <p>若い世代が夢を持って地元で活躍したいと思えるような環境や制度の整ったまち。若者の就職や起業をサポートしてほしいです。</p>
3	<p>盛岡を知ってもらえるアピールポイントがほしい。盛岡にしかない商店など街全体が活性化する目玉の建物がほしい。</p> <p>これという産業も無いまちなので，生活環境を整えるなどして現在盛岡に住んでいる人が流出しないよう活性化させる。若い人達も大通に行くようなまちにする。</p> <p>人間として相互協力で達成する産業活動。数箇所に集中するまちづくりではなく，全体が充実できるまち。</p> <p>若者が元気で頑張れるように商業・経済の活発化に力を入れてほしい。</p> <p>県外の企業（東急ハンズ等）を大通に展開し，一緒に盛り上がっていければ若い人の交流スポットに。昼間も楽しめるまちになるはず。</p> <p>盛南開発により中心街はシャッター街に。ビルや駐車場だけが増え，人の流れが戻らず，高齢者ばかりがおいてけぼりになってしまった。必要な店舗も遠く，車を使えない者はどうしたらいいのでしょうか。</p> <p>大通りが活気づいている（いろんな世代の人が集まる）まち。</p> <p>中心部は特別な用件がないと行く機会が無い。仕事，金，遊ぶ場所が無い盛岡になっている。商業，経済で東北ナンバー1を目指して，地元で頑張る若者を応援していくことが今後盛岡の生き残る道だと思う。</p> <p>経済が活発でなければ何も守れない。</p> <p>中心部に居住しているならマイカーに頼らない生活環境を望む。現状は市中心部なのに日常生活用品の購入には郊外に行かなければならず，老後，都市部に居住するメリットが分からなくなってきている。</p> <p>中心市街地の活性化，にぎわいのあるまち。中心地の商店街は土日も人通りが少なく淋しく感じる（特に河南方面）。徒歩，自転車が出掛けられ楽しく買い物ができるまちであってほしい。</p> <p>中心部の活性化を。「買い物といえば大通」といわれるようなまちづくりを。盛岡城跡～盛岡駅までを城下町風にする。</p>

●施策の柱 V 活力ある産業の振興

施策	内容
3	独自の特色がアピールできるような違いのわかる商店街づくり。一箇所に集中しないようなまちづくり。
	シャッター街を利用して盛岡ならではの店を入れる。大通りがカラオケ，居酒屋ばかり。学生や若い人が集まって遊べるような店を増やす。大通りから活気あふれるまちづくり。
	大学・専門学校の卒業生が1割2割でも「残って暮らして生きたい」と定住したくなる店舗や施設の建設。中央通の空き物件の利用。
	特徴の無いまちづくりをするのではなく，盛岡ならではのまちづくりを市民が協力し合い，農・工・商が共に発展して欲しい。
	保健・福祉・医療・教育が充実した都市であるためには経済活動が活発であり続ける必要がある。2050年には人口減少が予想される。そのことから行政サービスを支えてゆくための地域の生産力が大いに低下することが避けられない。盛岡は都市としての生産力を発展させる政策を今から進めておかなければならない。
	大通全体は古いイメージ。清潔感が無い。バスセンターが汚い。
	「〇〇なまち」は強い経済活動があって初めて可能なものになると思う。地方や個人の自立のためにも質の高い（賃金の高い）雇用が提供できる，小粒であっても国際的な競争力を持つ企業があってほしい。
	複合商業施設の乱立によって個人経営の店舗等が年々減少してしまっている。それに伴い，盛岡の昔の街並みが失われているように感じる。両者が共存できる都市となることが理想的である。
	盛南開発が行われ，新しい住宅地や商業施設が整備されつつあり，活気に満ちているように思われるが，旧市街地は衰退している。財源難，人口縮小を直視し，これ以上の新規開発はやめ，旧市街地の再活性化，再開発を図るべき。
	盛南開発による郊外的大型店に車を運転する世代は集中し，中心市街地は車の運転が出来ない高齢者で賑わっている。街路の整備も徐々に進み街並も美しくなり散策して楽しむ環境が整ってきてうれしい。
	北東北三県の中心商業都市として観光産業とセットで将来像を描いていくべき。そうすると中心市街地も再生するのではないか。
	仙台「EDEN」のような施設建設，アウトレットモール，市道の拡幅と整備・既存施設の有効活用。
	商店街の営業時間を長くする。店の閉店が早い（特にファッション関係）。
	駅前，大通り，バスセンターをにぎやかに。昭和50年頃の大通りになってほしい。
	経済福祉全ての抜本的改革が必要。
大通り，肴町のショッピングモール，若者の娯楽施設（パチンコ以外）など。飲食店以外の施設で活性化してほしい。	
街中に活気が感じられなくなっている。現状都市としても観光地としても中途半端。中心地である大通り商店街を飲食店だけの通りから魅力ある販売店や独自の個性あふれるメインストリートに変革させていただきたい。	
コンパクトなまちづくりを指向し，中心市街地の商店街が活力を維持できる環境を作り出すべき。中心市街地の地価が低下すると固定資産税の税収減により市の財政に影響が生じると思われる。	

●施策の柱 V 活力ある産業の振興

施策	内容
3	中心商店街の活性化。そこを取り囲むまちにも商業の流通があり，その中に老人ホームをつくる。
	大通りを中心とした商業地域の再構築・観光客を誘致。お金を落とす人が増えれば人口も増える。
	郊外の大型ショッピングセンターと共存できる中心地に商店街があること。
	都市化しすぎないまちであってほしい。あまり有効とは思えない道路整備などにより，地域住民の昔からの商業エリアの生活や商売を壊さないでほしい。
	「商業流通，経済活動が活発なまち」実現のためには，人口の集中が望まれる。そのためには住みよい環境づくりとして「保健，福祉，医療が充実した地域で支え合うまち」，「生活環境が整った快適なまち」，「再生可能エネルギーを活用した地球に優しいまち」，「災害に強く，安全に安心して暮らせるまち」，「子育て支援が充実したまち」等が付随してくるだろう。
	公共交通の充実により中心市街地への自家用車乗り入れ禁止。
	人通りのある活気溢れる賑やかなまち。中心を流れる川なのに透明で秋には鮭が遡上してくる川。橋の上から眺める光景をずっと残していきたい。
	バス便の良い中心市街地に岩山遊園地，ミニディズニー等のイベント，買い物や学べる場の整備。
	仙台のようにアーケードを歩いているうちに目的地に着いてしまうような流れのある商店街がほしい。ウインドウショッピングができるような，時折立ち寄ることができる街があると良い。
経済が安定したまち。特に地元産業が商売しやすいまち。大通や肴町，駅前などを一体化したまちにしてほしい。岩手公園に城がほしい。	
4	さんさ踊り，わんこそば等，盛岡にしかないものを大切に。
	誰にでも（住民，観光客）やさしく安心して住めるまち。
	観光を盛んにし，経済を発展させた上でその他の政策を進めていただきたい。
	南部曲家風の商店街（角館），秘境浅岸駅までの周辺の観光路線の整備。
	一度盛岡を訪れて過ごしていただくこと。北東北の窓口としての盛岡の将来に期待。
	コンベンションセンターの機能充実，他の地方に無い特色を。
	他県に習い，盛岡城跡公園に築城して観光客を誘致，物産展を開く等，盛んなまちづくりを提案する。
	多様なメニュー展開のあるツアー。まず足を運んでもらい，次に貴重な体験をしてもらう。
	岩手のもの，盛岡のものを取り入れつつ，市民の楽しい活動が沢山あって，毎年恒例のイベントが開催されるような街であってほしい。大人が自分の好きなことを自由にマニアックに楽しんでいると良いなと思う。まじめで保守的で。だけどこっそり素敵なものを抱えているのが盛岡だと思います。
雫石川岸遊歩道は観光資源になると思う。	
10年後高齢化は進むが今以上の活気ある盛岡に。観光地をもっと全国にPRしてたくさんの方が訪れるように。	

●施策の柱 V 活力ある産業の振興

施策	内容
4	盛南開発は成果を上げたので次は盛岡以北の開発，交通網の整備を図るべき。小本街道の整備。観光路線ができて，盛岡が物流観光の拠点になり得る。
	盛岡の三川（雫石川・中津川・北上川）をPRし，観光の集客の目玉にしていただきたい。
	盛岡の自然と歴史に魅せられて観光客が沢山訪れ，地元の方と気軽に話の出来るまちになればと思う。他県では退職した方がボランティアでまちの観光と歴史について説明しているところがある。盛岡もそうなれば良いと思う。
	歴史的建造物をもっと活かした街並みづくり，観光客の誘致を図る。一般家屋や商店の紹介MAPをHPにあげ，看板や地図を表示する事でブームになりかけている昭和マニアを呼び込める。
	橋毎の欄干に南部鉄瓶や木材を利用。岩山展望台の整備，観光客をもてなす。
	サイクリングロードが充実しているのでサイクリングを通じたコミュニケーションと観光と文化が盛んなまち。
	北上川を利用し，観光船で街並みをみるようなまちづくり。
	大きな工場や会社を誘致する事も必須だが県外国外の観光客を呼び，お金を落とさせていただく（外貨を稼ぐ）必要がある。幸い岩手は観光地が多いので中心として盛岡を考え，交通網やグルメなど組合わせて考えていく必要がある
	観光スポットを整備し，まちを活性化させる。
	玉山方面もトイレ整備をして海外のお客様にも通用する観光地の整備をお願いします。
	沢山の観光客が気軽に訪れるまち。盛岡在住の私たちが沢山の場所に足を運ぶこと。イベントは行われているがTVで観て知る事が多い。事前情報がもっとほしい。
	市内を流れる川を利用した新しい産業。例えば子どもたちの川遊び場所（自然観察）や船を利用した遊覧レストランカフェ，ボート場や浮島・観光客用の自転車設置。
	観光地，名所はあるがそれに付随したもの（店，体験できる所）がないのでリピーターに繋がらない。名所だけでは一度でおしまいです。またその場所に行こうと思う名所が少ないと他県の人に言われました。ワクワクするときめきがない。
	県内外，特に遠方からの観光客に祭りに参加してもらいたい。
	盛岡（岩手）のPRとして，さんさ踊りを夏だけでなく，駅前やイベント会場等で日時を限定して一年を通じて行ってはどうか。太鼓の音を聞くと市民の元気が出ると思う。
	開運橋の両岸に柳をたくさん植樹する。観光客の旅心を満足させる。
	「食」の充実。沢山の地産品をブランド化。新旧どちらも大切に大事な文化なので共生できるようなプランが必要。
	商業活動を活発にし，流通・観光のまちとしても息づくまちづくりを目指してほしい。
	伝統的な祭りを絶やさないでほしい。盛岡さんさ踊りは各地域で町内会ごとにやっていた。小さい頃は太鼓の音を聞くとぞくぞくしたものです。ずっと続けていって盛り上げてほしい。
	駅から八幡宮まで徒歩30分ほどで収まるコンパクトな街並みは観光にはうってつけ。冬が長い地方都市なので冬の街中のイベントがもう少し盛んでも良い。観光PRも冬期間の楽しさに特化し，「小岩井の雪像だけじゃないぞ」とお遊び要素があると住民一丸で応援できます。

●施策の柱 V 活力ある産業の振興

施策	内容
4	<p>「盛岡市にはこれがある」「これがお勧め」だと自信を持って市内外の人に言うことのできる観光の目玉となるものが必要。</p>
	<p>盛岡市は文化的資源が多いが活かし切れていない。この街にきたらまるごと楽しめると思わせるものがほしい。例) 通り毎にテーマ付けする(材木町は伝統物産に出会える通り, 大通りは集いの通り(若者), 肴町は大正ロマンの通り)。レトロな喫茶店が多いので喫茶店巡りツアーや遡上する鮭を見るツアー等, いいところをもっとアピールしたい。市内に分かりやすい看板を設置する。</p>
	<p>自然環境や文化・歴史を生かし, 郷土愛を育むようにしたい。不來方城を復元して岩手山眺望を観光客にも楽しめるようにする。盛岡では声を掛けても反応が少ない。表の明るい対応や表情に配慮が欠けているので観光面でも危惧する。例として, ある高齢者利用施設では受付で詰問調に対応される。一度や二度ではない。市民カード無効の所も多い。疑問に思う。他所でも「おもてなし無し」の無神経が目立つ。関係者は猛省してほしい。</p>
	<p>お祭りや行事が多すぎる。力やお金が分散されると聞くので充実するよう援助してほしい。</p>
	<p>盛岡山車に力を入れてほしい。市民の目は冷ややかで市民と参加者の温度差は年々広がり, このままでは消えてしまう。花巻祭りのように市民から理解を得られるように改善が必要。各組の運行を分かるようにし, 交通渋滞を緩和させてほしい。山車がこないのに寄付ばかりくると思われている。さんさ踊りのように盛り上げてほしい。</p>
	<p>盛岡といえば城下町。川と橋, そして岩手山の景色を今まで以上に市民が誇りに思えるようなアート型のイベントがあればよい。子どもたちや若い方々も個性を尊重される美術やものづくりから入ることができれば住んでいるまちに愛着が湧くのでは。イベントで活性化につながれば面白いまちになると思う。</p>
5	<p>働く場の多い盛岡にすること。そのための企業誘致, 起業家の育成に具体的に取り組む。</p>
	<p>お金が澁みなく回転, 流通するまち。</p>
	<p>建設業があるまちであってほしい。</p>
	<p>最近地元商店が減少し, 他県からの大型店が増加してきている。何とか地元企業や商店が元気になって若者の雇用機会を作ってもらいたい。購買力を高めることでまちの活性化に繋がってほしい。</p>
	<p>若い人が働きやすい, 離れるのが嫌になるくらいの充実した環境。</p>
	<p>盛南開発により市中心部が衰退していくのは確実なので, 若者の流出を防ぐため, 中心部に働く場所を作ることが大事。商業の振興, 企業誘致などが必要。</p>
	<p>地場産業の育成。若者が安心して働けるまち。若者たちの正社員への道づくり。</p>
	<p>松園地区は玉山地区を含め周辺に工場の誘致を進め, 人口増を図る必要がある。</p>
	<p>就職率を高めるため, 企業の発展を願う。</p>
	<p>若者が定着できる企業誘致, 育成。玉山地区に大規模な工業団地を造成し, 誘致する。</p>
<p>雇用が多く失業率が低いまち。正規雇用求人が増えるように。</p>	
<p>市民が元気で働き, 活動できるまちづくりが必要。それには経済面はもちろんだが一人ひとりの人間が優しい気持ちになれる人間作り(しつけや社会の当たり前の事柄)も大事だと思う。今大切な事は働きたい人に働きたい場所(自分にあった場所)がきちんとあるということ。経済的に豊かにならないと人も豊かになれない。</p>	

●施策の柱 V 活力ある産業の振興

施策	内容
5	若者が流出しないまち。例え流出したとしてもやがて戻ってくるような愛され続けるまち。仕事があるかどうか、刺激あるまちを作らないといけない。お金が回ればその他は自然についてくる。
	現在青少年の職が無く市民が苦しんでいる。雇用の問題を重視してほしい。
	仕事が無い人が無く、皆が仕事し、納税していくようなまちづくりをしてほしい。
	若者の都市への集中を防止するための対策がなされているまち（優れた人材の確保、魅力あるまちづくり）。
	若い人に契約社員や臨時社員、パートアルバイトなどの不安定な仕事は無くしてほしい。結婚しても安心して子育てが可能な将来も安心な世の中に。切に願います。
	中小企業で女性が長期働くことができる環境を整えてほしい。
	今の盛岡は安心して働けるシステムが不足している。少子高齢化が進む今こそ子育てや介護を担っている世代が安心して働けるように環境を整えなければ理想のまちになる前に破綻すると思います。
	若者が働けるまちを目指してほしい。しっかり働き、収入があれば結婚・子育てなどの先を考える余裕が持てるはず。
	若者が県外に仕事を求め、出ていってしまっている状況。経済活動が活発なまちなら若い人が安心して働き、その子どももこの土地に愛着が芽生える。年配者との調和も取れたまちになると思う。
	脱工業化社会における余暇、労働の推進。
	働く場所があり、物価が安く、安心安全で人が優しいまちが理想の盛岡です。
	企業誘致などで工場が増え、若者が働く場所を確保でき、保育料が安く、子育てしながら安心して働けるまち。
	後継者を作り、若者達の働く場所がほしい。若者の老後はどうなるのか不安になります。
	生活を安定させるために様々な雇用体制を取り入れる。
	若者が正社員として働けるような雇用（保障重視）。
	大きな経済活動が減少している。現状打破のためにも工場等の企業誘致が急務。盛岡インター周辺の企業、工業団地の造成による税収増、人数増による商業活動のアップ等が期待できる。
	若者に労働の場が与えられ、盛岡で育ち、盛岡で安心して暮らせる都市づくりを行ってほしい。仕事があり、雰囲気が明るい（特に若い世代）まちに。
パート・アルバイトの仕事を増やしてほしい。	
製造業を中心とした産業の誘致に力を入れ、市民の収入向上に努めてほしい。それによって永住者が増加し税収も上がり、豊かな都市を目指す。	

●施策の柱 VI 環境との共生

施策	内容
1	ゴミ置き場の整備（小屋等の設置）。
	ゴミが落ちていない街並みづくり。
	市内全てポイ捨て禁止。全国一の「きれいなまち」をキャッチフレーズにして全国に発信。青少年の教育にも効果大だと思う。
	生活ゴミの収集日，分別の市民遵守が徹底されたまちづくり。
	アパートメーカーが整地して作る住居などにゴミ集積所の設置を義務付けする。
	公的な市民霊園の構想，検討。例えば自然墓地公園など，死後の安らかさを望む。
	ゴミのリサイクル率の向上。街中でゴミを見かけない美しいまちづくり。
	空き地，道路脇や草むらのゴミの撤去。市民全員でもっと高い意識を持ち，綺麗な盛岡市作りに徹する。
	新築ラッシュにより新しい住民が増えてきたが，個人情報等により氏名が分からないため，町内会名簿も作成できない。ゴミ集積場は使用するが清掃には参加しない。町内会行事も同様。そこで提案だが，不動産屋が管理する集合住宅には世帯数を問わず，必ずゴミ集積場を設け管理する。不動産屋が責任をもってごみ収集会社と契約し，処理するよう条例を制定することを提案する。
	野焼きの禁止を通しての環境づくり。
	同じ盛岡市でもゴミの出し方が違う。妊婦のときはとても大変な思いをした。この生ごみの出し方が苦痛で盛岡市を離れた方もいる。同じ税金を支払っているのに市全体で同じルールでないとなんて思えない。住みよいまちを目指して改善してほしい。
	2
空気が澄んでいるまち。	
緑が多く景観も豊かなまち。木々も大事に管理してほしい。	
歴史・文化が息づき，自然に包まれて暮らし，若者が夢を実現できるような都市づくりを考える。	
自然が豊かなので皆がホッとする雰囲気のあるまちであってほしい。温故知新のもと，皆が安全で支え合って暮らせるまち。	
経済で他と競争するよりも文化と自然を活用するまちづくり。	
恵まれた四季の自然，豊かな水，新鮮な農産物等を全国に発信し観光に力を入れる。	
自然環境の保全とその為の環境教育が充実しているまち。	
岩手山がどこからでも見られる。鮭が遡上するきれいな川。これからもずっと守っていかたいと思う。	

●施策の柱 VI 環境との共生

施策	内容
2	自然とまちが共存しあう今の環境を維持する。
	山，川，自然をPRする。
	多くの人々にその良さをアピールするには近い将来のよき展望の提示が必要。いわゆる都会化を目指すことも大事だが，自然をどのように残していくかも大事。
	県庁所在地でありながら中津川のような自然な場所が10年後も残ってほしい。自然豊かな中津川が市の中心にあるのは財産だと思う。そんな風景が10年後も残っていてほしい。
	自然を大切にしたい活気あるまち。
	盛岡は自然環境がとても良い。それを第一に考え盛岡のまちづくりをしてほしい。現代は人々の心が休まることなくいろいろな開発が次から次へと行われ，利便性だけにとらわれすぎていると思う。
	岩手の中でも中心地に位置しているので都会感と自然感があるまちになってほしい。
	盛岡は水もきれいで住みやすい。この自然環境のよさが永遠に続けば良い。
	自然との調和を大切にしたいまちづくり。
	中心を流れる川なのに透明で秋には鮭が遡上してくる川。橋の上から眺める光景をずっと残していきたい。
自然があり子どもや高齢者の方々が住みやすいまちづくりをしてほしい。盛岡は四季が感じられて良いまちと言われることが多いので，その中で住みやすい環境づくりをしてほしいです。	
豊かな自然環境で歴史や伝統が引き継がれいつまでも安心して住み続けていたいまちであればいい。	
緑ある遊歩道があって歩きたくなるまちになってほしい。河川敷の有効活用を考えてほしい。	
都会の人が「盛岡に感動」すること。街中にごみがない，中津川にて底が見える，せせらぎの音，鮭，白鳥等の野鳥，街中に緑が多い，岩手山等の山，親切な人柄…これらは，実際に耳にしたことです。地元の人間にとっては当たり前にあるもの，大切な場所が宝物だということ，いつまでも「素敵な田舎」であり続けるのが理想です。経済の発展と両立できたら最高です。	
3	盛岡，岩手は広大な土地がある。再生エネルギーの模範となる都市に。
	再生可能エネルギーの普及。再生可能な循環型社会を目指してほしい。
	豊かな川を利用した小中発電設備の整備。
	盛南開発反対。使われずに放置された街中の建物は放っておいて手付かずの山を切り出し始める。どんどん「壊す方向」にばかり向かっている。便利になればなるほど環境は悪化していく。もっと大きな視点で地球環境全体を考えて決めてほしい。今ある中でまちを整備してほしい。
	3.11以来子どもの将来について考える。娘に「盛岡に住み続けたい」と思うまちであってほしいと思う。ただ自然災害には敵わないので放射線量はどうしても気になる。確かな情報と対策が知りたい。
コンクリートジャングルになるのは嫌。昔のように自然と共存しながら生活し，四季折々を感じるまちづくり。それが「再生可能エネルギーを活用した地球にやさしいまち」，「災害に強く，安全に安心して暮らせるまち」にはまるのでは。	

●施策の柱 VI 環境との共生

施策	内容
3	電気自動車保有率日本一の環境にやさしいまち。
	公害を減らすため、電気自動車の普及を希望します。
	太陽光エネルギーなどを活用してはどうか（10年後）。太陽光で明るいまちに。
	盛岡は晴れの日が多いので太陽光発電や風力、水力発電と小型の発電ができる環境にあると思われる。小型発電を活用したまちづくりをしてほしいと思う。
	温泉が多いので地熱エネルギーで24時間多くの発電ができるように環境を整え、海外からも注目される最新地熱発電テクノロジーで安全に暮らせる日本全国のお手本になるような都市となってほしい。衣食住の環境が良いと雪国でも生涯住みたいと思える最高のまちになると思う。
	工場や発熱廃熱による地域暖房，地中熱活用による使用エネルギー量の削減を行うまち。

●施策の柱 VII 快適な都市機能

施策	内容
1	人口減少を考え、まちをコンパクトに設計しなおす。
	自宅周辺にはスーパーやコンビニが乱立。一部の地域に集中せず、調和がとれてほしい。
	盛岡駅から杜の大橋に向かい、トンネルを抜けて目の前にパチンコ屋が広がるのはガッカリ。市で規制してほしい。
	(大きな映画館の進出を市長が拒否した様に) 大型店進出を拒否する考え方は若い人には魅力が少ない都市にうつる。商工会は何でも反対するが、人が集まれば小売店に訪れる人も増加すると思う。また、盛岡駅西口に百貨店等の集客施設がほしい。
	盛岡は都会と田舎が混在しているコンパクトシティの模範。ただ郊外はどこにでもある風景に変化していつている。もっと私たち市民の意見を聞くべき。行政が小難しいことを言っているがまちを形成するのは私たち市民だ。小さな声をもっと掬い上げてほしい。これからの盛岡は老後は活き活き健やかに過ごせるまちになってほしい。幸福に第二の人生を送れる環境がハード、ソフトの両面で充実してほしい。
	北海道伊達町のようなコンパクトシティ。盛岡中心・バスセンター・駅周辺に医療施設をまとめる。
	コンパクトシティなど機能や施設を集約させてもよいと思う。
	盛南開発の一方、中心市街地や北部は取り残されている。人口がこれから増加することはないと思うので、これ以上広げる必要はないと思う。コンパクトに、もともとの街や住宅地を活性化させる方向の取組みもしてほしい。
	これからの人口減少時代を考えると、これ以上市街地の拡大をすべきではない。医療費、福祉予算の増加が見込まれる中、道路や上下水道のインフラの維持にかかる予算を抑制していかないと自治体の財政が持たなくなるのは明白。
	有効な土地利用の推進。
若者が住みやすいまち。都市の人気百貨店の進出、コンパクトシティ、テレビの深夜放送の充実、交通網の充実。	
中心市街地を活性化し、郊外は緑豊かなコンパクトシティが理想です。市街地で気になるのは空き家です。本町にも空き家が多数あり、景観や防犯上問題だと思います。行政でなんとかできないでしょうか。	
マンション建設を市街地にこれ以上許可してはならない。コミュニティが集中する拠点づくり(医大跡地)。	
2	市民としては「盛岡に来るとホッとする」と思ってもらえるような街並み、景観、おもてなしの心にあふれるまち。
	昔のものを大事に。歴史的な建造物だけでなく、昔から愛されてきた盛岡らしい建物、大樹、中津川河畔の忘れな草やかきつばたの群落。一度失われたら戻りません。
	北上川・岩手山等の景観を壊さない色の調和(ビルの概観の色、建物の色の規制)。
	盛岡市は金沢や奈良に並び建造物や寺院が多い。そういうことをPRしていくべき。映画館通りは全国的に見てもかなり珍しい。
	古い建築物の補修費を増やしてほしい。市はもっと建物に責任を。
生活圏の中に自然が共存し、歴史的建造物も多く、一度訪れた方が再び訪れたいまちづくり。	

●施策の柱 VII 快適な都市機能

施策	内容
2	歴史に根ざした落ち着いたある「まちに在るだけで癒される盛岡」にしてほしい。決して進歩を否定するのではなく進歩と歴史がしっかり調和し、歴史を発信できる「大人のまち」にしてほしい。
	盛岡城跡～盛岡駅までを城下町風にする。
	商業施設（岩手医大を含む）の郊外への新築移転に伴い、空洞化がより進む。古い街並みを整える。
	紺屋町，鉦屋町等，昔からあるまちを大切に。若い人も興味を持っている。
	高層マンションが景観を考えずに建っていくように思われる。
	電柱を地中に埋める。建物の看板・広告の規制。
	歴史的建造物をもっと活かした街並みづくり，観光客の誘致を図る。一般家屋や商店の紹介MAPとHPにあげ，看板や地図を表示する事でブームになりかけている昭和マニアを呼び込める。
	盛岡駅周辺のビルの高さを決める。街並みの調和とは？大清水多賀を壊すのを黙ってみている盛岡市。古木も簡単に切りすぎているので市民の意見も聞いてほしい。
	都会の人が住んでみたいと思うまち。程よく都会で文化的。程よい田舎。シャッター街がない。世代が調和したまち。スイスの地方都市に負けないようなまち。
	今以上に緑が増えて，歴史的建造物がまとまって保存された美しい街並み。そのようなものがあれば観光客へのアピールになるのでは。
	美しいまちを残し，活気ある盛岡をつくってください。
	今ある盛岡の街並みをできるだけそのまま残していくこと。市民の生活と共にそのまま維持していけば自ずと観光客も集まってくる。
	大清水多賀のように毎回残すべきものがどこにでもある景観（マンションやショッピングセンター）に簡単に変わっていくことに違和感を感じる。
	お店が郊外化し，老人たちは余談もできない。何かしら遠慮することが多くなっています。昔の街並みが再び戻ってくることを願っている。
	しっとり落ち着いた盛岡らしい街並みが残るまち。
	これ以上のマンションは不要。盛岡のどこからも岩手山が見える，そんなまちが良い。グローバルスタンダードではなく，「盛岡スタンダード」で。
	駅周辺からマンションが林立。城下町の風情が希薄に。私の住まいも都市化が進み風景が一変してしまった。生活上は大変便利になったが，心の潤いが感じられない。子どもと年寄りが交流しながら自然に親しめるまちになってほしい。
	急坂地造成の団地の過疎化と市街地の高層マンションの林立がみられる。過疎団地の住居環境の改善と景観を保全する市街地造成の両立が望まれる。岩手公園から青い建物が邪魔をして名峰岩手山が眺められない。
街中を流れる美しい川の景観を生かしたまちづくり。雄大な岩手山や周囲の山並みが見える川と山との調和を大切にしていきたい。	
簡単に古い建物を壊したり，道路を作るために木を切るのではなく，利用するアイデアもあると思う。整然とした街並みよりほっとするまちになると良い。大型店より対話の出来る店ができると良い。	

●施策の柱 VII 快適な都市機能

施策	内容
2	医大の移転により住居や人の流れも気になります。城下町はドーナツ化現象が起こるので、盛岡の古きよきもの（大清水多賀の売却等）が失われていく現実がとても悲しい。
	極端な経済都市ではなくて良い。「温故知新」の精神で京都市のようなまちづくりを。
	複合商業施設の乱立によって個人経営の店舗等が年々減少してしまっている。それに伴い、盛岡の昔の街並みが失われているように感じる。両者が共存できる都市となることが理想的である。
	盛岡は老後に住みたいまちと他県の人と言う。古きよき街並みに新しいものを取り入れてほしい。
	最近の盛岡は高層マンションが建ち、自然豊かで静かな歴史を感じるまちという雰囲気が失われてきている。どこにでもあるような街と同じでは盛岡の価値がない。これ以上高い建物が作られないよう、条例を作るべき。
	本町を八幡や神子田のような趣ある通りへ。
	古い街並みや歴史を大切にしながら、新しいものを積極的に取り入れた住みやすいまちにしていきたい。
	古く格調ある建物には愛着がある。残せるものは存続していったほしいと思う。
	盛岡市は文化的資源が多いが活かし切れていない。この街にきたらまるごと楽しめると思わせるものがほしい。例) 通り毎にテーマ付けする（材木町は伝統物産に出会える通り、大通りは集いの通り（若者）、肴町は大正ロマンの通り）。レトロな喫茶店が多いので喫茶店巡りツアーや遡上する鮭を見るツアー等、いいところをもっとアピールしたい。市内に分かりやすい看板を設置する。
	盛岡は高いビルが少なく、景観がとても良いことが一番の長所。これから産業が発展していてもそこは変わらないでほしい。
	都市化しすぎない街であってほしい。あまり有効とは思えない道路整備などにより地域住民や昔からの商業エリアの生活や商売を壊さないでほしい。城下町の風景は今のまがが一番すばらしい。中途半端に都会化するのは観光客等にとってもまったく魅力ないものになってしまう。
	歴史あるものが街から消えていくのがもったいない。取り返しが見つからない。近代的建物は飽きる。
	地域の景観歴史に沿った建造物の保護等によりまちの魅力を高めるまち。
	景観はすばらしいが高層マンションが乱立している。だが規制を掛けられない。道路にしても街並みにしても美意識が欠如している。
	盛岡市は目玉となるポイントが少ないように思われる。「大清水多賀」の取り壊しは非常に残念。公共で保存し景観の一部として公開の対象にできなかったのか。市営駐車場の料金が安い。市街地離れのひとつの原因では。
	橋から眺める景色を守ってください。
盛南開発で昔のまち（本町・肴町・清水町等）が消えてしまいそうです。	
盛岡といえば城下町。川と橋、そして岩手山の景色を今まで以上に市民が誇りに思えるようなアート型のイベントがあればよい。子どもたちや若い方々も個性を尊重される美術やものづくりから入ることができれば住んでいるまちに愛着が湧くのでは。イベントで活性化につながれば面白いまちになると思う。	

●施策の柱 VII 快適な都市機能

施策	内容
3	雪に強いまちになる。市民税を払っている身としては雪対策に税金を使ってほしい。設備投資のためなら追加徴収があっても良いと思うほど。目に見えるように税金を使ってほしい。
	公共交通機関の充実や除雪をしっかりして景観が冬でもよいまちに。
	盛岡駅を中心とした住み良い環境づくりと中途半端な道路づくりの解消。
	除雪は地域での支え合いも大切だが、80歳以上の為に私道でも除雪できるよう、市が協力してほしい。
	冬期に税金を注いでほしい。街並みの花壇ではなく、側溝に雪を廃棄できる仕組みなどを作ってほしい。除雪する人の技術向上。
	冬季道路の除雪対策が充実したまちづくり。
	道路幅の拡張よりも冬場を考えた道路を作ってほしい（4号線の愛宕下平安閣前が特に狭い、市長に歩いて体験してほしい）。
	市内の道路整備を早急に。舗装状況が悪すぎる。他県からの観光客からの評判が悪い。特に旧市街地。市民として恥ずかしい。
	道路環境の整備、本宮地区は整備されつつも他の地域について疑問に思うところもある。青森市や秋田市のような道路幅がほしい。実現していただきたい。
	道路を一方通行にし、その分駐車スペースを増加させる。
	除雪が雑。車道もでこぼこです。何より車道を除雪した雪が歩道を塞ぎ、歩くのに大変苦労する。雫石等は大変綺麗に除雪されている。高く感じる住民税を毎月支払っているのだから本宮等新しく開拓された地区より中心部の道路環境の整備に力を入れてほしい。
	道路がガタガタすぎて辛い。除雪が手ぬるい。
	毎年冬は雪が降るのが当たり前なのになぜか除雪の仕方が住民に全く優しくない。歩きにくい道、玄関先の盛り上がった雪、轍のある道。日々の生活が快適であることが重要である。もっと基本的なことにも目を向けてほしい。
	盛岡の冬は寒く歩道も凍って歩きにくい。横断歩道などはお年寄りが転倒しないかハラハラする。
	除雪車が来ないこともあり大変困っている。大きな道路の除雪方法も悪い。
	4号線沿いの歩道が狭く凸凹が多い。交差点は十字路ではなく三叉路で道に入る際に車も大変な様です。住宅の周りは袋小路が多く、災害時に大型車が通れるか心配。
	旧盛岡競馬場跡地内の市道の日も早い開通をお願いします。20年以上も前から待っている。健康のためにも歩きたいと願っており、上田堤の住民には切実なものと思われる。
	9月の大雨で道路などを隅々まで点検する必要があると思う。
	本宮地区にパチンコ店の出店はやめてほしい。風紀が悪くなる。
	高齢者は体力が無いので早目の除雪をお願いしたい。
	道路が穴だらけ。高齢者やヒールを履いた方などが歩きやすい道路になればいいと思う。除雪作業ももう少し早く取り組み、事故が無いようにしてほしい。
舗装道路がとにかくガタガタ。10年後にはきれいになってほしい。	
冬の道路環境が弱いので冬の凍結を考えた道路づくりを。	

●施策の柱 VII 快適な都市機能

施策	内容
3	道路の整備。特に歩道を広げ平坦にする。高齢者が楽に歩ける道路づくり。歩くことにより健康維持に繋がる。
	除雪が駄目、雪を取り除いた後の雪捨て場が近くにない。地域住民街，商店街，官公庁関係庁舎に面した歩道車道等を除雪する時間を決め，地域ボランティア活動として奨励し，指導に時間をかけ，盛岡を美しく安全な良いまちとして習慣付けられたら良いと思っている。
	市街地の道路，建物の老朽化が目立つ。でんでんむしが通る近辺の舗装や段差を整備してほしい。
	盛岡は除雪が下手。でこぼこで皆さんが転んで怪我をしています。青森を見習ってほしい。
	盛岡は除雪が下手。現状ただ横に寄せている。車の通りやすい除雪をお願いします（盛岡は細道が多いので特に細道の除雪を）。また，雪捨て場が色々な場所にあると助かります。
	除雪は大きな道路だけではなく，坂がある住宅地，学校の通学路等の道路もお願いしたい。高齢者の雪かきが大変。除雪の予算を増やしてしっかり行ってほしい（設備投資ができるように）。
	除雪を助けてほしい。一度苦情を入れたところ，次からもっと酷くなった。同じ地域でも家によって差があり納得いかない。身近なことが解決してこそ住みよいまちになるのではないか。
	道路の名称について，市民，観光客ともに共有できる「通り名」を積極的に表示してほしい。 住まいに対しての補助（住宅購入の際の補助）。
4	緑化の推進。
	子どもと遊ぶ公園の整備。共働きの親が時間を有効に使える環境をたくさんつくる。
	青森市のねぶた祭り道路以上の道（ブラジルカーニバルステージ）づくり。
	子どもがおもいきり遊べる場が歩いていける範囲に全く無い。小さな公園で遊ぶとすぐ学校にクレームが。もっとのびのび遊べるまちになってほしい。
	子どもたちの遊ぶところや若者の楽しめる施設（公園）がほしい。
	他県に習い，盛岡城跡公園に築城して観光客を誘致，物産展を開き盛んなまちづくりを提案する。
	盛岡城の再建し，中を資料館に。
	緑が多く道路沿いの雑草がないまち。
	緑が多く景観も豊かなまち。木々も大事に管理してほしい。
	道路を広くし（歩く人のための道路），公園も兼ねるような街路づくり。北上川・中津川を利用した水辺公園の充実。
花のある盛岡のまち並みをPRする。	
子どもが雨天時に遊べる場所がほしい。	
盛岡にはシンボルが無い。他の城下町のように盛岡城跡公園の一番高いところにお城（天守閣）を建設する。	

●施策の柱 VII 快適な都市機能

施策	内容
4	<p>雫石川・中津川・北上川の河川敷を綺麗に整備してもらいたい。北上市の河川敷のように広く遊べる公園・グラウンド・水遊び場・散歩コースなど建設。</p>
	<p>東北のどの県よりも町が雑然としている。折角作った遊歩道・街路樹も草が生い茂り、残念でならない。岩手を代表する盛岡市は観光客がまた来たくなり、気持ちよく帰れるようにすること。それが私たちに出来る復興のお手伝いになるのではないか。</p>
	<p>公園が憩いの場として楽しめる状態であってほしい。ゆったりできるように。公園の池の水の浄化。鯉がいるが水の中が見えない。</p>
	<p>街並みに花を飾るより、公園を整備して四季折々の花々を植え、老若男女、子どもたちも集える明るく清潔な公園等を。</p>
	<p>イオン以外にも若者が集まるスポットがあると良いと思う。例えば中津川沿いにおしゃれなカフェや雑貨屋が並ぶ通りを作る。</p>
	<p>小さくても盛岡城跡にお城が建っていて資料等見学できたら良い。大人も子どもも冬でも行ける場所になってほしい（地元民は花見しかいきません）。</p>
	<p>玉山エリアに小児科、公園がほしい。公園も玉山エリアは少ないと思う。「大きいもの一つ」ではなく小さい子やお年寄りがお散歩で目指していける距離に公園があれば、外に出て行く機会が増えていいと思う。</p>
	<p>ペットを連れての交流の場を増やしてほしい。</p>
	<p>毎年町中のあちらこちらに花を植えたりハンギングバスケットを飾っているようだが、もっと一貫性をもたせるとかセンスのある素敵なものになるように期待したい。</p>
	<p>緑が丘の旧盛岡競馬場跡地を有効利用してほしい。</p>
	<p>子どもたちがのびのびと外で自由に遊ぶことのできるまち。</p>
	<p>盛岡市は公園が少ない。市民の憩いの場にもなるし、避難場所にもなる。土地問題もあるだろうがもっと増えてほしい</p>
	<p>開発が進む盛南地区はどんどん便利になっていますが、緑が減っていく心配もある。緑豊かなまちづくりに励んでほしい。</p>
	<p>公園整備も不可欠だが街路樹の落葉や整枝、樹下の除草等、細かな対応が必要。町内会や自治会頼みでは限界がある。</p>
	<p>盛岡市は県庁所在地なのでまち並みを良くしたほうが良い。中央通も狭い。中央分離帯に木を植えると素敵（仙台青葉通りのように）。</p>
	<p>街路樹の多いまち。</p>
	<p>盛岡城の復元に果敢に取り組んでほしい。</p>
	<p>公園近くの環境を整え、盛岡の食等を充実させ、人を呼び込む魅力に力を注いでほしい。</p>
<p>毎年のハンギングバスケットコンクールと街中に飾られるハンギングバスケットはとても素晴らしいと思う。ただもう少し市民参加型にして皆でハンギング作りに参加、街を美しく飾ると個性のある様々なバスケットができ、素晴らしいと思う。コンクールももっと市民にPRすれば共有でき、「ハンギングバスケットのまち」になると思う。</p>	
<p>緑ある遊歩道があって歩きたくなるまちになってほしい。</p>	
<p>除草は町内会頼みではなく、市でも実施してほしい。</p>	
5	

●施策の柱 VII 快適な都市機能

施策	内容
6	
	<p>全国でも稀な災害の少ない都市である。猛暑もひどくない。今更企業誘致するよりは全国の諸都市に比べ上記の有利な点があるのだから、地道な都市基盤の整備，高齢者が誇り高く住める制度づくり。フラワーバスケットはスタンドプレー。条件的には大都市や海外の富裕層を引き付ける魅力は揃っている。それに我々住民は気づくべき。</p> <p>自転車が安全に走れるよう，自転車道路，三本柳の東側（西鹿渡）の道路を整備。</p> <p>盛南開発は成果を上げたので次は盛岡以北の開発，交通網の整備を図るべき。小本街道の整備。観光路線ができて，盛岡が物流観光の拠点になり得る。</p> <p>アイーナとマリオスは使いやすい施設だが自転車で行くにも遠回り。車を利用すると駐車料金が高すぎる。イベントを利用した割引券の活用。地下道が暗くイメージが悪い。</p>
7	<p>本宮地区だけではなく，もっと分散して人の流れを作ってほしい。松園・小鳥沢地区は魅力に欠ける。</p> <p>市街地の生活環境にばらつきがあると思う。もっと全体的に見てバランスのよいまちづくりを目指してほしい。</p> <p>都市機能の充実やインフラ整備を進めてほしい。</p> <p>開発地区は固まらずに進めてほしい。</p> <p>盛南開発が行われ，新しい住宅地や商業施設が整備されつつあり，活気に満ちているように思われるが，旧市街地の衰退は対照的・財源難になっている。人口縮小を直視し，これ以上の新規開発はやめ，旧市街地の再活性化，再開発を図るべき。</p> <p>道路が広く感じられるよう，街の樹木に電線がふれないよう整備してほしい。</p>
8	<p>居住区において交通事故が発生しやすい道路へのホームミラー設置，停止線の新設。国道，県道へ自転車専用通路の設置。</p> <p>バスの本数や最終時間を延ばしてほしい。</p> <p>バスなどの公共交通を拡充。中心部から盛南地区へのバスを増設。山田線をライトレールにし，松園方面まで延伸。</p> <p>東西南北にバランスよく，土地の個性を生かすまち。渋滞緩和。</p> <p>交通の便が悪くバスの運賃が高い。地下鉄も無いので駅前に住む人以外は不便な生活をしている。全体的に不公平感。私の周りは10年後必ずゴースト化する。高齢者に優しいまちとは程遠い。</p> <p>バス会社に援助し，バスを増設する（マイカーを使わなくても良いようにする）。</p> <p>交通機関の増設（駅を増やす，地下鉄）。</p> <p>本宮のバスの便が悪い。</p> <p>今の盛岡は交通量が多い割に人や自転車が安心して通行できる道が少ない。安心して歩ける道路を，特に狭い道には歩道を整備してほしい。「狭いからできない」ではなく「狭いからこそ必要」だと思う。困難な場合は一方通行にする等，人と自動車が共存できるまちを作るべき。そのためには運転側に多少の犠牲を求めても良いと思う。</p> <p>日戸地区の桜パークは観光客が増加している。道路の拡幅が急務ではないか。</p> <p>中心部の秩序，機能美は相当のレベルに達している。オランダやドイツに見られる自転車道の整備の充実（10年後）。エコな移動手段として是非視察して参考にしてほしい。現在の大通りの専用道は段差に取られむしろ危険です。</p>

●施策の柱 VII 快適な都市機能

施策	内容
8	岩手医大が矢巾に移るのでバス、電車の運行を活発にする。
	道路整備の充実。自動車・自転車・歩行者専用道路の区別。
	乗り合いバス，交通が便利なまちに。
	年齢を重ねるにつれ，交通の便の悪さを感じる。
	自転車のマナーが悪いので教育を。自転車通行左側の徹底。
	道路際の電柱を無くし，電線類を地下式とする（道路を広く使える）。
	電車の車両増加。ベビーカー等が邪魔にならず，他人に迷惑をかけない様なゆとりがある電車にしてほしい。
	車，自転車，歩行者が通りやすい道路にしてほしい。
	自転車がどこを歩いていいかわからない箇所が多すぎる（津志田や岩大周辺）。自転車道路の整備してほしい。
	交通環境の整備された渋滞の無いまち。自転車専用道路の増設。地下鉄や地下街。
	バスや電車をsuicaやpasmo仕様に。
	市内を少し離れるとバス路線が不便。でんでんむしの様に乗り入れできるようにしてほしい。
	歩道，自転車道がきちんと分離されており，その全てに段差がないまちに。
	後期高齢者に旧市内の交通基幹（バス）のフリーパスを与えてほしい。そうすれば買い物や通院等で経済と流通にも良い結果を生むと思います。
	美術館と博物館が遠く離れており公共の連絡が不便。歴史文化が息づくまちになれるよう交通網を充実してほしい。
	盛岡駅裏のマリオスのコジマ電気に抜ける道路が怖くて自転車では通れない。旭橋を駅に向かう道路が割り込みが多く事故の元です。
	全国転勤で住みましたが10か所住んだ中で一番住み難いまちでした。観光ならともかく2度と住みたくありません。交通の不便さ，活気ないまち。ただ人だけは温かいです。
	今は車が使えらるが，自分が60代になったとき本宮方面まで行きたくても行けるのかが不安（バスのエリアに不満）。今後，市街地が寂れてくればどのようにして買い物に行ったらいいのかわかる不安になる。でんでんむしのエリアを拡大してほしい。
	道路を広げ，自動車自転車歩行者の全ての人々が安全に通行できるように。かつ，自動車や自転車のマナー向上ができるまちにならないでしょうか。
	富山県で導入しているライトレールなどを導入し，車に頼らなくてもよい社会を目指すことで交通弱者の方々も社会に参加しやすくなると思う。市民や観光客にとっても魅力あるものになる可能性を秘めているのではないかな。
新しい道路や橋もできて便利になったが，バス停を増やすなど，車が無くても移動しやすいまちにしてほしい（身近なところで盛岡商工会議所前の通りに盛岡駅行きのバス停があれば，とても近くなり，乗る人も沢山いると思う）。	
十分な住民が公共交通を用いて利用するのに適した立地とは思えない。また，各施設を有機的に巡れる，繋ぐような公共交通機関の整備が必要と考える。	
歩行者や自転車利用者が楽しめるまちへ。	

●施策の柱 VII 快適な都市機能

施策	内容
8	弘前のように「岩手山に直進する6車線～8車線の道路を整備，パリの様なビューポイントを整備する。
	盛岡の古い街並みを活かしつつ，周辺の便利なまちに。買い物に行けるように，バス等の利便性の向上。地下鉄整備。
	公共交通が使いやすく安価であること。現在は，バス路線の乗り換えが不便です。JR山田線の活用を考えてほしい。
	盛岡市は城下町で道路が細く複雑で昔はかなり不便だったが，道路や橋が整備され，随分便利になった。
	自動車に頼らない公共交通（LRT，路面電車）で高齢者でも安全に出かけられるまち。
	道路（交通環境）がもっと整ったまちにしてほしい。朝（特に雨や雪の時）の渋滞をなくしてほしい。
	市営駐車場の料金が低い。市街地離れのひとつの原因では。
	少なくとも「車があまり必要でないまちづくり」を（郊外に大きな駐車場を作り，中心街とは公共交通，市営電車で結ぶ等）。
	自転車道の整備。エコや渋滞緩和といった点からも自転車道の整備は良いのではないかな。 松園からタクシーを利用すると高速バスで仙台往復する位の料金がかかります。バスも乗り換えがあり，不便なところでは。

●施策の柱 VIII 信頼される質の高い行政

施策	内容
1	<p>財政、財源が今以上悪化しないように。無為無策の市政は長く続かない。市職員のサービス向上、市議会の質の向上、定員削減、効率化。市長は今以上の仕事を。</p> <p>駐車場完備の市庁舎の建設。</p> <p>正しく税金が使われていることを皆が納得できるまち。税金の使い方を考える。</p> <p>予算がないと言うが、市職員の給料が高すぎる。</p> <p>税金の減。住民税が安く、市職員の給料が安いまち。</p> <p>これからの人口減少時代を考えると、これ以上の市街地の拡大をすべきではない。医療費、福祉予算の増加が見込まれる中、道路や上下水道のインフラの維持にける予算を抑制していかないと自治体の財政が持たなくなるのは明白。</p> <p>新しく整備する事も大切ですが高齢化、人口減少の中では難しいと思います。今あるものも維持が難しくなるでしょう。次世代に負担を残す事はしたくないです。</p>
2	<p>このようなアンケート・議論から長期的視点(10～30年)をもちながら、短期的施策(1～3年)をじっくり実行してもらいたい。</p> <p>アンケートは、現在の市政の進行、中の議題と思います。総合計画策定に市民討議が必要か。税制面の質問もあったほうが良かったのでは。市政と税制が違うと思うが、生活面では切っても切れぬことだと思う。皆さんにとって平等な企画ができますように。</p> <p>中世の雰囲気を残すローデンプルグのように「盛岡」と聞いただけで特徴がイメージされ、「行ってみたい、住んでみたい」という郷愁を呼び起こさせるようなまちづくり。</p> <p>アンケートの各項目がバランス良く整い、発展していくような「まちづくり」。理想を語ることの大切さは否定しないが現状を踏まえた形でひとつひとつ課題を解決する方向で官民一体となった取組が重要であると思う。</p> <p>市政運営には将来の予測をしっかりと行っていただきたい。「今」の積み重ねが「10年後」に結びついていくと思う。</p> <p>先人に頼らない現在から未来に繋がるまちづくり。過去にしがみつ過ぎる。具体的計画段階前からの市民参画、長期計画の変更を。</p>
3	<p>今回のアンケートのように市民の声の反映が形となって表現できるまち。</p> <p>全国的にみてもすごいものがあるのに、PRされていないので市民でさえ知らないものがある。定着しているものは新しいPRを。</p> <p>盛岡市から計画等の策定に関する情報を今よりも早く広く出してほしい。時間はかかると思うが暮らしていく上での満足度は高くなると思う。</p> <p>交通の便、環境ともに盛岡は住みやすいまちである。もっと都会に向けアピールは必要。</p> <p>地元町内会、地域福祉団体と計画立案の段階から十分に話し合ってもらいたい。</p> <p>盛岡は考えが少し古い。堅すぎる。盛岡の名前が入る有名なものを考えて伝えてほしい。</p> <p>町内会、地域の充実した協働のまちづくり。</p> <p>特徴の無いまちづくりをするのではなく、盛岡ならではのまちづくりを市民が協力し合い、農・工・商が共に発展していくようになってほしい。</p> <p>市民討議会の導入(場所は交通の便の良い所。シャトルバスを出せば高齢者も参加できる)。</p> <p>城跡公園は貴重な資産。「食」や「伝統文化」をPRする会場として更に活用すべき。</p>

●施策の柱 VIII 信頼される質の高い行政

施策	内容
3	<p>生命を大事にする市政が忘れられていませんか。社会的弱者，高齢者が安心して暮らせるまちづくりを進めてください。市民が必要とするもの，重要なものにお金をかけるよう，市民の生の声を吸い上げてほしい。</p> <p>盛岡のまちは個性がなくその他多くの地方都市とひとくくりにされ，記憶に残らない。「みちのくの小京都」にしては道路を広げることを優先，個性を捨てる行政。「杜と水の都」なのに観光資源が少ない。「盛岡といえば〇〇」を作り多くの観光客を呼んで知名度を上げること。戦略をもっているのかわからない。</p> <p>全国にもっと「住みやすいまち」という事をアピールしてほしい。住民がそう思い，発信していける場や機会をどんどん増やさないと，住んでいる人もただそこにいる人になってしまう。実際に住んでいる市民の声が重要。その事を大切に取り上げてほしい。他の地域に住んでいたことのある人の意見も求めること。</p>
4	
5	東北の中でも行政サービスが遅れている。
6	<p>国の財政問題から地方は今後益々自立を求められる。</p> <p>周辺自治体との更なる連携。</p>

●その他（市政関連、アンケートに関する意見など）

内容
無理に都会化しなくて良い。仙台や東京は遊びに行く所、盛岡は帰ってくる所。
清く正しく美しいまちづくりを。
各年代が住んでよかったと思えるまち。
短大跡地等、放置状態のままの状況にはあきれている。市と県の歩み寄りの施策が必要。先延ばしせず、一つずつ問題を前向きに解決していく事が理想のまちづくりにつながる。「予算がかかる」とよく言うが何年計画でも実行しようという決断が無いと放置されるだけ。
高校、大学の期間も子ども手当てに変わる手当てがほしい。
建設業が災害の時だけ必要とされるのはおかしい。普段から発注があって建設離れにならないようにしてほしい。
一人ひとりが幸福感や豊かな人生観を実感しつつ暮らすまちづくり。
盛岡市は8月9日の災害時の水道代と電気代を災害者の方たちに返金してほしい。
テレビ東京系列の新規放送局を開局する。
まちの中心は市役所。車社会では、働く人も利用する人も車です。市役所移動を提案します。
元々盛岡に住んでいる人が「住み続けたい」と思える、実感できることが大切。そうすれば観光客やビジネスで来県した人に伝えていくことができるし、自然に人が集まるまちになっていくと考える（福祉・医療・自然環境等の充実はそのための手段）。
職業安定所の移転。収入が無い人にとって有料駐車場は使いたくない。
市民の声を聞いたとのアリバイを作りたいだけ。そんな感想を持ったのでアンケートには答えません。
盛岡市教育委員会で安全パトロールという天下りはやめてほしい。
家賃の値下げ。物価と土地の値下げ。
岩手、日本、世界においてモデルとなるようなまちを目指すべき。
グルージャ盛岡がJリーグに加盟し、大きなスタジアムがあるまち。
盛岡市の外に対してだけでなく内側に対して色々なことに取り組み、他の市、県、国から羨ましがられるような市になってほしい。
川徳なんていらぬ。百貨店を増やしてほしい。給料が安いのに家賃が高い。高給取りか安い給料で生活しているかが激しく別れている。
もっと市民の事を考えてくれる人が代表に立ってほしいと思う。
人間らしく生き、人間として死ぬるまち。
普段気になっていることがあります。新田町の地下道のことです。雨天晴天に関わらず常に水が滴り落ちている部分があり、いつか崩落するのではないかと不安になりながら毎日2回は通っています。市が管理している部分でなかったらごめんなさい。どこかにお知らせしたくてここに記入しました。
倫理、道徳の生きている温かい日本の故郷になってほしい。
「盛岡にしかないよさ」と「生活環境のよさ」がうまく調和しているまちであってほしい。
アンケートの問は全てが大切な事です。100点でないまでも80点くらいまで確保してほしい。問の中には40点未満のものもあるように思う。

●その他（市政関連、アンケートに関する意見など）

内容
どの質問をみても金がかかることばかり。知恵はでないのか。質問の内容が漠然としすぎて答えづらい。
老後、公的な乗り物を利用する場合、バスやタクシー等一定の年齢以上の人には料金の特典はあるのでしょうか。障がいや介護の状態以外でも特典はあるのか知りたい。
盛岡に来て8年経つが、盛岡の人は異文化を受け入れるのが苦手。言い換えると「他を受け入れる事に怯えている」ような印象です。文化的な素養や新しい事象への積極的関心のある人、そして政治と行政が中心となって、今までのライフスタイルだけでなく様々なライフスタイルから「幸せ」を実感できる社会づくり、まちづくりを提案したい。
市役所辺りの並木をなくしたのは残念です。
こういったアンケートで住民の意見を聞く姿勢は非常に良いと思う。
人権団体等権利を訴える人が多いが、本来「義務」を全うして言えること。まず行政は市民に納税等の義務を全うさせる事を行ってほしい。
行政とは関係ないが、盛岡で気持ちよくタクシーに乗れたことが無い。改善を望む。
個人では手がつけられず困っている樹木の毛虫（アメリカシロヒトリ）はどんな業者に頼めばよいかわからない。
中心地だけではなく、娯楽施設を作ってほしい。今の地方の現状ではスーパーしか建設されていない。アミューズメント施設が少ないのももっと作ってほしい。
マンションの1階か地下にスーパーがあればと思う。
整骨院等の違法請求。大変な問題だと感じる。
国道から直接各住居、会社、店舗等に入るのではなく、裏通りからのみ車両の出入を規制するような条例ができればバイパスの渋滞緩和に繋がると思う。
便利さばかりを追求するのではなく特性を生かしたまちづくりを考えてはどうか。
「理想の」ではなく「らしさ」に体力をつけることではないでしょうか。
10年、20年後も「盛岡弁」が消えないでほしい。盛岡弁はとてもやわらかくてあたたかい。今後盛岡弁を話せる人がいなくなるよう対策をとり、今よりももっと日常会話で使うようになれば、観光資源としても地域のコミュニティの場でも大いに役立つのではないかと思います。
各町名がわかる表示（新旧表示）をつけてほしい（上田一丁目（旧）上田三小路）。
北東北の拠点になるはずだったが3市の中で一番人口が少ないのはなぜか。それを検証して対策を考えてほしい。
市営バスを21時過ぎでも運営してほしい。
若い力であふれるまち。若者が集うまち。
人の為に役に立つと得がある。
福祉、文化、経済の中からひとつ独特のものを。他都市と比べ顕著に秀でたものがひとつほしい。
古きを重んじたまち。情操教育が行き届いた人情味あふれるまち。
若い世代が年寄りを助け、年寄りが若い世代を助ける。
中心地のみの人の流れではなく、道ができたなら行ってみたいと思う考案が必要。例）肴町の突き当たり全国の菓子店。学生が自由に楽しく見れる地場産品（大人になって知るのではなく幼い時から望む。皆が買えない高価な品でも是非触れさせたい）。

●その他（市政関連、アンケートに関する意見など）

内容
子育て支援という言葉はよく耳にするが子どもは親が育てるもので、躰まで他人任せの現状ではまともな大人にならないと思う。国や自治体の仕事は「大変なところに少し手を貸す」ことで、お金を多く出すでも保育所を増やすでもないと思う。今の子どもの学力はかなり低い教育費は多くかけているから生活が大変なのだろう。学校で勉強させても同程度の学力だから無駄に教育費がかかっていることになる。子ども手当などは本当に必要か。盛岡市も財政は厳しいのだから何に使うかよく検討して賢い運営のできるまちになってほしい。
守りに入っている。外部に訴えるものがほしい。人が集う場所、人の良さだけでなく人をひきつけるものや場所がほしい。
「盛岡は、盛岡だから」といわれるような落ち着いたまちになってほしい（現状維持を望む）。
働く人の「夢」「希望」を叶える土壌を作る。元気なまち、力が湧いてくるまちであってほしい。
「人にやさしいまち」をコンセプトとしたまちづくり。市民をはじめ来訪者全ての人にやさしいまちであってほしい。
盛岡市の将来像について質問の全ての項目が満たされるように望む。盛岡に暮らす人々が誇りと生きがいを感じながら生活を営むことができる地域の実現に向けて美しいふるさとと、いきいきとした盛岡のまちを望みます。
「昔」と「現代」がうまく調和したまち。美しさを感じることでできるまちであってほしい。
I L C 誘致に目を向け、I L C 誘致に伴い宇宙に関係したテーマパークを造る。
盛岡のまちはとても良いまちです。今のままで良いとおもいます。岩手のよさを世界にアピール。
穏やかな県民性を忘れてはならない。気遣い、心配り、他人への思いやりがあふれるまち。
盛岡で働く全ての人々が挨拶をする。クレームの無いまち盛岡。
数年後には岩手医大の移転があるので盛岡が活気づくような施設、松園桜台方面に人が集まるような施設ができることを望んでいます。
医大跡地は市民が集うガーデンに。そこで日曜市のようなイベントを開催。中心部に21時頃まで開いている図書館を整備する。
医大跡地に、コミュニティが集中する拠点づくり。
利用されていない施設・ビル・建物の利用。
盛岡市民であることを誇りに思い、未来に明るい期待を持ち続けられるまち。総合的な環境整備等に力のあるまち。「ゆりかごから〇〇まで」です。
若者が住みやすいまち。都市の人気百貨店の進出、コンパクトシティ、テレビの深夜放送の充実、交通網の充実。
人と人との心のふれあいを大切にする街であれば良いと思う。
法特区してカジノのまち。
平和なまちは良いが刺激が無い。
表面を取り繕うのではなく、そこに住んでいる、暮らしている私たちに優しいまちであってほしい。
岩手医科大学付属病院移転に伴う跡地の有効活用について。是非この地に新しい盛岡市庁舎の建設を要望いたします。